
会 告 ・ 通 知

————— 平成 25 年 12 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 12 月 2 日～12 月 27 日）	2
◇第二種研究会開催案内	30
◇2014 年総合大会講演募集の御案内	35
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・北陸支部 講演会「無線電力伝送技術の現状と応用の展望」	36
講演会「センサネットワーク応用と企業での研究」	36
講演会「人を楽しませるためのメディア技術の応用」	36
・関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「発電設備の低圧・制御回路における絶縁協調・EMC 技術」	36
・本会が協賛等のもの	37
◇国際会議	38
◇受賞候補者募集等	39
◇求人欄	40
◇お知らせ	
・シニア会員申請登録は 10 月 1 日から開始しています！	41
・平成 26 年度個人会員会費の御請求を 11 月末にお送り致しました	41
・論文誌の冊子体の廃止について	41
・平成 25 年 12 月号及び平成 26 年 1 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	41
・本会「著作権規程」の基本方針について	42
◇論文特集原稿募集	
・Special Section on Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications（英文論文誌 NOLTA）	43
・電子情報通信分野における萌芽的研究小特集（和文論文誌 A）	44
・将来の情報ネットワーク構築に向けた拡張性・信頼性・ロバスト性を向上させる 通信技術とアーキテクチャ小特集（英文論文誌 B）	45
・電子ディスプレイ小特集（英文論文誌 C）	45
・電磁界理論の進展とその応用小特集（英文論文誌 C）	46
・高機能マルチメディア小特集（英文論文誌 D）	47
◇会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」購入申込みについて	48
♣複製される方へ	38
♣新刊案内	
・電子情報通信レクチャーシリーズ [電子物性工学]	39
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	40

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます。
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>
 （本会ホームページ→各種お知らせ→会告・通知）

※平成 26 年 1 月号から会告・通知欄は、一部内容を除き本会ホームページのみの掲載となります。

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 12 月 2 日～12 月 27 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
ワイドバンドシステム I T S	3日(火) 4日(水)	13:00~17:25 10:00~11:40	東京理科大学・葛飾キャンパス	4
情報セキュリティ	11日(水)	13:00~18:05	機械振興会館	5
信頼性	13日(金)	13:20~15:25	機械振興会館	6
思考と言語	14日(土)	9:05~18:45	早稲田大学	7
超音波	18日(水)	13:30~17:15	日本大学・理工学部・駿河台キャンパス	9
安全性	19日(木)	13:00~17:00	明治大学・駿河台キャンパス	9
イメージ・メディア・クオリティ	13日(金)	13:30~16:40	静岡大学・浜松キャンパス	15
応用音響	13日(金) 14日(土)	13:00~16:40 13:00~16:15	金沢大学・サテライトプラザ	18
スマートインフォメディアシステム	12日(木) 13日(金)	9:00~16:50 9:00~14:30	とりぎん文化会館（鳥取県民文化会館）	20
技術と社会・倫理	14日(土) 15日(日)	9:30~19:45 9:30~16:10	琉球大学	25
非線形問題	6日(金) 7日(土)	13:00~17:15 9:30~10:45	City University of Hong Kong	29
12月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，VLSI 設計技術，信号処理，システム数理と応用				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
アンテナ・伝播	12日(木)	12:30~18:30	機械振興会館	5
短距離無線通信	16日(月)	10:00~17:00	機械振興会館	8
宇宙・航行エレクトロニクス	20日(金)	13:00~15:45	日本工業大学・LCセンター	11
環境電磁工学	20日(金)	10:00~17:10	デンソー・本社	15
通信方式 画像工学	5日(木) 6日(金)	9:50~17:40 9:25~16:05	京都工芸繊維大学・60周年記念館	18
情報ネットワーク インターネットアーキテクチャ	19日(木) 20日(金)	10:45~17:55 8:30~16:45	広島市立大学	21
ネットワークシステム 無線通信システム	18日(水) 19日(木) 20日(金)	10:55~18:50 8:35~19:00 8:35~16:35	高松市文化芸術ホール（サンポートホール高松）	23
宇宙・航行エレクトロニクス	2日(月) 3日(火)	9:30~17:30 9:30~15:10	VAST/VNSC (2日) Melia Hotel Hanoi (3日)	28
12月休会の研究会；衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，コミュニケーションクオリティ，フォトリックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，モバイルネットワークとアプリケーション，ソフトウェア無線，知的環境とセンサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
レーザー・量子エレクトロニクス	13日(金)	9:30~17:05	機械振興会館	7
有機エレクトロニクス	17日(火)	13:20~18:10	機械振興会館	8
マイクログ波	19日(木) 20日(金)	9:30~17:10 9:00~15:35	埼玉大学	9
機構デバイス	20日(金)	14:00~16:35	機械振興会館	11

光エレクトロニクス	20日(金)	13:00~17:45	機械振興会館	12
電子デバイス	16日(月) 17日(火)	12:35~18:15 9:30~15:25	東北大学・電気通信研究所	13
シリコン材料・デバイス	13日(金)	9:00~18:20	奈良先端科学技術大学院大学	19
磁気記録・情報ストレージ	12日(木) 13日(金)	13:30~16:45 9:15~12:00	愛媛大学・総合情報メディアセンター	23
有機エレクトロニクス	27日(金)	13:20~17:40	宮古島マリナーミナル(まりんぴあ宮古)	27
12月休会の研究会;超伝導エレクトロニクス,電子ディスプレイ,電子部品・材料,電磁界理論,集積回路,エレクトロニクスシミュレーション,マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
言語理解とコミュニケーション	4日(水) 5日(木)	13:00~17:50 9:30~12:40	グリー	5
音 声	19日(木) 20日(金)	9:30~17:40 9:45~17:55	筑波大学・文京キャンパス	10
クラウドネットワークロボット	20日(金)	10:30~17:00	東京大学・山上会館・本郷キャンパス	13
パターン認識・メディア理解	12日(木) 13日(金)	9:00~17:40 9:00~17:10	三重大学	14
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	21日(土)	9:00~18:00	岐阜大学・サテライトキャンパス	16
ディペンダブルコンピューティング	13日(金)	13:00~17:40	和倉温泉観光会館	17
画像工学 通信方式	5日(木) 6日(金)	9:50~17:40 9:25~16:05	京都工芸繊維大学・60周年記念館	18
コンピューテーション	20日(金) 21日(土)	9:30~16:50 9:30~16:55	沖縄産業支援センター	27
12月休会の研究会;ライフインテリジェンスとオフィス情報システム,コンピュータシステム,人工知能と知識処理,ソフトウェアサイエンス,データ工学,知能ソフトウェア工学,教育工学,医用画像,ソフトウェアインタプライズモデリング,リコンフィギャラブルシステム,情報通信システムセキュリティ,情報論の学習理論と機械学習,マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント,サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
福祉情報工学	12日(木)	13:00~17:15	産業技術総合研究所・臨海副都心センター	6
12月休会の研究会;ヒューマンコミュニケーション基礎,ヒューマン情報処理,マルチメディア・仮想環境基礎				

◇第二種研究会開催案内

第3回超高速光エレクトロニクス研究会/第20回光波シンセシス研究グループ研究会	12月11日(水)	理化学研究所	30
バイオエレクトロニクス研究討論会	12月16日(月)	東京農工大学・140周年記念会館	31
第4回安全・安心な生活のための情報通信システム(ICSSSL)研究会	12月16日(月),17日(火)	中央大学・後楽園キャンパス	31
アシュアランスシステム研究会	12月24日(火)(開催日変更)	兵庫県立大学・神戸情報科学キャンパス	32
第27回多値論理とその応用研究会	1月11日(土),12日(日)	鹿児島県文化センター	32
第3回ネットワークソフトウェア(NWS)研究会	1月23日(木),24日(金)	名古屋国際センター	33
第3回集積光デバイスと応用技術研究会	1月30日(木),31日(金)	鬼怒川グランドホテル「夢の季」	34

★ワイドバンドシステム研究会 (WBS)

専門委員長 佐々木重信 副委員長 前原文明・羽瀬裕真
幹事 藤井雅弘・松波 勲 幹事補佐 石橋功至・小澤佑介

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 上條俊介 副委員長 山里敬也・永長知孝
幹事 和田友孝・羽多野裕之
幹事補佐 橋本尚久・大野光平・麻生敏正

◎本研究会は WBS 研究会と ITS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月3日(火) 13:00~17:25
4日(水) 10:00~11:40

会場 東京理科大学葛飾キャンパス(葛飾区新宿6-3-1。JR常磐線/東京メトロ千代田線:金町駅,京成金町線:京成金町駅徒歩8分。http://www.tus.ac.jp/info/access/katcamp.html 伊丹 誠)

議題 ITS 通信, ポスター講演, 一般

3日 ポスター講演

ITS-1. [ポスター講演] 車車間・路車間共用通信制御におけるトラヒック分散手法に関する一検討 ○丹羽勇太・羽多野裕之・藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)

ITS-2. [ポスター講演] ビームフォーミングアダプティブサーキュラアンテナを用いたDS/SS車車間通信におけるシャドウイングの影響改善に関する一検討

○三枝恵理子(東京理科大)・大野光平(明大)・伊丹 誠(東京理科大)

ITS-3. [ポスター講演] 市街地環境下で車車間通信におけるブロードキャスト型DS-CDMA方式とCSMA/OFDM方式の比較 ○榊原 翔(東京理科大)・大野光平(明大)・伊丹 誠(東京理科大)

ITS-4. [ポスター講演] 車載用レーダネットワークのための位置推定アルゴリズムにおける3次元モデルを用いた特性評価

○吉田友祐(静岡大)・羽多野裕之(宇都宮大)・中井孝芳(静岡大)・藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)

ITS-5. [ポスター講演] 無線LANとBluetoothを用いた屋内ポジショニングシステムの性能評価 ○東 誉之・永長知孝(関東学院大)

ITS-6. [ポスター講演] パッシブRFIDを用いたロボットナビゲーションシステムのためのルーティング及び移動制御法

○佃 大貴・藤本まなと・仲西 正・長尾 遼・和田友孝(関西大)・六浦光一(信州大)・岡田博美(関西大)

ITS-7. [ポスター講演] 赤外線レーザーレーダを用いた時系列処理によるリフレクタコード認識方式 ○渡利啓太・式地雄佑・津高健太郎・和田友孝・岡田博美(関西大)

WBS-8. [ポスター講演] GPS測位とセンサによる移動推定を組み合わせた位置推定システムに関する一検討

○小河原 亮・羽多野裕之・藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)

WBS-9. [ポスター講演] UWBレーダを用いた車車間通信方式におけるSICを用いた繰り返し検出

○高原弘樹(東京理科大)・大野光平(明大)・伊丹 誠(東京理科大)

WBS-10. [ポスター講演] A Study on Seamless Localization

Method Employing GPS and Wireless LAN

○Sakie Nagakubo (Japan Women's Univ.)・Hiroto Ogawa・Shoya Takebuchi (Waseda Univ.)・Kayo Ogawa (Japan Women's Univ.)・Fumiaki Maehara (Waseda Univ.)

WBS-11. [ポスター講演] OFDMの帯域外スペクトル抑圧に関する一検討 ○深石祐太郎・佐々木重信・趙 兵選(新潟大)

WBS-12. [ポスター講演] LCX無線端末位置検出システムにおける部分空間法を用いた検出精度改善 ○沖 修平・東野武史・岡田 実(奈良先端大)

WBS-13. [ポスター講演] ガードインターバルを用いないOFDMにおける周波数領域等化に関する一検討

○笠島佑太・羽多野裕之・藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)

WBS-14. 光無線通信における空間変調/マルチパルス位置変調方式のシミュレーションによる誤り率解析 ○増田翔太・大内浩司(静岡大)

招待講演

共通-15. [招待講演] 複雑系数理論の応用によるワイヤレスネットワークプロトコルの構築 長谷川幹雄(東京理科大)

共通-16. [招待講演] カーナビとITS 高橋常夫(NF)

4日 一般

ITS-1. 加減速と遠心力を考慮したスマートフォンによる走行車両の3D姿勢情報センシングに関する研究—スマートフォンセンサへのカルマンフィルタの適応— ○村上智哉・横田孝義(鳥取大)

ITS-2. ZigBee (IEEE802.15.4)を用いた自転車・自動車間通信に関する一検討 ○森川 岳・藤村嘉一・半谷精一郎(東京理科大)

ITS-3. ジャイロセンサと速度センサによる自転車の挙動推定に関する一検討 ○村上智幸・藤村嘉一・半谷精一郎(東京理科大)

ITS-4. Maps2Graphs: A Socially Scalable Method for Generating High-Quality GIS Datasets Based on Google Maps API Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)

☆WBS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月10日(月), 11日(火) 名大東山キャンパス [1月13日(月)] テーマ: IT・ISEC・WBS合同研究会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】

藤井雅弘(宇都宮大工学部情報工学科)

〒321-8585 宇都宮市陽東7-1-2

TEL & FAX [028] 689-7118

E-mail: fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

☆ITS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月北大 [未定] テーマ: ITS画像処理, 一般

3月13日(木) 京大 [未定] テーマ: ITS情報処理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】

和田友孝(関西大システム理工学部電気電子情報工学科)

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL & FAX [06] 6368-1285

E-mail: wada@jnet.densi.kansai-u.ac.jp

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 竹内孔一・西崎博光
幹事 金山 博・大塚裕子 幹事補佐 橋本泰一・榊 剛史

日時 12月4日(水) 13:00~17:50
5日(木) 9:30~12:40

会場 グリー (港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 12階、東京メトロ日比谷線:六本木駅コンコースにて直結。
<http://corp.gree.net/jp/ja/corporate/location/> 橋本泰一)

議題 第5回集合知シンポジウム

4日 ツール

- 意味内容比較による判例検索システム JUSTICE の開発
○小畑寛人・原田 実(青学大)
- 照応解析システム ANASYS—意味解析結果に基づいたゼロ照応解析—
○服部真智・原田 実(青学大)
- TETDM (Total Environment for Text Data Mining) による Exploratory Search の実験
徳永秀和(香川高専)
- シンプルな用語集形式 UTX とその活用—ビッグデータと「グッドデータ」の関連性—
山本ゆうじ(AAMT)

招待講演

- 〔招待講演〕 100人マップ:100人で作る京都地図
○荒牧英治・北 雄介・仲村哲明・島本裕美子・白田泰如・宮部真衣(京大)

マイクロブログ

- 2013年参議院議員選挙における Twitter 利用分析
○那須野 薫・松尾 豊(東大)
- 非タスク指向対話システムにおけるマイクロブログを用いたユーモア発話の自動生成
○藤倉将平・小川義人・菊池英明(早大)
- 日本語と英語のツイート末尾で多用される不読符号列の比較
○中嶋邦裕・渡辺靖彦・西村 涼・岡田至弘(龍谷大)

5日 文脈解析

- 複数料理レシピの自動要約
○難波英嗣・土居洋子・辻田美穂・竹澤寿幸(広島市大)・角谷和俊(兵庫県立大)
- 語り手と聴き手の相互作用による物語言説機構の統合物語生成システムへの導入
○秋元泰介・小方 孝(岩手県立大)
- プロップ理論に基づくストーリー生成システムにおけるストーリーの変形技法
○今測祥平・小方 孝(岩手県立大)

知識

- 変化しないビッグデータと変化する心のためのデザイン
谷田泰郎(ナゾ-M)
- 人類の知のゲノムの構築に向けて—通信路及び情報源における誤り訂正手法—
得丸公明(システムエンジニア)
- 免疫細胞の「二分法」と「二元論」の論理がヒトのデジタル音声記号言語と脳内の思考を駆動する—免疫細胞はモバイルアドホックネットワークワーキングニューロンである—
得丸公明(システムエンジニア)

◎第5回集合知シンポジウムのホームページはこちらです。

<http://www.ieice.org/~nlc/cs2013.html>

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 田中俊昭 副委員長 櫻井幸一・角尾幸保
幹事 伊豆哲也・岩田 哲 幹事補佐 花岡悟一郎・三宅 優

日時 12月11日(水) 13:00~18:05

第一種研究会開催案内

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8、東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分、JR:浜松町駅下車徒歩20分、都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分。
http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題

- 二、三の公開鍵暗号を強化するための一般的手法 K(V)スキームと組織暗号の1クラス K(I)SOPKC の提案
笠原正雄(早大/中大)
- A novel proposal of q -SVD domain for blind watermarking
○Ta Minh Thanh (Tokyo Inst. of Tech.)・Ta Minh Tam (VSTV)
- VM Migration におけるマイグレーション完了イベント検出と時計ずれ補正法に関する考察
○笠原健亮・小野 諭(工学院大)
- 改良型 Non-overlapping Template Matching Test におけるテンプレートによる検出率の差について
○竹田裕一(神奈川工科大)・藤井光昭・鎌倉稔成・渡邊則生(中大)
- IC カードへの電磁波照射攻撃事例におけるフォールト生起プロセス
○土屋 遊・大野 仁・松本 勉(横浜国大)
- CAN ハブにおいて不正データ送信を抑制する方法
○関口大樹・向達泰希・吉岡克成・松本 勉(横浜国大)
- 実践的情報教育に基づくハードウェアセキュリティ人材の育成
○林 優一・本間尚文(東北大)・片下敏宏(産総研)・曾根秀昭(東北大)
- キャンセルブルバイオメトリクス認証方式の安全性について(その2)
○酒見由美・武仲正彦・伊豆哲也・鳥居直哉(富士通研)
- ストレージ暗号化方式:固定長の秘密を用いて無限個の暗号化鍵を情報量的安全に暗号化する方法(その2)
大石和臣(静岡理工科大)
- 組込みシステムの暗号ソフトウェア実装に対する攻撃を検出する方法の考察
大石和臣(静岡理工科大)
- PQCrypto2013 参加報告
安田貴徳(九州先端科学技研)

☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月10日(月), 11日(火) 名大東山キャンパス [1月13日(月)] テーマ: IT・ISEC・WBS 合同研究会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

岩田 哲(名大)
TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三
幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

日時 12月12日(木) 12:30~18:30

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題

- 携帯端末のアンテナ特性を考慮した MIMO-OTA 評価
○田中幸治・太田 潤・前山利幸(拓殖大)
- 屋内伝搬環境における空間及び指向性 MIMO アンテナの性

能評価実験

○依藤有芽・多賀登喜雄 (関西学院大)

3. 高周波帯における人体遮蔽特性の数値解析—将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける電波伝搬技術—

○トラン ゴクハオ・今井哲朗・奥村幸彦 (NTTドコモ)

4. 分岐血管配置モデルを用いた血流による冷却効果を考慮した空洞共振器加温方式の加温特性

○永澤惇一・荒川治朗・

井関祐也・新藤康弘・加藤和夫 (明大)

5. 脳腫瘍ハイパーサーミア時における血液灌流を考慮した温度分布推定

○荒川治朗・新藤康弘・加藤和夫 (明大)・

久保允則 (オノン)

6. 変形性膝関節症の温熱療法を目的とした空洞共振器アプリケーションの SAR 分布解析

○渡部和樹・新藤康弘・

加藤和夫 (明大)・黒崎弘正 (厚生年金病院)・

高橋謙治 (日本医科大病院)

7. SAGE-DOA-Matrix 法を用いた複数波群の到来方向と角度広がり推定に関する検討

○奥野将士・菊間信良・平山 裕・

榊原久二男 (名工大)

8. Khatri-Rao 変換を用いた広帯域信号 DOA 推定に関する検討

○白井智士・山田寛喜 (新潟大)・西村寿彦・

小川恭孝 (北大)・山口芳雄 (新潟大)

9. GHz 帯直線偏波無指向性広帯域アンテナの開発—開発の手順と設計諸元の妥当性の検討—

○前田篤哉 (前田技術士事務所)・小林修一 (VLAC)・

牧野郁夫 (FGL EMC 研)・島ノ江博之 (S Tech)・

小野健志 (アドテック)

10. 2つの大型電波塔の仰角差を考慮した UHF 帯 TV 放送波の列車内受信特性

○林 昌孝・森 岬基・前山利幸 (拓殖大)

A・P 研, IEEE APS Japan Chapter 共催 特別講演

11. [特別講演] アンテナ研究は直感と理論で—大型移相配列アンテナ— (口頭発表)

高野 忠 (日大)

◆IEEE APS Japan Chapter 共催

○17:20~17:40 に A・P 研奨励賞表彰式, 17:50~18:30 に IEEE APS Japan Chapter 総会として, IEEE AP-S Japan Chapter 2013 年度活動報告 (口頭発表 Chair 山田寛喜) が開催されます。

○懇親会を下記の要領で開催する予定です。奮って御参加下さい。

日時: 12月12日(木) 研究会終了後

会場: 機械振興会館地下3階2号室

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月20日(金) 大濱信泉記念館(石垣) [締切済] テーマ: 無線設備・アンテナシステム測定技術

1月8日(水)~10日(金) Le Quy Don Technical Univ. (Hanoi) [締切済] テーマ: Vietnam-Japan International Symposium on Antennas and Propagation

1月22日(水), 23日(木) 宝山ホール(鹿児島県文化センター) [締切済] テーマ: 電波伝搬, 一般

2月6日(木) (開催日変更) 小島プレス(愛知県) [12月6日(金)] テーマ: 一般

3月10日(月), 11日(火) (開催日変更) 郡山 [1月10日(金)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

榊原久二男 (名工大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 井野秀一 副委員長 泉 隆

幹事 和田親宗・酒向慎司・若月大輔

幹事補佐 雨宮智浩・伊藤 尚・梶谷 勇

日時 12月12日(木) 13:00~17:15

会場 産業技術総合研究所臨海副都心センター(江東区青海2-3-26. 新交通ゆりかもめ:テレコムセンター駅下車徒歩約5分. または東京臨海高速鉄道りんかい線:東京レポート駅下車徒歩約15分. <http://unit.aist.go.jp/waterfront/access/index.html> TEL [046] 240-3524 雨宮智浩 (NTT))

議題 福祉情報工学一般

1. 触感とジェスチャを用いた視覚障害者向けインタラクティブシステムの開発

○白田啓佑・松岡秀平・

大倉典子 (芝浦工大)

2. 指先への多点分布力覚提示による立体稜線の触察動作の評価

○半田拓也・坂井忠裕・清水俊宏 (NHK)・篠田裕之 (東大)

3. ボタン入力インタフェースにおける注視点計測の試み

○石原宏哉・谷 賢太郎・富岡健太・飯島淳彦・

前田義信 (新潟大)

4. 音声出力型娯楽ゲーム“kikimimi”のオンラインシステム化の検討

○石坂英太郎・谷 賢太郎・前田義信 (新潟大)・

新川拓也 (阪電通大)

5. 携帯端末を利用した座位姿勢計測器の開発

○鈴木浩之・

本多春樹・半田隆志 (サテック)・佐野公治 (ユニトレディング)

6. OpenStreetMap データを用いた触地図自動作成システムの開発

○幸田紗都子・山口俊光・渡辺哲也 (新潟大)

7. 視覚障がい者の娯楽使用を想定した物語朗読システムの開発

○金子つばさ (横浜国大)・吉田有里 (日本ビジネスシステム)・

田村直良 (横浜国大)

8. 可視光通信と高速度魚眼カメラによる屋内測位

○澁谷祐太・牧野秀夫・中澤陽平 (新潟大)

◆第39回感覚代行シンポジウム, HI学会研究会, 産総研ジェロテクノロジー研究フォーラム2013 併催

☆WIT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月 [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 木村光宏 副委員長 馬渡宏泰

幹事 安里 彰・岡村寛之

幹事補佐 田村信幸・マラット ザニクエフ

日時 12月13日(金) 13:20~15:25

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 信頼性国際規格, 安全性, 信頼性一般

1. コピュラによる2素子並列従属システムに対する信頼性解析

○影山孝夫・太田修平・木村光宏 (法政大)

2. 共喰い可能なデュアルシステム及び優先補給を用いた2段階整備システムに関する考察

○會津陽介・弓削哲史・

柳 繁 (防衛大)

3. Fine-grained software reliability estimation using software testing inputs

○Hiroyuki Okamura・Yuki Takekoshi・

Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)

4. A comparative study of NHPP-based software reliability models with exponentiated distributions

○Xiao Xiao (Tokyo Metropolitan Univ.)・
Tadashi Dohi (Hiroshima Univ.)

5. 船舶の推進システムのアンアベイラビリティについて

岡崎忠胤 (東京海洋大)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛

◎プログラムは変更される可能性があります。

☆R 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月21日(金) パナソニック松心会館 [12月5日(木)]
テーマ: 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN, IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

安里 彰 (富士通)

E-mail: asato@jp.fujitsu.com

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦

幹事 田中 有・有賀 博

日時 12月13日(金) 9:30~17:05

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 半導体レーザ関連技術, 及び一般

1. Design of Capsule-Shaped Cavity for Nanometallic Semiconductor Lasers
○Baifu Zhang・Takuya Okimoto・

Takuo Tanemura・Yoshiaki Nakano (Univ. of Tokyo)

2. 液体ガラスを用いた量子井戸混晶化とその面発光レーザ応用に関する研究
○阿久津友宏・牛尾拓也・松谷晃宏・

宮本智之 (東工大)

3. マイクロマシンを用いたアサーマル面発光レーザの波長掃引特性
○中濱正統・佐野勇人・坂口孝浩・松谷晃宏・

小山二三夫 (東工大)

4. オンチップ光配線に向けた半導体薄膜レーザの消費電力検討
○平谷拓生・土居恭平・厚地祐輝・雨宮智宏・西山伸彦・

荒井滋久 (東工大)

5. InP/Si ハイブリッド光デバイスにおける複数機能一括貼り付け形成のための構造検討
○鈴木純一・林 侑介・福田溪太・

渥美裕樹・姜 峻炫・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)

午後 (13:10~)

6. [奨励講演] オンチップ光配線に向けた半導体薄膜レーザの低しきい値動作への進展
○進藤隆彦・二見充輝・土居恭平・

平谷拓生・雨宮智宏・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)

7. [奨励講演] 不等間隔アレイ型チューナブル LD を用いた背面波長モニタ
○望月敬太・有賀 博 (三菱電機)

8. 歪補償多重積層 InAs 量子ドットを用いた 1.55 μm 帯半導体光増幅器
○赤羽浩一・山本直克・梅沢俊匡・菅野敦史・

呂 國偉・川西哲也 (NICT)

9. 全光論理ゲート素子に向けた InP (311) B 基板を用いた 1550 nm 帯 20 層積層 QD-SOA の特性評価
○松本 敦・松下明日香・武井勇樹 (早大)

第一種研究会開催案内

赤羽浩一 (NICT)・松島裕一・宇高勝之 (早大)

10. [パネルディスカッション] データセンターにおける光インターコネクションの将来—ポスト VCSEL は VCSEL カシリコンフォトニクスか—

◎H24 年度 LQE 奨励賞の表彰式 (13:00~13:10) 及び受賞記念講演が行われます。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 同志社大鳥丸キャンパス [締切済] テーマ: 光-無線融合 NW, 新周波数 (波長) 帯デバイス, フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【問合先】

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8251, FAX [046] 250-8146

E-mail: yu_tanaka@jp.fujitsu.com

有賀 博 (三菱電機)

TEL [0467] 41-2906, FAX [0467] 41-2519

E-mail: Aruga.Hiroshi@ab.MitsubishiElectric.co.jp

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 佐良木 昌・近藤公久

幹事 久保村千明・黒田 航 幹事補佐 乾 孝司

日時 12月14日(土) 9:05~18:45

会場 早稲田大学 8号館 303-305 (新宿区西早稲田 1-6-1. 山手線: 高田馬場駅から徒歩 20分. 西武新宿線: 高田馬場駅から徒歩 20分. 地下鉄東京メトロ東西線: 早稲田駅から徒歩 5分.

<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html> 原田康也)

議題 言語と学習・場の共創

1. 「ピアジェとチョムスキーの論争: 言語と学習」について—言語の生物メカニズム (仮説) はピアジェの構成主義の勝利を支持する—

得丸公明 (システムエンジニア)

2. 階層構造意味空間モデルによる推論と学習

高田明典 (フェリス女子大)

3. 日本人英語学習者における自律的学習モデル—モデルを活用した対話による自律の育成—

河内山晶子 (明星大)

4. 学習者が創る学習環境から考える自律性と支援—学習者の日本語学習史と心理的側面に着目して—

鈴木由衣 (早大)

5. 日本語教育における「考える力の教育」

前原 舞 (早大)

6. 多言語話者の感情表現におけるコードスイッチング

全 恵利 (早大)

7. 理解主体はどのような表現から表現主体のキャラクタを理解するのか—「表現したいキャラクタ」を重視した日本語教育への示唆—

植草浩史 (早大)

8. 推論利用可能性と染み込み速度に関する知識と体験の異なり

定延利之 (神戸大)

午後 (13:30~)

9. インタラクションの文法—環境の一部としての聞き手—

乙武香里 (国立国語研)

10. フィードバックが日本人英語学習者の第二言語ライティング・プロセスにおける気づきに及ぼす影響 ○濱田真由・横川博一 (神戸大)
11. 母語の読解と第二言語読解の関係についてのモデルの構築 (口頭発表) 柴崎秀子 (長岡技科大)
12. [招待講演] 外国語副作用—外国語使用に起因する思考力の一時的な低下— 高野陽太郎 (東大)
13. 日本人英語学習者のL2文産出処理の自動化に伴う神経基盤の変化—fMRI実験による検討— ○中川恵理・横川博一 (神戸大)・小池耕彦・牧田 快・島田浩二・定藤規弘 (生理研)
14. 日本人英語学習者の言語情報への繰り返し接触が文処理に与える影響—事象関連電位測定実験による検討— ○鳴海智之・横川博一 (神戸大)
15. 日本人英語学習者の英語リスニング—ディクテーション課題における非強勢要素の聞き取りと書き起こし— ○鍋井理沙・原田康也 (早大)
16. [招待講演] Learning, Priming and Prediction—A P-chain approach— Franklin Chang (Univ. Liverpool)

◆早稲田大学総合研究機構情報教育研究所共催

【問合先】

久保村千明 (山野美容芸術短大)
E-mail: ckubomura@yamano.ac.jp

★短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 加藤正文・原田博司
幹事 田野 哲・溝口巨人 幹事補佐 沢田浩和・温 允

日時 12月16日(月) 10:00~17:00
会場 機械振興会館地下3階研修2号室
議題 WLAN, WPAN 関連技術, 一般

- [招待講演] 無線センサネットワークの技術と応用 (仮題) 講演者未定
- [招待講演] 無線センサネットワーク市場の将来動向について (仮題) 講演者未定
- 午後
- マルチバンド周波数協調無線システムにおけるマイクロ波帯によるミリ波帯WLANサービスエリア推定のための空間ダイバーシティ適用法 ○齋藤 弦・和田 翔・梅比良正弘・武田茂樹・宮嶋照行・鹿子嶋憲一 (茨城大)
- アンテナ一体3層構造を用いた60GHz帯CMOSフロントエンド無線モジュール ○藤田 卓・中村真木・築澤貴行・滝波浩二 (パソニック)
- 無線LANと複数無線PANとの共存方式の提案 ○井上文博・西尾理志・守倉正博・山本高至 (京大)・布 房夫・杉山隆利 (NTT)
- アクティブ・タグを用いた屋内経路誘導システムの検討 ○杉本昂路・久保田周治 (芝浦工大)
- 車車間通信に適したMANETとDTNのハイブリッド型ルーティングプロトコル ○原田貴雄・小山明夫 (山形大)
- モバイルアドホックネットワーク用3次元可視化システム ○井上昭裕・小山明夫 (山形大)
- [パネル討論] 無線センサネットワークに必要な技術と将来動向 加藤修三 (東北大)

☆SRW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月3日(月)~5日(水) 早大 [12月2日(月)] テーマ: 移動通信ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】

沢田浩和 (NICT)
TEL [046] 847-5055, FAX [046] 847-5011
E-mail: srw-sec@mail.ieice.org

◎最新情報はSRW 研ホームページを御確認下さい。
http://www.ieice.org/~srw/

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 加藤景三 副委員長 松田直樹
幹事 森 竜雄・瀧本 清 幹事補佐 鴻野晃洋・井上振一郎

日時 12月17日(火) 13:20~18:10

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 電池, 電気化学, 表面修飾, 触媒, 界面その場測定, キャパシタ

- ITO電極とチトクロームc間の直接電子移動反応 ○松田直樹・岡部浩隆 (産総研)
- 鉄コバルト担持多層カーボンナノチューブ触媒の酸素還元能評価 ○高橋勝国・城石英伸 (東京高専)・齋藤守弘 (東京農工大)・田中優実 (東京理科大)
- ZrO₂-1.6P₂O₅電解質を複合化したZnO-2P₂O₅ガラスの中温作動型燃料電池用電解質としての特性 ○安藤慶介・城石英伸 (東京高専)・齋藤守弘 (東京農工大)
- 低電圧ソリユーションプラズマ法を用いた白金ナノ粒子の調製 ○加藤拓海・城石英伸 (東京高専)・中島達朗・松田直樹 (産総研)
- キャパシタ用電解液におけるイオン及び溶媒輸送挙動の解析 ○河原崎 悟・直井勝彦 (東京農工大)・早水紀久子 (産総研)・齋藤守弘 (東京農工大)
- ランタンマンガナイト系空気極触媒の創成とアニオン交換膜形燃料電池への応用 ○齋藤守弘 (東京農工大)・高桑達哉 (同志社大)・鈴木啓志 (東京農工大)・大門英夫・田坂明政・稲葉 稔 (同志社大)・城石英伸 (東京高専)・畑井健雄・桑野 潤 (東京理科大)
- フッ素置換B型炭酸アパタイトの合成と酸化物イオン伝導特性 ○田中優実 (東京理科大)・久貫悠美・北條純一 (九大)
- 液相一段合法による種々の機能性カーボンナノマテリアルの創製 山際清史・田中優実・桑野 潤 (東京理科大)
- グルコースを燃料とする酵素型バイオ燃料電池の高出力密度化 ○田巻孝敬・山口猛央 (東工大)
- 多孔質炭素電極を用いた酵素バイオ燃料電池の開発と電気化学インピーダンス解析 ○四反田 功・星 芳直・板垣昌幸 (東京理科大)
- [招待講演] 燃料電池パーツ材料の評価と電気化学測定 ○野田和彦・廣畑洋平・鈴木良治・伊藤航平 (芝浦工大)・八木雄太 (芝浦工大/ナカボテック)

☆OME 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月27日(金) 宮古マリンターミナル (まいるび宮古) [締切済] テーマ: バイオテクノロジー, 界面, 一般

1月22日(水) 名城大 [未定] テーマ: 有機材料・一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

森 竜雄 (愛知工大)

E-mail: t2mori@aitech.ac.jp

瀧本 清 (キヤノン)

E-mail: takimoto.kiyoshi@canon.co.jp

★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美

幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 12月18日(水) 13:30~17:15

会場 日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館2階121会議室
(千代田区神田駿河台1-8-14. JR中央・総武線:御茶ノ水駅
下車徒歩3分, 東京メトロ千代田線:新御茶ノ水駅下車徒歩3分,
東京メトロ丸ノ内線:御茶ノ水駅下車徒歩5分. <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/access.html> TEL [03] 3259-0776 三浦 光)

議題 強力超音波, 一般

1. 高速スキニングのための横方向に広範囲な超音波送波による組織イメージング(第2報) 炭 親良(上智大)
2. 超音波洗浄槽の軸対称有限要素解析 ○下川原壮人・竹本星羅(中大)・安藤英一, 戸井武司(中大)
3. 超音波振動を用いた微細気泡による水中の溶存酸素濃度の上昇 ○中田雅之・浅見拓哉・三浦 光(日大)
4. 面状振動軌跡を用いた異種金属の超音波接合の基礎検討 ○浅見拓哉・斎藤大貴・杉山 慶・三浦 光(日大)
5. 超音波振動微細鍛造に関する基礎的研究(第2報) 一型鍛造に関する検討— 神 雅彦・○藤家広大(日本工大)・小玉 満(エコー技研)
6. 強力空中超音波による剥離微粒子の誘導 ○小林 匠・大隅 歩・伊藤洋一(日大)
7. 強力空中超音波を用いた非接触非破壊検査の基礎検討—位相差を利用した検討— ○大隅 歩・大塚崇人・伊藤洋一(日大)

◆日本塑性加工学会; 超音波応用加工分科会, 日本音響学会; 超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月27日(月), 28日(火) 関西大100周年記念会館〔締切済〕 テーマ: 応用(電気)音響, 超音波, 一般(音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

2月21日(金) JAXA 調布航空宇宙センター〔未定〕 テーマ: アコースティックイメージング, 非破壊検査, 一般(日本非破壊検査協会; 超音波部門, 日本音響学会; アコースティックイメージング研究会共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山口 匡 (千葉大)

TEL & FAX [043] 290-3267

E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はHPで御確認下さい。 <http://www.ieice.org/us>

第一種研究会開催案内

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 平尾裕司

幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 12月19日(木) 13:00~17:00

会場 明治大学駿河台キャンパス(千代田区神田駿河台1-1. JR中央線・総武線:御茶ノ水駅, 東京メトロ丸ノ内線:御茶ノ水駅から徒歩3分)

議題 エネルギーの安全問題を主として

1. スマートグリッド環境下の日射量予測における不確定性評価 ○高橋政人・森 啓之(明大)
2. 多目的メタヒューリスティクスの送電系統拡張計画への応用 ○中土居 樹・森 啓之(明大)
3. エネルギーシステムの安全性比較と事故・災害—OECD/NEAの調査研究より— 松井一秋(IAE)
4. エネルギーの安全問題における火災と爆発—システム安全の考え方— 門脇 敏(長岡技科大)
5. [依頼講演] 化学プラントの事故から見たエネルギーの安全問題 中村昌允(東京農工大)
6. [依頼講演] 日本の安全文化—原子力とエネルギー— 森 治嗣(北大)

☆SSS研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月13日(木) 機械振興会館[1月15日(水)] テーマ: 安全性一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣(芝浦工大工学部情報工学科)

TEL & FAX [03] 5859-8507

E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 黒木太司

副委員長 九鬼孝夫・中津川征士・山中宏治

幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

日時 12月19日(木) 9:30~17:10

20日(金) 9:00~15:35

会場 埼玉大学総合研究棟1階シアター教室(さいたま市桜区下大久保255. JR京浜東北線:北浦和駅西口下車, バス「埼玉大学」ゆき(終点). JR埼京線:南与野駅下車, 北入口バス停から「埼玉大学」ゆき(終点). <http://www.saitama-u.ac.jp/access/> TEL [048] 858-3635 大平昌敬)

議題 学生研究会/マイクロ波一般

19日午前 学生発表会

1. マイクロストリップ結合線路構造を用いた低域通過フィルタの設計 ○鶴見純一・馬 哲旺・大平昌敬(埼玉大)
2. 有極形デュアルモードループ共振器フィルタにおける入出力直接結合の結合メカニズムについて ○青山裕之・大平昌敬・馬 哲旺(埼玉大)
3. 先端短絡スタブと平行結合 SIR 共振器を組み合わせたチェビシェフ型広帯域バンドパスフィルタの汎用設計法 ○小田純矢・陳 春平・穴田哲夫(神奈川大)
4. 終端短絡結合線路を用いた並列リング型疎結合ラットレース回路の設計法 ○吉橋 是・河合 正・太田 勲

榎原 晃 (兵庫県立大)

5. 非対称結合線路を用いた広帯域バランの研究
○遠藤大貴・齊藤 昭・石川 亮・本城和彦 (電通大)
6. GaN HEMT 大信号モデル用多段はしご型 RC 熱等価回路の実験的抽出手法
○吉田慎悟・石川 亮・本城和彦 (電通大)
7. マルチバンドミキサを用いた単一フィードバック系によるマルチバンド信号同時増幅時のデジタルプリディストーション技術の実証実験
○安藤生真・タン ザカン・荒木純道 (東工大)・山田貴之・加保貴奈・山口 陽 (NTT)
- 19 日午後 (14:00~)

8. Microwave Scattering from Simplified Leaf Structures
○Paul Jason Co・Jun-Ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)
9. 11 GHz 帯マイクロセル環境における非正規散乱物体と散乱メカニズムの同定
○辻 理絵子・金 ミンソク・高田潤一 (東工大)
10. 6 ポートコリレータ型 VNA の測定精度及びダイナミックレンジの向上
○安富進悟・塚本寛也・矢加部利幸 (電通大)
11. 自己校正及び自己設定可能な SPC 型 1 ポート標準器
○塚本和也・松戸 徹・安井駿斗・矢加部利幸 (電通大)
12. ミリ波照射によるカーボンナノチューブ添加高分子の温度分布の観測
○田村賢介・田中将樹 (秋田高専)
13. 銅張り誘電体基板の実効導電率評価に関する検討
○二階堂誠也・清水隆志・古神義則 (宇都宮大)
14. 平衡形円板共振器による複素比誘電率の測定精度に関する検討
○中堤 純 (埼玉大)・小林禧夫 (サマテック)・馬 哲旺 (埼玉大)

20 日午前 学生発表会

1. 誘電体片支持体を有する 60 GHz 帯金属ロッド共振器の特性
國重健吾・○寺本 慎・黒木太司 (呉高専)
2. ミリ波帯埋め込み型高誘電率伝送線路の検討
黒木太司・○北林 智 (呉高専)
3. W 帯導波管-同軸変換器の設計試作
○井上晋吾・國重健吾 (呉高専)・川原祐紀 (KMCO)・黒木太司 (呉高専)
4. 垂直ストリップ線路放射器を用いた 60 GHz 帯アレイアンテナの設計
森田智紀・○安永弘樹・黒木太司 (呉高専)
5. バラクタと集中定数素子を内蔵したリコンフィギャラブル 2 周波アンテナ
○小野寺祥一・石川 亮・齊藤 昭・本城和彦 (電通大)
6. フェーズドアレイアンテナを用いたビーム方向制御に関する研究
○吉野純樹・篠原真毅・三谷友彦 (京大)
7. DC-DC コンバータを用いた弱電レクテナの効率-負荷特性の改善
○黄 勇・篠原真毅・三谷友彦 (京大)
- 20 日午後 (13:30~)

8. パルス駆動偶高調波ミキサの出力電力
○濱 穂並・橋本 潤・伊東健治・別段信一・牧野 滋・廣田哲夫・野口啓介 (金沢工大)
9. 高調波リアクティブ終端による 2GHz 帯高効率 GaN HEMT 電力増幅器及びその周波数特性に関する考察
○矢尾知博・石川 亮・本城和彦 (電通大)
10. $\lambda/4$ インバーターを用いない小型・広帯域並列負荷形 GaN HEMT ドハティ電力増幅器
○井口洋輔・高山洋一郎・石川 亮・本城和彦 (電通大)

◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎研究会終了後、学生研究発表会表彰式を行います。

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月4日(火), 5日(水) 愛媛大 [1月13日(月)] テーマ:
マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

清水隆志 (宇都宮大)
TEL & FAX [028] 689-6132
E-mail: tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

河合 正 (兵庫県立大)
TEL & FAX [079] 267-4873
E-mail: kawai@eng.h-hyogo.ac.jp

★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒
幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

日時 12月19日(木) 9:30~17:40
20日(金) 9:45~17:55

会場 筑波大学文京キャンパス (文京区大塚 3-29-1. http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html)

議題 第15回音声言語シンポジウム

19 日午前 音声認識

- SP-1. 教師なしで発音情報を付与したコーパスを用いた言語モデル学習
○立花隆輝・伊東伸泰・倉田岳人・西村雅史 (日本 IBM)・Ueffing, Nicola・Willett, Daniel (Nuance)
2. 分布間距離ベクトルに基づく音響的類似度とサブワード事後確率の併用による音声検索語検出の改善
山本直樹・甲斐充彦 (静岡大)
3. 音声入力による音声ドキュメント検索における単語重要度を考慮したベイズリスク最小化音声認識
志々見 亮・西田昌史 (同志社大)・南條浩輝 (龍谷大)・山本誠一 (同志社大)
4. HMM 状態系列間の照合による音声中の検索語検出精度向上
高橋仁基・伊藤慶明 (岩手県立大)・李 時旭 (産総研)・田中和世 (筑波大)・小嶋和徳・石亀昌明 (岩手県立大)
5. 音節単位 DNN-HMM による音声認識の検討
関 博史・中川聖一 (豊橋技科大)

19 日午後 音声一般

- SP-6. 誤り単語の視覚・聴覚提示における事象関連電位による違和感分析
○小田垣 佑・サクティ サクリアニ・ニュービグ グラム・戸田知基・中村 哲 (奈良先端大)
- SP-7. ピッチ特徴量を用いた自閉症スペクトラム障害児と定型発達児の識別
○柿原康博・滝口哲也・有木康雄 (神戸大)・中井 靖 (川崎短大)・高田 哲 (神戸大)

音声対話

8. 説得対話コーパスの構築と分析
平岡拓也・ニュービグ グラハム・サクティ サクリアニ・戸田知基・中村 哲 (奈良先端大)
- SP-9. Efficient Phoneme Set Design Using Phonetic Decision Tree in Dialogue-Based English CALL Systems for Japanese Students
○Xiaoyun Wang (Doshisha Univ.)・Jinsong Zhang (Beijing Language and Culture Univ.)・Masafumi Nishida・Seiichi Yamamoto (Doshisha Univ.)
10. AR キャラクターとの英会話練習時における交代潜時のタイムプレッシャーによる制御
鈴木直人 (東北大)・廣井 富

藤原祐磨・黒田尚孝（阪工大）・戸塚典子・千葉祐弥・
伊藤彰則（東北大）

11. 音声操作ロボットの意図せぬ動作に対するユーザ発話のパラ
言語的特徴に関する分析 戸塚典子・伊藤彰則（東北大）
声質変換

SP-12. Improvement of AF-based voice conversion for arbitrary
speakers ○Narpendyah Wisjnu Ariwardhani
(Toyohashi Univ. of Tech.)・
Yurie Iribe (Aichi Prefecture Univ.)・
Kouichi Katsurada (Toyohashi Univ. of Tech.)・
Tsuneo Nitta (Waseda Univ.)

SP-13. 辞書選択型非負値行列因子分解による構音障害者の声質
変換 ○相原 龍・滝口哲也・有木康雄（神戸大）

SP-14. 雑音環境下におけるセグメント特徴を考慮したNMFに
よる声質変換 ○藤井貴生・相原 龍・滝口哲也・
有木康雄（神戸大）

SP-15. 話者依存型 Conditional Restricted Boltzmann Machine
による声質変換 ○中鹿 亘・滝口哲也・有木康雄（神戸大）

20日午前 音声対話・合成

1. 接客時間推定に向けた従業員の位置・音声データによる発話
クラスタリング 川瀬徹也・竹原正矩・田村哲嗣（岐阜大）・
天目隆平・蔵田武志（産総研）・速水 悟（岐阜大）

SP-2. 言語モデルと音響モデルを利用したアクセント句境界の
自動推定 ○鈴木啓史・郡山智樹（東工大）・
能勢 隆（東北大）・篠崎隆宏・小林隆夫（東工大）

オーガナイズドセッション1（招待講演）

SP-3. [招待講演] Acoustic Modeling Using Restricted Boltz-
mann Machines and Deep Belief Networks for Statistical
Parametric Speech Synthesis and Voice Conversion
Zhenhua Ling (USTC)

20日午後 オーガナイズドセッション2（招待講演）（13:15~）

SP-4. [招待講演] A Unified Trajectory Tiling Approach to
High Quality Speech Rendering ○Yao Qian・
Frank Soong (MSRA)

オーガナイズドセッション3（招待講演）

SP-5. [記念講演] 東芝の音声合成技術一閉ループ学習から最
近の取り組みまで— 赤嶺政巳（東芝）

オーガナイズドセッション4（招待講演）

SP-6. [フェロー記念講演] 多様な音声合成に向けた取組みと
課題（仮題） 小林隆夫（東工大）

オーガナイズドセッション5（一般講演）

SP-7. HMM 音声合成技術の歌唱スタイル生成 Job Plugin への
応用 ○橘 誠・才野慶二郎・久湊裕司（ヤマハ）

SP-8. OJADを支える音声合成技術—音声合成しない音声合
成技術の使い方— ○峯松信明・中村新芽・橋本浩弘・
広瀬啓吉（東大）

9. DAISY コンテンツ作成のための音訳支援システム—DaisyR-
ings (TM) の実装と予備評価— 布目光生・黒田由加・
水岡良彰・森田眞弘（東芝）

◆情報処理学会；音声言語情報処理研究会連催，日本音響学会；
音声研究会共催，人工知能学会；言語・音声理解と対話処理研
究会，IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 協賛，
INTER_SPEECH 2010 実行委員会後援

☆SP 研究会今後の予定

1月23日（木），24日（金） 名城大 テーマ：音声，言語，
対話，一般

第一種研究会開催案内

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会（SANE）

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島荘之介

幹事 辻 政信・灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平・牧 謙一郎

日時 12月20日（金） 13:00~15:45

会場 日本工業大学 LC センター（百年記念館）1F マルチメ
ディア教室（南埼玉郡宮代町学園台4-1，東武伊勢崎線：東武
動物公園下車，西口より徒歩約15分またはタクシー約5分。
<http://www.nit.ac.jp/guide/> TEL [0480] 33-7738 高瀬浩
史）

議題 レーダ信号処理及び一般

1. トラック処理を考慮した監視情報インテグリティ算出法
○小瀬木 滋・古賀 禎・大津山卓哉・本田純一・
住谷泰人（電子航法研）
2. ERG 搭載型 HEP-e 用 ASIC の高速デジタル計数処理にお
ける性能評価 ○本郷裕太郎（東海大）・高島 健・
三谷烈史（JAXA）・三宅 互（東海大）
3. 船舶用レーダにおける干渉除去処理の電波環境適応制御の開
発 ○富木洋一・時枝幸伸・菅原博樹（日本無線）
4. 最小特異値による TOA 測位誤差の解析 小菅義夫（長崎大）
5. HPRF レーダにおける複数アンテナパターンを用いるサイド
ローブクラッタ内目標検出法 ○影目 聡・
平田和史（三菱電機）
6. アレーセンサを用いた位置・行動検出 ○洪 志勲・
大槻知明（慶大）

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日（木），24日（金） 長崎県美術館〔締切済〕 テー
マ：測位・航法及び一般

2月20日（木），21日（金） ホテルかめ福（山口市）〔12月3
日（火）〕 テーマ：衛星応用技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

灘井章嗣（NICT）

TEL [042] 327-6496

E-mail : nandai@nict.go.jp

辻 政信（JAXA）

TEL [050] 3362-7646

E-mail : tsuji.masanobu@jaxa.jp

★機構デバイス研究会（EMD）

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕

幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 12月20日（金） 14:00~16:35

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題

1. 磁気シールド用アモルファス金属箔へのアルミニウム薄板
（または箔）の電磁圧接 ○相沢友勝・松澤和夫・
岡川啓悟（都立産技高専）
2. 定在波同軸管法を用いた非共振試料のPIM測定における測定
限界に関する実験的検討 ○森田久美子・
久我宣裕（横浜国大）
3. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化

告 11

- 現象—ハンマリング加振機構の特性に関する基礎的検討 (29)
— ○和田真一・越田圭治・サインダーノロブリン・久保田洋彰 (TMCシステム)・澤 孝一郎 (日本工大)
4. 放電境界領域における電気接点挙動の研究 (その1) —アーク継続時間の挙動研究— 吉田喜郎 (アルプス電気)
5. 放電境界領域における電気接点挙動の研究 (その2) —タクトスイッチのアーク発生頻度— 吉田喜郎 (アルプス電気)
- ☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月31日 (金) 日本航空電子昭島事業所 [締切済] テーマ: 一般

2月21日 (金) パナソニック「松心会館」[12月5日 (木)] テーマ: 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN, IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

関川純哉 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1618

E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕 (横浜国大)

TEL & FAX [045] 339-4279

E-mail: kuga@ynu.ac.jp

服部康弘 (住友電装)

TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591

E-mail: yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝 (NTT フォトニクス研究所)

TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421

E-mail: abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/> を御参照下さい。

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太

幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

日時 12月20日 (金) 13:00~17:45

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光パッシブコンポーネント (フィルタ, コネクタ, MEMS), シリコンフォトニクス, 一般

- [招待講演] シリコンフォトニクスデバイスの光実装技術
○平 洋一・沼田英俊 (日本 IBM)
- ゲルマニウム発光の温度依存性の第一原理計算
○諏訪雄二 (PETRA/PECST/日立)
- 高電圧駆動時における WG 型ゲルマニウム PD の挙動とその解析
○武田浩太郎・開 達郎・土澤 泰・西 英隆・高 磊・福田 浩・山本 剛 (NTT)・石川靖彦・和田一実 (東大)・山田浩治 (NTT)
- 10-Gb/s Si マツハツェンダ変調器による光ファイバ 100 km 伝送
○石原啓樹・小里貞次郎・五井一宏・小川憲介 (フジラ)
- 3次元光インターコネクトに向けた金属ミラー付き層間グレーティングカプラ
○カン ジュンヒョン・渥美裕樹・林 侑介・鈴木純一・久能雄輝・雨宮智宏・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)

- 擬似位相整合ニオブ酸リチウム光導波路の縦続二次非線形効果を用いた全光学的超高速再生中継器の特性解析—信号とクロック間の時間オフセットの効果—
○永島文洋・福地 裕 (東京理科大)
- ビスマスベース能動モード同期ファイバレーザ
○村井 透・福地 裕 (東京理科大)
- [招待講演] シリコン導波路と MEMS アクチュエータの組み合わせによる光路制御
○羽根一博・ホアンマン チュ (東北大)
- メタマテリアルを用いた InP 系プラットフォームにおける透磁率制御
○雨宮智宏・金澤 徹 (東工大)・石川 篤 (理研)・カン ジュンヒョン・西山伸彦・宮本恭幸 (東工大)・田中拓男 (理研)・荒井滋久 (東工大)
- マイクロリング共振器装荷マツハ・ツェンダ型光スイッチの設計
○西村真樹・ラジディープ ゴータム・荒川太郎・國分泰雄 (横浜国大)

◆シリコンフォトニクス時限研究専門委員会協賛

☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日 (木), 24日 (金) 同志社大丸丸キャンパス [締切済] テーマ: 光-無線融合 NW, 新周波数 (波長) 帯デバイス, フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

2月27日 (木), 28日 (金) ネストホテル那覇 [11月29日 (金)] テーマ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ (ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む) 伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

橋本俊和 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365

E-mail: hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

荒川太郎 (横浜国大)

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

TEL [045] 339-4143, FAX [045] 338-1157

E-mail: arakawa@ynu.ac.jp

中川剛二 (富士通研)

〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1

TEL [044] 754-2643, FAX [044] 754-2640

E-mail: gnakagawa@jp.fujitsu.com

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では, H18 年度より「学生優秀研究賞」を新設しました. 学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので, 積極的な御投稿をお待ちしています. 詳細は研究会 HP を御覧下さい.

★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 萩田紀博 副委員長 土井美和子・今井倫太
幹事 宮下敬宏・神原誠之 幹事補佐 中尾敏康・坂本大介

日時 12月20日(金) 10:30~17:00

会場 東京大学山上会館本郷キャンパス(文京区本郷7-3-1.
<http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/sanjo/contact/> TEL
[03] 3818-3008(会場) 坂本大介)

議題 人との対話に注目したクラウドネットワークロボット、及び一般

テレプレゼンス

1. 遠隔操作者の音環境理解を支援するテレプレゼンスシステム
○小池京太郎・今井倫太(慶大)・中村圭佑・中臺一博(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)
2. 外装型触力覚提示装置を用いた技能教育支援手法の提案
○ヤエム ヴィボル・葛岡英明(筑波大)

午後 招待講演

3. [招待講演] 未定
コミュニケーション
4. 展示空間における写真上の会話を利用したロボットガイド
○権瓶 匠・松村耕平・角 康之(公立はこだて未来大)
5. コミュニケーションゲーム「人狼」を用いた対話技術習得ロボットの提案
大澤博隆(筑波大)

身体性と視覚

6. ロボットの身体方向が鑑賞者の身体配置に与える影響に関する研究
○伊藤 巧・葛岡英明(筑波大)
7. 雑音環境下を考慮した音量自動調節テレプレゼンスシステム
○速水 昭・今井倫太(慶大)・中臺一博・中村圭佑(ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)
8. 福島第一原子力発電所のがれき除去作業へ向けた気中と水中からの画像によるリアルタイム3次元再構成技術
○関 晃仁・Oliver Woodford・Riccardo Gherardi・畠山 誠・島村淳一・岡田隆三・Bjorn Stenger・Roberto Cipolla(東芝)

☆CNR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月13日(木), 14日(金) 福岡大 [12月10日(火)] テーマ: パターン認識・メディア理解の基礎と境界領域, 環境・エネルギーの課題, ポスターセッション

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

——東北支部における開催——

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 原 直紀 副委員長 前澤宏一
幹事 上田哲三・葛西誠也 幹事補佐 松永高治・鈴木寿一

日時 12月16日(月) 12:35~18:15

17日(火) 9:30~15:25

会場 東北大学電気通信研究所(仙台市青葉区片平2-1-1. 地下鉄: 五橋駅下車. 北2番の出入口より地上へ, 徒歩約8分.
<http://www.riec.tohoku.ac.jp/> TEL [022] 217-5420 尾辻泰一)

議題 ミリ波・テラヘルツ波デバイス・システム

16日

1. [招待講演] 60 GHz 帯 CMOS 無線機の研究開発
岡田健一(東工大)
 2. [招待講演] 超 100 GHz 帯増幅器技術の進展とその通信への応用
○佐藤 優・川野陽一・芝 祥一・松村宏志・高橋 剛・鈴木俊秀・中舎安弘・原 直紀(富士通)
 3. 埋め込みゲートを有する InAlAs/InGaAs HEMT のモンテカルロ計算
○遠藤 聡(NICT/富士通研)・渡邊一世・笠松章史(NICT)・三村高志(富士通研/NICT)
 4. 高精度スペクトル計測に向けた F 帯 InP HEMT 基本波ミキサの開発
○芝 祥一(富士通)・佐藤 優(富士通研)・松村宏志・高橋 剛・鈴木俊秀・中舎安弘・原 直紀(富士通)
 5. W 帯光ファイバー無線応用に向けた高速光ミリ波光検出器の開発
○梅沢俊匡・赤羽浩一・菅野敦史・川西哲也(NICT)
 6. [招待講演] 共鳴トンネルダイオードを用いたテラヘルツ発振器における最近の進捗と今後の展望
○鈴木左文・浅田雅洋(東工大)
 7. コレクタスペーサ層厚最適化による共鳴トンネルダイオードテラヘルツ発振素子の 1.42 THz 基本波発振
○金谷英敏・曾我部 陸・前川 猛・鈴木左文・浅田雅洋(東工大)
 8. 大きな周波数掃引幅をもつ可変容量ダイオード集積共鳴トンネルダイオードテラヘルツ発振器
○北川成一郎・鈴木左文・浅田雅洋(東工大)
 9. 低温成長 GaAs テラヘルツ電磁波検出性能の光伝導アンテナ形状依存性
○水井健太・川山 巖・村上博成・斗内政吉(阪大)
 10. 間接注入機構量子カスケードレーザの 1.89 THz, 160 K 発振
○佐々木美穂(理研/埼玉大)・林 宗澤(理研)・平山秀樹(理研/埼玉大)
 11. テラヘルツ帯量子カスケードレーザの室温動作に向けた取り組み
○安田浩朗・寶迫 巖(NICT)
- 17日午前
1. [招待講演] 非線形光学波長変換による最先端テラヘルツ波発生及び検出技術の開発
南出泰亜(理研)
 2. 誘電体クラッド層挿入によるスラブ導波路 GaP 結晶からのテラヘルツ波発生高効率化
○出崎 光・前田健作・小山 裕(東北大)
 3. 半絶縁性 GaAs の below gap 光キャリア励起によるテラヘルツ放射
○清水祐作・出崎 光・前田健作・小山 裕(東北大)
 4. テラヘルツ波方式による絶縁被覆電線の素線断線可視化技術
○高橋星也・中村悠太・田邊匡生・前田健作・浜野知行・中嶋かおり・小山 裕(東北大)
 5. テラヘルツ波方式による非侵襲血糖値診断方法
○千葉裕典・中嶋かおり・浜野知行・前田健作・小山 裕(東北大)
- 17日午後(13:30~)
6. [招待講演] Novel concepts and technology for terahertz device applications using graphene
○Victor Ryzhii・Akira Satou(Tohoku Univ.)・Maxim Ryzhii(Univ. Aizu)・Taiichi Otsuji(Tohoku Univ.)
 7. 非対称二重回折格子状ゲート構造 HEMT による超高感度及び周波数選択性テラヘルツ波検出
○川崎鉄哉・畠山信也・栗田裕記(東北大)・Guillaume Ducournau(IEMN)・Dominique Coquillat(Univ. Montpellier 2 & CNRS)

- 小林健悟・佐藤 昭 (東北大)・
Yahya M. Meziani (Univ. Salamanca)・Vyacheslav. V. Popov
(Kotelnikov Inst. Radio Eng. Electron., RAS)・
Wojciech Knap (Univ. Montpellier 2 & CNRS)・末光哲也・
尾辻泰一 (東北大)
8. FDTD simulation of terahertz-subwavelength focusing hyper-
lens made by alternating perforated P-doped Si and glass layers
○Piyawath Tapsanit (Tohoku Univ.)・
Masatsugu Yamashita・Chiko Otani (RIKEN)
9. 宇宙マイクロ波背景放射 (CMB) 偏光観測のための超伝導力
学インダクタンス検出器 (MKID) の開発 ○美馬 覚・
大谷知行 (理研)

◆テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会協賛

◎16日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆ED 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月15日(水)~17日(金) 機械振興会館 [締切済] テー
マ: パワーデバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

【問合先】

上田哲三 (パナソニック)

TEL [06] 6906-4940, FAX [06] 6906-2426

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

葛西誠也 (北大)

TEL [011] 706-6509, FAX [011] 716-6004

E-mail: kasai@rciqe.hokudai.ac.jp

——東海支部における開催——

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一
幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

日時 12月12日(木) 9:00~17:40

13日(金) 9:00~17:10

会場 三重大学総合研究棟II メディアホール (1階)/第2講義室
(3階) (津市栗真町屋町1577. 近鉄名古屋線:津駅から, 06,
40, 51, 52, 53, 56 いずれかの系統「大学前」バス停下車
(200円・約15分), またはタクシーで約10分 (三重大学正
門). 近鉄名古屋線:江戸橋駅 (急行停車駅) から, 徒歩約15
分. 中部国際空港 (セントレア) から, 津エアポートライン
(<http://www.tsu-airportline.co.jp/top.php>) で「津なぎさま
ち」へ40分, 「津なぎさまち」から三重交通バスで津駅まで約
15分 (200円) またはタクシーで大学まで約20分. キャンパ
スマップ http://www.mie-u.ac.jp/pdf/20121203_campusmap.pdf
pdfの中 (K) の建物. <http://www.mie-u.ac.jp/traffic/index.html> 大山 航)

議題 事象の監視・検出・解析, 安全・安心社会の実現, 若手か
らの情報発信

12日午前 一般セッション1

1. 自動車走行時における学習付き障害物検出器の提案
○倉田寛貴・松井博和 (三重大)
2. ドライバの特性を考慮した歩行者の見つけやすさ推定手法に
関する予備的検討 ○谷繁龍之介 (名大)・
道満恵介 (中京大)・出口大輔 (名大)・
目加田慶人 (中京大)・井手一郎・村瀬 洋 (名大)・
二反田直己 (デンソー)

一般セッション2

3. 周辺情報の統計的評価による風景中の文字認識
○内田直樹・和泉勇治・田中和之 (東北大)
4. 可読性を考慮した検出容易な文字パターンの検討
○小泉壮太・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
5. Earth Mover's Distance に基づいた筆跡字形の個人内変動と
個人差の評価法における画線密度分布のクラスタ数の検討—平
仮名筆跡について— ○赤尾佳則・山本 敦・
東川佳靖 (科警研)

12日午後 企画セッション (13:15~)

6. 第17回 PRMU アルゴリズムコンテスト表彰式・発表会

特別講演1

7. [特別講演] 参照データの戦略的スリム化に基づく高速画像
マッチング 橋本 学 (中京大)

テーマセッション1 (15:40~17:40)

8. サーベイ論文: サブピクセル物体検出
○上瀧 剛 (熊本大)・井尻善久 (パナソニック)
9. 濃度変動分析を用いた外乱画素の確率的推定に基づくロバ
スト画像照合 ○斎藤正孝・橋本 学 (中京大)
10. GPT 相関法による2D射影変換に不変な画像マッチング
○若原 徹 (法政大)・山下幸彦 (東工大)
11. 輪郭形状識別器に基づくオクルージョン境界検出
○村崎和彦・数藤恭子・谷口行信 (NTT)

一般セッション3 (15:40~17:40)

12. 対象物体の3次元表現で行うSAD計算の効果
○中島達郎・田中雅也・小栗 清・柴田裕一郎 (長崎大)
13. Bregman Divergence Regularized Machine による酵素活性
部位予測 レラトール レイサ・○加藤 毅 (群馬大)・
長野希美 (産総研)
14. 低解像度赤外線センサアレイを用いた複数点熱の位置推定
○細野峻司 (名大)・高橋友和 (岐阜聖徳学園大)・
出口大輔・井手一郎・村瀬 洋 (名大)
15. 2色素モデルに基づく果実の自動良否判定システムの開発
○伊藤嘉純・大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)

13日午前 一般セッション4

1. 全順序性を持つ大局的特徴系列の選択とその利用
○緒方亮汰 (九大)・森 稔 (NTT)・内田誠一 (九大)
2. Explicit Local Linear Method for 2D Affine Image Registration
○Hayato Itoh (Chiba Univ.)・
Tomoya Sakai (Nagasaki Univ.)・
Atsushi Imiya (Chiba Univ.)
3. 弾性マッチング二題—最適化法を変えて広がる応用—
○内田誠一・柿迫良輔・深澤大我・フォン ヤオカイ (九大)

企画セッション

4. 若手からの情報発信

13日午後 特別講演2 (12:50~)

5. [特別講演] ビッグデータ時代の監視映像分析技術
勞 世竈 (OSS)

テーマセッション2

6. サーベイランスカメラ映像を対象とした人物照合の高精度化
への取り組み ○川西康友・Yang Wu・椋木雅之・
美濃導彦 (京大)・勞 世竈 (パナソニック)
7. 大規模事例に基づく動画像推定のための対象の動き表現
○岩切裕太郎・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
8. 手荷物の種類と向きを考慮した人物画像からの手荷物の所持
判定に関する検討 ○浅井康博 (名大)・

高橋友和 (岐阜聖徳学園大)・出口大輔・井手一郎・
村瀬 洋 (名大)

一般セッション 5

9. HMM を用いた運筆からの手書き数字認識

○北野真示・西野隆典・成瀬 央 (三重大)

10. Congealing を用いた多フォント認識

○江頭勇治・
フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)

11. ドット文字の生成と認識に関する考察

○遠藤浩士・
大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 阪大豊中キャンパス [締切済]
テーマ: 人体・動作の認識と理解, 福祉と共生, 国際会議報告

2月13日(木), 14日(金) 福岡大 [12月10日(火)] テー
マ: パターン認識・メディア理解の基礎と境界領域, 環境・
エネルギーの課題, ポスターセッション

3月13日(木), 14日(金) 早大 [1月15日(水)]
テーマ: 主テーマ: パターン認識・メディア理解における組み
合わせと統合 社会課題: 文化の振興と教育 企画: プラグ
インアルゴリズム

パターン認識技術は、画像認識をはじめとして幅広い分野で
利用されています。特に近年では画像認識技術が音声認識へ応
用され、またその逆も提案されるなど研究分野をまたいだ交流
が活発化しています。更に情報科学分野の枠を越え、情報工学
分野や心理学、脳科学分野との連携も増えてきています。この
ような背景のもと、PRMU 研究会ではテーマセッション「パ
ターン認識・メディア理解における組み合わせと統合」を企画
しました。このテーマセッションではコンピュータビジョンだ
けでなく音声・音響解析、自然言語処理、その他幅広い基礎・
応用技術分野を含んだ発表を募集し、研究分野間の交流を促進
したいと考えています。本研究会では、人間の視覚・聴覚特性
を基盤とした認識システムなどの研究開発を推進されている、
北海道大学長谷山美紀先生による特別講演も予定しておりま
す。楽曲や画像、映像を人間のように理解する次世代のマルチ
メディアシステムや発想を支援する検索システムの実現の試み
などについてお話しして頂く予定です。

またパターン認識技術を利用したデータ解析を文化的事業や
スポーツ、教育に応用した事例も増えていきます。そこで、社会
課題テーマとして「文化の振興と教育」を企画しました。人文
学、社会学的観点と情報学との接点、実用システムの可能性、
及び問題解決に向けてのアプローチなどを議論したいと思
います。テーマセッションの思想とも共通しますが、幅広い分
野の研究発表を募り、あらゆる観点から議論が展開できること
を期待しております。博物館や美術館等における情報技術の活
用を推進されている、国立民族学博物館の丸川雄三先生による
特別講演も予定しております。御期待下さい。

更に、分野をまたがる統合をサポートするには、分野外の方
々が簡単に利用できるツールも重要です。そこで多くの方が
気軽に利用できるプラグインアルゴリズムの提案も募集しま
す。これらのテーマに加えて一般セッションの発表も広く募集
します。多数の御投稿、御参加をお待ち申し上げます。

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

PRMU 研究会幹事

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

★イメージ・メディア・クオリティ研究会 (IMQ)

専門委員長 山田光穂 副委員長 堀田裕弘・杉山賢二
幹事 中口俊哉・前田 充 幹事補佐 工藤博章・齊藤新一郎

日時 12月13日(金) 13:30~16:40

会場 静岡大学浜松キャンパス (<https://www.shizuoka.ac.jp/access/index.html> 大橋剛介)

議題 ディスプレイとIMQ一般

1. 電子書籍と紙書籍の見開きページ読書時の眼球運動の比較
○高比良英朗・石川諒一・菊池 慧・山田光穂 (東海大)
2. 手の動きと頭部運動、眼球運動の協調運動の解析
○菊池 慧・横山優樹・高比良英朗・石川諒一・
山田光穂 (東海大)
3. 画質評価のための注視重要度の関数近似 ○泉 直孝・
黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏 (神戸大)
4. 遠隔作業支援システムにおける指導者による AR 情報の重積
手法とネットワーク環境が及ぼす影響に関する一考察
○大多和 均・佐野良樹・長沼晶子・古澤昌也・湯瀬裕昭・
渡邊貴之 (静岡県立大)
5. 3次元表示された画像における、VSNRを用いた客観的評価
と主観評価との比較 ○鈴木一弘・坂本雄児 (北大)
6. 3D 映像における視覚疲労と映像評価についてのアンケート
結果の統計的分析 ○河畑則文・宮尾 克 (名大)
7. メタメリズムインデックスを用いた広色域ディスプレイの評
価 ○天野雄介・大橋剛介・下平美文 (静岡大)

【問合先】

中口俊哉 (千葉大)

E-mail: nakaguchi@faculty.chiba-u.jp

◎IMQ 研究専門委員会ホームページ (<http://www.imqa.jp/confcall.html>) も御覧下さい。

★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭
幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

日時 12月20日(金) 10:00~17:10

会場 デンソー本社5号館2F MR213室 (刈谷市昭和町1-1. JR
東海道本線: 刈谷駅下車、徒歩10分または名鉄三河線: 刈谷
駅下車徒歩5分 (来客駐車場の利用も可能)。 [http://www.
ieice.org/cs/emcj/jpn/regular/Denso_map_201312.pdf](http://www.ieice.org/cs/emcj/jpn/regular/Denso_map_201312.pdf) 飯田
導平)

議題 電力、生体、EMC、一般

- EMCJ-1. ワイヤハーネス用シールドの計測とシミュレーション
赤堀一郎 (デンソーEMCES)
- EMCJ-2. 3軸磁界プローブによる車室内のポインティングベク
トル計測 ○深川康弘・福井伸治・河野秀一・
小澤達矢 (日本自動車部品総研)
- EMCJ-3. 電源周波数帯における交流磁界センサの校正不確かさ
とその改善 ○石居正典・黒川 悟・島田洋蔵 (産総研)
- EMCJ-4. 同軸管法/フランジ型同軸管法を応用した1GHz以上
の周波数帯域における遮蔽量評価装置
○峯松育弥 (KEC)・室岡正一 (JSE)・山本真一郎・
畠山賢一 (兵庫県立大)
- EMCJ-5. 周期的に穴のあいた金属板の遠方界遮へい特性の検討
○末崎健太・山本真一郎・畠山賢一 (兵庫県立大)

午後 (13:30~)

EMCJ-6. 放射 RF 電磁電磁界印加時のロボットの安全機能の検証
○風間 智・池田博康 (労働安全衛生総研)・村上真之 (都立産技研究センター)

EMCJ-7. 反射箱型全身ばく露装置における小動物に対する全身平均 SAR の定量化
○石 晶晶 (名工大)・

チヤカロタイ ジェドヴィスノブ (NICT)・王 建青 (名工大)・和氣加奈子・渡辺聡一 (NICT)・藤原 修 (名工大)

8. 電磁界ばく露による体内電気量評価ツールの拡張
山崎健一 (電力中研)・関場陽一 (電力計算センター)

9. 血液透析のリアルタイム品質監視のための腎臓病患者の血液のコンダクタンスとサセプタンス成分の変化に関する検討
○武田 明 (中部大)・高田和之 (豊田高専)・

長尾尋智 (岩倉病院)・王 建青・藤原 修 (名工大)

EMCJ-10. r ポート測定による 2r ポート Sパラメータの推定
○前田 登・福井伸治・直井 孝 (日本自動車部品総研)・

市川浩司 (アソ)・関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

EMCJ-11. CIP 法による不均一線路の解析
○石田一恭・関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

EMCJ-12. 折れ曲りマイクロストリップ線路における放射・電磁干渉特性
宮崎保光・○高橋浩一 (愛知工科大)・後藤信夫 (徳島大)

EMCJ-13. 線路上の外部電磁界影響位置を端部電流測定によって推定する一方法の検討
○伊達龍吾・関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

◆電気学会・電磁環境技術委員会連催, IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。
会費: 4,000 円程度

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 30 日 (木), 31 日 (金) 佐賀大 [締切済] テーマ: 通信, 無線電力伝送, EMC, 一般

2 月 休会

3 月 14 日 (金) 機械振興会館 [1 月 13 日 (月)] テーマ: EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】
肖 鳳超 (電通大情報・通信工学科電子情報システムコース)

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1
TEL & FAX [042] 443-5234
E-mail: emcj@mail.ieice.org

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦
幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴
幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

◎本研究会は MBE 研究会と NC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12 月 21 日 (土) 9:00~18:00

会場 岐阜大学サテライトキャンパス (岐阜市吉野町 6-31. JR 岐阜駅から徒歩 5 分. http://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/access.html 横田康成)

議題 ME, 一般

午前 NC 研究会 (9:00~12:30)

NC-1. アイトラッキングに基づく第二言語習得の認知プロセスの解析
李 鵬・○吉成祐子 (岐阜大)

NC-2. 位相の線形性による周波数領域ブラインド信号分離における並び替え問題の解決について
○石津敬大・深井英和 (岐阜大)

NC-3. ガウス性を仮定した可変窓幅平均変位学習による最頻値推定法と背景音スペクトログラム推定への応用
○田口智一・横田康成 (岐阜大)

NC-4. 特徴選択を同時にできる条件付き確率推定法
○志賀元紀 (岐阜大)・杉山 将 (東工大)

NC-5. 事象関連磁場応答に基づく呈示様式の異なるスタンバーク記憶課題遂行中の脳賦活位置関する研究
○川合博己・奥畑志帆・夏川浩明・小林哲生 (京大)

NC-6. スタンバーク記憶課題における音韻的・図形的記憶照合に伴う脳波律動の時空間的変動
○久保佑樹 (京大)・奥畑志帆 (学振)・小林哲生 (京大)

NC-7. 線形制約付き一般化最小二乗空間フィルタに基づく fMRI-MEG 統合解析による事象関連同期信号の再構成
○井上智弘・夏川浩明・小林哲生 (京大)

NC-8. 大腿義足装着と模擬した大腿義足装着下での皮膚の生理的变化に関する研究
○中田冴子・野坂利也・木村圭幸・早川康之 (北海道工大)

午後 NC 研究会 (13:30~16:10)

NC-9. 学習において一般漸近理論と正則漸近理論が成立するために十分なサンプル数の相違について
渡辺澄夫 (東工大)

NC-10. 多層動的バイナリニューラルネットの相関に基づく学習
○森安淳吾・斎藤利通 (法政大)

NC-11. 簡素な分岐ニューロンモデルの複数入力に対する応答
○柳瀬勇作・桐川翔太・斎藤利通 (法政大)

NC-12. 2 次元心的回転における大域的ならびに局所的処理機構
○知念浩司・朝倉暢彦・乾 敏郎・笹岡貴史 (京大)

NC-13. 隠れユニット数の範囲を限定した特異階段追跡法
○佐藤聖也・中野良平 (中部大)

NC-14. 組み込み用学習法 LGRNN とその探索木を用いた高速計算
○加藤晶久・山内康一郎 (中部大)

午前 MBE 研究会 (9:00~12:30)

MBE-1. 心臓外科手術による頸動脈径変化に対する影響の検討
○河村洋子・横田康成 (岐阜大)・梅田幸生 (岐阜県総合医療センター)

MBE-2. 重心動揺検査における姿勢の数理的な検討
○福井優太・平田隆幸・高田宗樹 (福井大)

MBE-3. 立体映像視聴時における周辺視が身体に及ぼす影響
○山口仁志・酒井正樹・平田隆幸・高田宗樹 (福井大)

MBE-4. 散乱線を利用する X 線 CT の原理的考察
○竹本和馬・山崎陽一・戸田尚宏 (愛知県立大)

MBE-5. 腕のリーチング運動学習に伴う視覚ターゲットの運動方向知覚の変化に関する実験的考察
○伊藤 聡・神谷恭敏・佐々木 実 (岐阜大)・Mohammad Darainy・David J. Ostry (McGill Univ.)

MBE-6. 動脈硬化指標のための頸動脈と周辺組織の組み合わせ

円筒モデル ○横田康成・河村洋子・野方文雄 (岐阜大)
MBE-7. 超音波画像による脈管系試験のためのファントムの検討
○興津亮吾・富岡亮太・四ツ谷輝久・横田康成 (岐阜大)

MBE-8. 2種類の電気刺激が運動野の活動に与える影響の比較
○永鳥翔平・川勝真喜 (東京電機大)・
小川真司 (浜松赤十字)・三和真人 (千葉保健医療大)

午後 MBE 研究会 (13:30~18:00)

MBE-9. 従属栄養細菌のバイオフィルム形成と消毒処理耐性に関する検討
○岡山雅哉・菅原俊継・黒田 聡・守田憲崇・
有澤準二・木村主幸 (北海道工大)

MBE-10. 医療機器保守業務での消毒が機器素材に及ぼす影響と細菌定着性の変化に関する検討
○山本大介・黒田 聡・
菅原俊継・守田憲崇・有澤準二・木村主幸 (北海道工大)

MBE-11. VRの利用による車椅子体験シミュレータ
○鈴木雄士・川村拓也・大坪克俊・山田宏尚 (岐阜大)

MBE-12. MR-DTIを用いたアルツハイマー型認知症患者の白質病変の解析と評価—神経線維追跡による研究—
○久田祥史・小林哲生 (京大)・山崎貴史・
長田 乾 (秋田脳研)

MBE-13. 光ポンピング原子磁気センサ小型モジュールの特性—アルカリ金属セル内のスピン偏極不均一性の影響—
○水谷夏彦・岡野一久・藩 和宏・市原 直・
寺尾 亮 (キノ)・小林哲生 (京大)

MBE-14. 光ポンピング原子磁気センサを用いた超低磁場 MRI 実現に向けた複数鞍型フラックストランスフォーマの検討
○武藤正人・笈田武範・小林哲生 (京大)

MBE-15. 超低磁場 MRI に向けた勾配バイアス磁場を用いた光ポンピング原子磁気センサの周波数帯域制御
○高田裕人・
笈田武範・小林哲生 (京大)

MBE-16. 咀嚼筋電位性雑音の脳波への重畳様式の検討と FDI-CA (周波数領域 ICA) を用いた分離の試み
○富永 滋 (明治)・吉田 久・中迫 昇 (近畿大)

MBE-17. 眠気誘発時の高次スペクトル解析
○佐久間雅斗・
戸田尚宏 (愛知県立大)

MBE-18. 呼吸音に含まれる心音と環境雑音の低減手法の検討と評価
○加島卓磨・山下達也・田村哲嗣・速水 悟・
林 賢二・西本 裕 (岐阜大)

◆MBE 研究会：日本生体医工学学会；ME とバイオサイバネティックス研究会共催

NC 研究会：日本神経回路学会，IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(金)，25日(土) 佐賀大〔締切済〕テーマ：ME，一般

3月 東京

【問合先】

中村和浩 (秋田県立脳血管研究センター)
〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-10
TEL [018] 833-0115, FAX [018] 833-2104
E-mail : knam@akita-noken.jp

☆NC 研究会今後の予定

1月20日(月)，21日(火) 九工大
3月 東京

【問合先】

宮下真信 (沼津高専)
〒410-8501 沼津市大岡3600

第一種研究会開催案内

TEL & FAX [055] 926-5782

E-mail : miyasita@numazu-ct.ac.jp

—北陸支部における開催—

★ディベンドブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 12月13日(金) 13:00~17:40

会場 和倉温泉観光会館 (七尾市和倉町式部13-1, JR七尾線：和倉温泉駅からタクシー5分)

議題 安全性及び一般

1. FPGA 向けアプリケーション依存テストのための効率的なスキャン BIST アーキテクチャ ○伊藤溪太・米田友和・大和勇太・畠山一実・井上美智子 (奈良先端大)
2. FPGA の自己テストのための可変タイミングクロック生成 ○佐藤康夫・松浦宗寛・荒川 等・三宅庸資・梶原誠司 (九工大)
3. TDC による高速オンチップ遅延時間測定を用いた高品質遅延故障テストセット構成法 ○加藤健太郎 (鶴岡高専)・小林春夫 (群馬大)
4. PPM 圧縮における誤り訂正手法の改良 ○得田和希・北神正人 (千葉大)
5. ファイルバージョンングを伴うデータレプリケーションプロトコルの最適ノード配置の解析 ○福本 聡・大原 衛 (首都大東京)・新井雅之 (日大)
6. [招待講演] 安全関連国際規格と認証の状況 田代維史 (交通安全環境研)
7. 電力網と SCADA 網との相互作用が及ぼす堅牢性への影響について ○松井佑記・小島英春・土屋達弘 (阪大)
8. 画像合成を用いた亀裂検出システムの開発 ○富山真一・大平倫宏 (都立産技研究センター)
9. 電波環境測定データを用いたオフライン検証による高信頼無線方式の検討手法 ○小篠大輔・石岡和明・武 啓二郎・石津文雄 (三菱電機)
10. ソフトウェアプロトタイプングの仕様検討段階への導入効果 ○黒沼友恵・高橋 聖・中村英夫 (日大)・池田岳雄・森 昌也・今村 覚 (日本信号)
11. 軸重制御車両への慣性センサの適用による位置検知の高信頼化の基礎検討 ○山道 孝・北野隆康・岩田浩司 (鉄道総研)・浅野 晃 (京三)

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月10日(月) 機械振興会館 [12月9日(月)] テーマ：VLSI 設計とテスト及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

土屋達弘 (阪大大学院情報科学研究科)
E-mail : t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

◎最新情報は，DC 研究会ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 岩谷幸雄 副委員長 三好正人・荻木禎史
幹事 戸上真人・水町光徳 幹事補佐 宮部滋樹

日時 12月13日(金) 13:00~16:40
14日(土) 13:00~16:15

会場 金沢大学サテライトプラザ(金沢市西町三番丁16 金沢市西町教育研修館内。JR金沢駅からバス(北陸鉄道)(約5分)で武蔵ヶ辻で下車後、徒歩約5分。http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/ 三好正人)

議題

13日

- 背景雑音を考慮した音声伝達指標のブラインド推定法の検討
○宮崎晃和・森田翔太・鶴木祐史(北陸先端大)
- 非最小位相音響空間におけるブラインド残響除去に関する検討
○岸田裕士・藤井健作(兵庫県立大)・棟安実治(関西大)・森本雅和(兵庫県立大)
- 音声劣化を許容したGSCとAMNORとの関係の検討
○森一馬・金田豊(東京電機大)
- マイクロホンアレイの開口長に起因する収音音声劣化の改善について
○丹生賢・阿部悠輝・齋藤毅・三好正人(金沢大)
- 位相干渉に基づく1ch音響測距法における送受信系の移動を考慮したバックグラウンド除去—基礎的検討とロボットセンサーへの応用—
○中迫昇・西前達矢・篠原寿広(近畿大)・中山雅人(立命館大)・上保徹志(ワイヤレス)
- 遅延器による位相差を利用する有限長信号からの瞬時周波数測定方法の提案
○西江純教・赤木正人(北陸先端大)
- 波数空間フィルタリングに基づく直線スピーカアレイを用いたマルチスポット再生
岡本拓磨(NICT)
- コンピュータによる鳥の羽ばたきの擬音生成
○三宅智昭・米村俊一・徳永幸生(芝浦工大)・杉山精(東京工芸大)

14日

- 接近・遠離音の音像
○岡田脩平・本多雄樹・平原達也(富山県立大)
- 頭部伝達関数算出のための2次元画像に基づいた3次元頭部モデルモーフィングの検討
○糸川雄紀・大谷真・橋本昌巳・香山瑞恵・伊東一典(信州大)
- 動的パニングによる音像方向の制御
○百瀬友博・大谷真・橋本昌巳・香山瑞恵・伊東一典(信州大)
- 少数仮想音源間の振幅パニングを用いるバイノーラルヘッドホンステレオについて
○南欣吾・齋藤毅・三好正人(金沢大)
- 雑音下における発話で変化した音響特徴が音声の聞き取りやすさに与える影響
○高山貴史・齋藤毅・三好正人(金沢大)
- 転居によるホルマント周波数の変化について
○大竹稔・齋藤毅・三好正人(金沢大)
- 歌声の習熟度と周波数特性との関係に関する考察
○佐久間雄輝・香山瑞恵・池田京子・大谷真・橋本昌巳・伊東一典(信州大)

◆日本音響学会;電気音響研究会共催

☆EA研究会今後の予定 []内発表申込締切日

1月27日(月), 28日(火) 関西大100周年記念会館〔締切

済] テーマ: 応用(電気)音響, 超音波, 一般(音響・超音波サブサイエティ合同研究会)

2月 休会

3月 NHK技研〔未定〕テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ】

水町光徳(九工大)

TEL [093] 884-3245, FAX [093] 884-3203

E-mail: mizumach@ecs.kyutech.ac.jp

—関西支部における開催—

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲
幹事 梅原大祐・寺田純

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 藤井俊彰 副委員長 高村誠之・浜本隆之
幹事 久保田彰・市ヶ谷敦郎 幹事補佐 三功浩嗣・松尾翔平

日時 12月5日(木) 9:50~17:40
6日(金) 9:25~16:05

会場 京都工芸繊維大学60周年記念館(京都市左京区松ヶ崎橋上町1。京都市営地下鉄烏丸線:松ヶ崎駅から徒歩11分。
http://www.kit.ac.jp/01/01_110000.html TEL [075] 724-7471 梅原大祐)

議題 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

5日午前

CS-1. REMOCOP: 遠隔協調作業のための基盤システム

○持田康弘・北村匡彦・白井大介・藤井竜也(NTT)

CS-2. データベースの空間的校正を用いたScene Analysis位置推定システムの一検討
○清水駿也・相河聡(兵庫県立大)

CS-3. 複数の受信素子を用いたRSSIに基づく高精度位置推定法の実験的検討
○林祐一郎・相河聡(兵庫県立大)

CS-4. SPBMにおけるECT形成時の経路選択確率の最適化

中山悠(NTT)

5. 漸増刺激法によるEV/HEVのサイン音の音像定位とスピーカの関係
○竹内大貴・金子格(東京工芸大)

6. ガウス過程回帰モデルを用いた多重音信号における楽器同定
○鍵本哲宏・笠井裕之(電通大)

7. Compressive Sensingを用いた高効率多次元データ変化検出における計算コストの改善手法の一検討
○古澤宏樹・笠井裕之(電通大)

8. 授業評価における瞳孔径の分析—視線計測装置の利用—
○大山貴紀・金子格(東京工芸大)

5日午後(12:50~)

CS-9. [特別招待講演] これからのネットワークについて
玉木規夫(日立)

IE-10. 3次元空間コンテキストによる物体検出性能の向上
○木原西華・志村浩(リコー)

IE-11. 画質評価に関する基礎検討—彩度と色相の変化が及ぼす影響について—
○川崎修平・保坂憲一(東海大)

IE-12. ゴルフスイングの上達のためのユーザーに適した姿勢修正
○筒井洋玄・杉村大輔・浜本隆之(東京理科大)

- IE-13. 局所類似性と色相関を利用した圧縮センシングに基づくカラー画像の再構成 ○苫米地 大・杉村大輔・保坂忠明・浜本隆之 (東京理科大)
- CS-14. 経路選択とチャネル管理連携を用いたマルチチャネル MANET の性能評価 ○畢 兆孟・伊藤敬生・田所裕康・坪井利憲 (東京工科大)
- CS-15. 複数配置したパルス電力制御シュードライトのカバレッジ 高橋 賢 (広島市大)
- CS-16. GPS 再放射アンテナによる屋内 GPS 受信機の同期特性解析 ○福岡拓哉・梅原大祐・若杉耕一郎 (京都工繊大)
- CS-17. 周波数選択性フェージング通信路における PNC 協調中継のスループット解析 ○清水直樹・梅原大祐・若杉耕一郎 (京都工繊大)
- CS-18. [特別招待講演] パケットレベルの誤り訂正を考慮した映像品質評価モデリング 笠原正治 (奈良先端大)
- CS-19. [特別招待講演] FTV 標準化の新しいフレームワーク 谷本正幸 (名古屋産業科学研)

6 日午前

- CS-1. 各種 TCP 輻輳制御方式の TCP Reno との親和性評価 ○樽川正祐・上田裕巳 (東京工科大)
- CS-2. 車載ネットワークにおける HD-PLC の実験的評価 ○大井浩輔・梅原大祐・若杉耕一郎 (京都工繊大)
- CS-3. 縦続接続ツイストペアケーブルの特性評価手法の一検討 ○新田真吾・梅原大祐・若杉耕一郎 (京都工繊大)・坪内利康・高橋佳吾 (オートネットワーク技研)
- CS-4. 光有無線融合システムにおける OFDM 信号の多重伝送特性に関する検討 ○今井一貴・大柴小枝子 (京都工繊大)・伊藤正紀・関 昇平 (OKI)
- CS-5. パルス位置変調を利用した UWB インパルス無線位相変調 ○小原友里・稲本和久・河原英彰・大柴小枝子 (京都工繊大)
6. 地域情報プラットフォームと通信放送連携システムの開発と評価—地域観光振興と防災に向けて— ○三代沢 正・広瀬啓雄・土屋 健 (諏訪東京理科大)・亀山 渉・小柳恵一 (早大)・山本 永 (諺研)・唐澤英安・唐澤英長 (DCB)・増沢健一 (エルシブイ)
7. 異なる ISDB-T 伝送モード下での TMCC パリティを用いた緊急警報放送信号の検出特性 高橋 賢 (広島市大)
8. おまかせ検索 (ハイブッドキャスト版) ○高林 徹・原田 聡・本間康文 (TBS テレビ)
9. Hhybridcast 方式による競馬中継番組の放送通信連携コンテンツの試作 ○並川 巖・結城芳彦・小野浩一 (関西テレビ)
10. 移動局共同干渉キャンセルを行う MU-MIMO システムの屋内伝送実験 ○篠原 諒・村田英一 (京大)
11. 120 GHz 帯 FPU の偏波多重伝送特性の検討 ○津持 純・杉之下文康 (NHK)・岡部 聡 (NHK-ES)

6 日午後 (13:05~)

12. [特別講演] スーパーハイビジョンの放送に向けたメディアトランスポート技術 MMT 青木秀一 (NHK)
13. 複数映像品質に対応したキャッシュコンテンツ管理方式とその一考察 児玉 明 (広島大)
14. 放送通信連携サービス用アプリケーション配信管理システムの試作 ○広中悠樹・大亦寿之・大竹 剛・大槻一博・武智 秀・加井謙二郎・真島恵吾 (NHK)
15. H.264/AVC ソフトウェアデコーダのための複数符号語同時復号に基づく高速 RunBefore 復号アルゴリズムの検討

- 早川広記・笠井裕之 (電通大)
16. 動向情報の根拠探索のためのテレビ番組からの図表画像検出手法の検討 ○梅澤啓史・宮森 恒 (京都産大)
- IE-17. 人物領域の抽出・3D モデリングに基づく没入感ビデオ会議 ○三功浩嗣・内藤 整 (KDDI 研)
- IE-18. 輝度系列に基づくクラスタリングを用いた単一固定カメラによる屋外垂直平面向き推定 ○山村哲平・青木恭太 (宇都宮大)
- IE-19. 類似プレイ検索における K-means 法を用いた検索基準時空画像の自動生成 ○吹場拓郎・青木恭太 (宇都宮大)
- IE-20. 画像特徴への影響を考慮したノイズフィルタの最適化手法 ○須賀万里子・三浦 紳 (三菱電機)

◆情報処理学会; オーディオビジュアル複合情報処理研究会, 映像情報メディア学会; 放送技術研究会連催

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 大賀郷公民館 (八丈島) [締切済] テーマ: コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2 月 休会

3 月 6 日 (木), 7 日 (金) 阪市大 [1 月 13 日 (月)] テーマ: ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

梅原大祐 (京都工繊大)
TEL [075] 724-7471, FAX [075] 724-7400
寺田 純 (NTT)
E-mail : kanji2013@cscen.org

○最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2 月 北大 [未定] テーマ: ITS 画像処理, 一般

3 月 6 日 (木), 7 日 (金) 別府国際コンベンションセンタ [未定] テーマ: 五感メディアの品質, コミュニケーションデザイン, 画像符号化, 一般 (CEA 研協賛 (仮))

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

市ヶ谷敦郎 (NHK)
E-mail : ie-kanji2013@mail.ieice.org

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良安雄 副委員長 大野裕三

幹事 笹子佳孝 幹事補佐 黒田理人

日時 12 月 13 日 (金) 9:00~18:20

会場 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科大講義室 (生駒市高山町 8916-5. 学研北生駒から徒歩 20 分またはバスで 5 分, 高の原駅からバス 20 分. http://www.naist.jp/accessmap/index_j.html TEL [0743] 72-6060 浦岡行治)

議題 シリコン関連材料の作製と評価

1. パルス電圧ストレス下における酸化物 TFT の発熱劣化解析

- 木瀬香保利・石河泰明・浦川 哲・山崎はるか・
上岡義弘・堀田昌宏・浦岡行治 (奈良先端大)
2. 高圧水蒸気処理を施した n-GaN 上 ALD-Al₂O₃ ゲート絶縁膜
の電気的特性 ○吉嗣晃治・梅原智明・堀田昌宏・
石河泰明・浦岡行治 (奈良先端大)
3. 多結晶シリコン薄膜デバイスによるフォトセンサ
○大山翔平・松村 篤・門目亮之・田中 匠・松田時宜・
木村 睦 (龍谷大)
4. インジウムを介した Vapor-Liquid-Solid 機構に基づくシリコ
ンナノワイヤの形成と評価 ○福永圭吾・畑山智亮・
矢野裕司・岡本尚文・谷 あゆみ・石河泰明・
冬木 隆 (奈良先端大)
5. キャリア再結合抑制効果を持つ電界効果型薄膜太陽電池
○若宮彰太・小林孝裕・松尾直人・部家 彰 (兵庫県立大)
6. レーザープロセスを用いたポロンドーピングによる n 型単結
晶シリコン太陽電池の作製 ○山本悠貴・西村英紀・
岡村隆徳・福永圭吾・冬木 隆 (奈良先端大)
7. リンドープのシリコンナノインクを用いたレーザードーピン
グによる単結晶シリコン太陽電池の作製 ○岡村隆徳・
西村英紀・冬木 隆 (奈良先端大)・富澤由香・
池田吉紀 (帝人)
8. Poly-Si TFT を用いた Gate Array の設計開発
○井上雅志・松田時宜・木村 睦 (龍谷大)
9. スパッタリングより形成した Al₂O₃ 膜をゲート絶縁膜とする
CLC 低温 poly-Si TFT ○目黒達也・原 明人 (東北学院大)
午後
10. [招待講演] BLDA による Si 薄膜結晶化と応用
○野口 隆・岡田竜弥, 他 (琉球大)
11. 軟 X 線照射による半導体薄膜の低温結晶化—光子エネルギー
依存性と SiGe 多層膜の TEM 観察— ○草壁 史・
丸山裕樹・部家 彰・松尾直人・神田一浩・
望月孝晏 (兵庫県立大)・伊藤和博・高橋 誠 (阪大)
12. ペルヒドロポリシラザンへの CO₂ レーザー照射による SiO₂
薄膜形成と多結晶シリコン薄膜トランジスタのゲート絶縁膜
応用 ○菱谷大輔・堀田昌宏・石河泰明 (奈良先端大)・
渡辺陽介・池上 浩 (九大)・浦岡行治 (奈良先端大)
13. 軟 X 線源を用いた Si 中 B 原子の低温活性化技術の開発
○部家 彰・草壁 史・丸山裕樹・松尾直人・
神田一浩 (兵庫県立大)・野口 隆 (琉球大)
14. [招待講演] 抵抗変化メモリにおける動作特性制御法としての
「細孔エンジニアリング」の提案 ○木下健太郎・
長谷川 祥 (鳥取大)
15. [招待講演] グラフェン誘導体表面に構築したオンチップ型
FRET アプタセンサ ○上野祐子・古川一暁 (NTT)
16. Cu/HfO₂/Pt 構造 CB-RAM の動作特性に対する溶媒置換の
影響 ○長谷川 祥・榎本雄太郎・伊藤敏幸・片田直伸・
岸田 悟・木下健太郎 (鳥取大)
17. 第一原理分子動力学法を用いた Conducting-Bridge Memory
(CB-RAM) における金属拡散機構の解明
○由良 翔 (鳥取大)・山崎隆浩 (物材機構)・中田謙吾・
石井 晃・岸田 悟・木下健太郎 (鳥取大)
18. 遷移金属酸化物抵抗変化メモリのデータリテンション特性
○吉原幹貴・緒方涼介・村山直寛・岸田 悟・
木下健太郎 (鳥取大)
19. 誘電体厚膜の形成とプロトンビームによる直接パターンニング
○渡辺和貴・山口正樹・西川宏之 (芝浦工大)

20. 長方形断面 Ge ナノワイヤの電子移動度の断面形状及びサイ
ズ依存性 ○田中 一・森 誠悟・森岡直也・須田 淳・
木本恒暢 (京大)
21. 界面にリン及び窒素を導入した 4H-SiC MOSFET のしきい
値電圧不安定性の考察 ○金藤夏子・矢野裕司・大澤 愛・
畑山智亮・冬木 隆 (奈良先端大)
22. コンダクタンス法を用いた面方位の異なる SiC MOS 構造の
界面準位の評価 ○中澤成哉・南園悠一郎・須田 淳・
木本恒暢 (京大)
23. 三フッ化塩素 (ClF₃) を用いた炭化珪素 (SiC) 表面の形状
変化 ○堀 良太・畑山智亮・矢野裕司・
冬木 隆 (奈良先端大)

◆応用物理学会共催

——中国支部における開催——

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和
幹事 筒井 弘・目黒光彦 幹事補佐 田中 豪・原田康祐

日時 12月12日(木) 9:00~16:50
13日(金) 9:00~14:30

会場 とりぎん文化会館 (鳥取県民文化会館) 第4会議室 (鳥取
市尚徳町 101-5. JR 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ約 20
分. または鳥取空港から空港連絡バスで 15 分「県庁日赤前」
下車すぐ. <http://cms.sanin.jp/p/torikenmin/10/> TEL
[0857] 21-8700 (会場) 伊藤良生)

議題 システムオンシリコン, RFID 関連技術, 一般
12日午前

- データを埋め込んだ印刷画像からの画像補正用マークを用い
たデータ検出 玉置公寿・○棟安実治 (関西大)
- 線構造を考慮した画素値修復法のカラー画像への応用
○義 如・石 宝・田中 豪 (名古屋大)
- DCT 符号情報の埋め込みとその拡大画像先鋭化への応用
○古川翔大・茨木風太・末竹規哲・内野英治 (山口大)
- 表示可能性を保証した HSI 色空間での処理形態の提案
吉成和也・○田口 亮 (東京都大)
- 無線 LAN アクセスポイントにおける予約型/非予約型ス
リブ制御方式のための LLC 層バースト伝送手法
○原口裕哉・山本達也・長尾勇平・黒崎正行・
尾知 博 (九工大)
- FA 向け無線同期通信システムの一検討 ○占部喜也・
篠崎翔明・森田賢史・Lam Duc Khai・長尾勇平・黒崎正行・
尾知 博 (九工大)
- ASIP を用いた高精度 8×8 MIMO-OFDM システムの設計
○岩泉洋紀・杉谷将宏・斉 培恒・筒井 弘・
宮永喜一 (北大)
- 低消費電力型 8×8 MIMO-OFDM システムの開発
○杉谷将宏・岩泉洋紀・斉 培恒・筒井 弘・
宮永喜一 (北大)

12日午後

- [チュートリアル講演] 音声信号の強調と分離
川村 新 (阪大)
- キウムラントを用いた音声に重畳する突発性騒音区間検出に
関する一検討 ○馬水規寛・笹岡直人・奥村慎悟・

伊藤良生 (鳥取大)

11. 血液中のアルコール濃度が音声信号に及ぼす効果

○川野正幸・藤原直樹・吉村宏紀・岸田 悟 (鳥取大)

12. 疲労が音声信号に及ぼす効果

○岸 啓・吉村宏紀・岸田 悟 (鳥取大)

13. 株式デイトレーディングルール最適化問題における最適化期間と取引日に関する検討

○大本真護・竹花慶紀・大木 誠 (鳥取大)

14. 複数の3階層型バックプロパゲーションニューラルネットワークを用いてアンサンブル学習を行う分類器の構築

○田中章浩・木下健太郎・岸田 悟 (鳥取大)

15. カメラ応答関数の微分特微量による改ざんエッジ検出

○長尾俊幸 (鳥取大)・加藤寛和 (鳥取県警科捜研)・藤原英晃・近藤克哉 (鳥取大)

16. [招待講演] 研究におけるモチベーション, インスピレーション, そしてアクション

川添博光 (鳥取大)

13日午前

1. アンテナレイアウト及びチャネルシナリオによるMIMOアンテナ選択に関する一検討

○井伊谷達徳・加藤賢晃・笹岡直人・伊藤良生 (鳥取大)

2. MU-MIMO System-on-Chip Evaluation Platform with 5 GHz RF-Module for Next Generation IEEE 802.11 Wireless LAN

○Leonardo Lanante (Kyushu Inst. of Tech.)・Yuhei Nagao・Tatsumi Uwai・Nico Surantha・Baiko Sai (Radrix)・Hiroshi Ochi (Kyushu Inst. of Tech.)

3. Compressed Sensing based channel estimation for MIMO-OFDM with ESPAR antenna

○Diego Javier Reinoso Chisaguano・Takeshi Higashino・Minoru Okada (NAIST)

4. Detection of sporadic heavy rain using rain-fall attenuation in microwave mesh network

○Gemalyn Abrajano・Takeshi Higashino・Minoru Okada (NAIST)

5. [チュートリアル講演] 視覚的質感

○浅野 晃 (関西大)・浅野(村木) 千恵 (安田女子大)

6. 色覚特性の違いによる誘目度の定量的評価

○和田凌平・目黒光彦 (日大)

7. オクターブ類似性を用いた位相操作による音楽電子透かしの特性改善

○田中諒輔・加藤翔也・荒川 薫 (明大)

8. Min-Max バイラテラルフィルタを用いたヘイズ除去法の提案

古川翔太・○福田孝広 (山口大)・古賀崇了 (徳山高専)・末竹規哲・内野英治 (山口大)

13日午後 (13:10~)

9. 秘密分散とプリコーディングを用いたパケット無線通信の情報保護方式

○山崎彰一郎・松嶋智子・大野成義 (職業大)

10. 自律自己学習による可変語長制御 OFDM 受信機の低消費電力化

○佐々木大地・吉澤真吾・谷本 洋 (北見工大)

11. 極位置制御に基づいたサブバンド適応デジタルノッチフィルタの収束特性に関する一検討

○衣笠保智 (松江高専)・伊藤良生 (鳥取大)・小林正樹

12. ガウス雑音の標準偏差推定値の補正

○鈴木貴士・辻 裕之 (神奈川工科大)・田口 亮 (東京都市大)・木村誠聡 (神奈川工科大)

◎12日研究会終了後、懇親会を予定しております。研究会への申し込みなしで、懇親会参加御希望の方は、幹事補佐 原田宛まで御連絡頂きましたら御案内致します。

E-mail: kohsuke.harada@toshiba.co.jp

第一種研究会開催案内

詳細場所、時間は改めて御案内申し上げます。

☆SIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月6日(木), 7日(金) 神戸 [未定] テーマ: ソフトコンビューティング, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ】

筒井 弘 (北大)

E-mail: hiroshi.tsutsui@ist.hokudai.ac.jp

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 石橋圭介

副委員長 秋山豊和・地引昌弘・中村 豊

幹事 衛藤将史・松浦知史

幹事補佐 義久智樹・山本 寛・渡里雅史

◎本研究会は IN 研究会と IA 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月19日(木) 10:45~17:55

20日(金) 8:30~16:45

会場 広島市立大学講堂小ホール (広島市安佐南区大塚東3-4-1. 広島そごう3Fバスセンターより「くすの木台」行きバス乗車「市立大学前」にて下車。 <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/page/content0002.html>)

議題 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラヒックの計測, 品質 (QoS) 制御, 輻輳制御, トラヒック・フロー制御, オーバーレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS 及び一般

19日午前

IN-1. 可用帯域を指標とした複数のルーティングテーブルを用いる動的ルーティング手法の提案と評価 ○今村敬博・今井雅晴・杉崎義雄・水野 修・浅谷耕一 (工学院大)

IN-2. 媒介中心性を用いた負荷分散手法の提案とスケールフリーネットワークへの適用性 ○林 壮真・永田裕太郎・浅谷耕一 (工学院大)

IN-3. 異なる通信環境の混在に適応した効率的な SkipGraph 構築法の提案 ○安友洋平・中村嘉隆・高橋 修 (公立はこだて未来大)

19日午後

IA-4. ID/Locator 分離アーキテクチャにおける匿名性の向上 ○小林佑樹・金子晋丈・寺岡文男 (慶大)

IA-5. 省電力型ルーティングテーブルと評価プラットフォームに関する研究 ○岡本拓巳・中野啓太・井上一成 (奈良高専)

IA-6. ネットワーク仕様定義による広域分散ネットワークの運用管理 岡部寿男・○津崎善晴 (京大)・新 麗 (IIJ-II)・林 達也 (レゾム)

チュートリアル講演

IN-7. 情報システムの省電力化を実現する次世代ネットワーク管理技術の研究開発(1)―プロジェクトのビジョンと全体概要― ○白鳥則郎・中村直毅・和泉 諭 (東北大)

- 角田 裕・松田勝敬 (東北工大)・
太田耕平 (サイバ・ソリューションズ)・石垣正裕 (東北大)・稲葉 勉・
小笠原孝志 (NTT 東日本)・菅沼拓夫 (東北大)・
キニ グレン マンスフィールド (サイバ・ソリューションズ)
- IN-8. 情報システムの省電力化を実現する次世代ネットワーク
管理技術の研究開発(2)—ネットワーク情報に基づいた消費電
力の推定と G-MIB の国際標準化— ○和泉 諭・
中村直毅 (東北大)・角田 裕・松田勝敬 (東北工大)・
太田耕平 (サイバ・ソリューションズ)・菅沼拓夫 (東北大)・
キニ グレン マンスフィールド (サイバ・ソリューションズ)・
白鳥則郎 (東北大)
- IN-9. 情報システムの省電力化を実現する次世代ネットワーク
管理技術の研究開発(3)—大規模ネットワークにおける端末利
用状況の可視化— ○中村直毅・和泉 諭 (東北大)・
稲葉 勉・小笠原孝志 (NTT 東日本)・太田耕平・
キニ グレン マンスフィールド (サイバ・ソリューションズ)・菅沼拓夫・
白鳥則郎 (東北大)
- IN-10. 情報システムの省電力化を実現する次世代ネットワーク
管理技術の研究開発(4)—情報システムの自律的再構成に基づ
く電力の無駄削減技術— ○和泉 諭・粟原孝太・吉野太郎・
中村直毅・菅沼拓夫・白鳥則郎 (東北大)

招待講演

- 共通-11. [招待講演] WebRTC の標準化動向と今後の展望
○日紫喜徹也・大羽 巧・小池 新 (NTT)
- 共通-12. [招待講演] Google SPDY Proxy が ISP に与える影響
について (仮題) 大津繁樹 (IIJ)

20 日午前

- IN-1. センシング情報の類似性の判定を用いたネットワーク対
応機器におけるグループ化手法の提案 ○土岐 卓・
田坂和之・大岸智彦 (KDDI 研)
- IN-2. 緊急時における一般電話通話時間制限と回線閾値制御に
関する検討 ○田辺和輝 (東工大)・宮田純子 (神奈川大)・
山岡克式 (東工大)
- IN-3. CCN における RTT を用いたキャッシュ置き換え手法の
提案 ○横田健治・杉山浩平・田上敦士 (KDDI 研)
- IN-4. 無線 LAN 環境におけるハンドオーバを考慮した TCP 通
信のスループット保証方式 ○百田彩香・小畑博晴・
舟阪淳一・石田賢治 (広島市大)
- IN-5. エンドユーザにおける IPv6 Link-Local アドレスの利便性
を向上させる Zone ID Free 機能の設計と実装
○北村 浩 (NEC)・阿多信吾 (阪市大)・村田正幸 (阪大)
- IA-6. P2P 型センサデータストリーム配信システムにおける分
散ハッシュを用いた負荷均等化手法の一考察
○川上朋也 (神戸大)・石 芳正・義久智樹 (阪大)・
寺西裕一 (NICT/阪大)
- IA-7. ハイブリッド型 P2P システムにおけるノード地図を用い
た検索 ○大西 圭 (九工大)・山本 寛 (長岡技科大)・
ケッペン マリオ (九工大)
- IA-8. OpenFlow を用いたインターネットエクステンションにお
ける Elastic Peering の提案 ○真田亮平・岡田和也・
樋山寛章 (奈良先端大)・河合栄治 (NICT)・
小林和真 (倉敷芸術科学大)

20 日午後

- IN-9. カオスを利用したレート制御方式のシミュレーション評
価 ○高橋友里・作元雄輔 (首都大東京)・
高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)

- IN-10. ホイヘンスの原理に基づく自律分散構造形成技術におけ
る生成クラスタ数の制御技術 ○高木健志 (首都大東京)・
高野知佐 (広島市大)・会田雅樹 (首都大東京)・
成瀬 誠 (NICT)
- IN-11. 大規模住宅ログの体現ビューサービスにおける MapRe
duce バッチ動的生成機構の実装 ○伊勢勇輝・
山本晋太郎・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀 (神戸大)
- IN-12. 残余処理時間を利用した MapReduce ジョブスケジュー
リング ○松木辰真・滝根哲哉 (阪大)
- IA-13. MultiPath TCP 適用時のデータセンターネットワークで
のフローサイズが与える影響に関する一考察 ○藤居翔吾・
関谷勇司・田崎 創 (東大)
- IA-14. SCTP マルチストリーム性能評価ツールの設計と実装
○王 哲・近堂 徹・相原玲二 (広島大)
- IA-15. ストリームデータの配送に向けた分散トピックベース
Pub/Sub 手法の提案 ○坂野遼平・竹内 亨・武本充治・
神林 隆・川野哲生・松尾真人 (NTT)
- IA-16. 無線 LAN 環境における同一ペイロードパケット削減手
法 ○山口裕樹・野林大起・池永全志 (九工大)
- ◎20 日研究会終了後, IA 研究会: 学生研究奨励賞授賞式を行
います。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 名古屋国際センター [締切済]
テーマ: ネットワークソフトウェア, コンテンツ配信/流
通, ソーシャルネットワーク (SNS), データ分析・処理基
盤, ビッグデータ及び一般

2 月 休会

- 3 月 6 日 (木), 7 日 (金) 宮崎シーガイア [1 月 10 日 (金)]
テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail : in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

五十嵐弓将 (NTT)

TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5671

野村啓仁 (NTT)

TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5671

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できません。原稿の
提出が締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿
なしでの御発表となります。ただし、原稿未提出の場合、講演
中止とする場合もあります。

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 30 日 (木), 31 日 (金) 機械振興会館 [未定]

2 月 27 日 (木), 28 日 (金) 未定 [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

IA 研究会幹事

E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★磁気記録・情報ストレージ研究会 (MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 12月12日(木) 13:30~16:45
13日(金) 9:15~12:00

会場 愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール(松山市文京町3, JR松山駅から環状線#1, 松山市駅から環状線#2で、「鉄砲町」下車, 北へ徒歩約2~5分. <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> 岡本好弘)

議題 信号処理, 一般

12日

1. 並列分散ファイルシステム Gluster FS による HDD データ転送の高速化 ○山本直人・村岡裕明(東北大)

MR-2. ホログラムメモリによる1テラビット記録密度の動作実験 ○石橋友理菜・倉田博之・塚本 悠・山本 学(東京理科大)

MR-3. シフト-ペリスタロフィック多重記録方式のシミュレーション及び実験 ○斎藤修一・荒井敦志・吉田周平・山本 学(東京理科大)

MR-4. エピタキシャル SmCo5 合金薄膜の作製と Co サイトの Ni 原子による置換 ○柳川貴人・大竹 充・山田 真・堀田裕介・鈴木 中(中大)・桐野文良(東京藝術大)・二本正昭(中大)

MR-5. L10 型規則構造を持つ磁性合金薄膜の構造解析 ○大竹 充・板橋 明・二本正昭(中大)

MR-6. 積層スパッタ堆積による垂直磁気異方性 Co/Pt 膜の作製 ○土屋垂穂・本多直樹(東北工大)

13日

MR-1. 二次元磁気記録のための記録符号 鎌部 浩(岐阜大)

MR-2. 3層 ECC ドットビットパターン媒体への高密度記録特性のシミュレーション解析 ○本多直樹(東北工大)・山川清志(秋田産技センター)

MR-3. 熱アシスト磁気記録用磁気ヘッドの記録磁界解析 ○田村英和・金井 靖(新潟工科大)・山川清志(秋田産技センター)・吉田和悦(工学院大)・Simon Greaves・村岡裕明(東北大)

MR-4. [招待講演] 表面プラズモンを活用した熱アシスト磁気記録 中川活二(日大)

◆映像情報メディア学会; マルチメディアストレージ研究会連催, IEEE CE Soc. Japan Chapter 共催

☆MR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(金) パナソニック企業年金基金松心会館〔締切済〕テーマ:映像・情報ストレージ応用技術, 一般

3月7日(金) 名大〔1月13日(月)〕テーマ:光記録, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html>

◎最新情報は, MR 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 村田英一・岡本英二

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 星野正幸・増野 淳・森田基樹・岡崎彰浩・三上 学

◎本研究会は NS 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月18日(水) 10:55~18:50

19日(木) 8:35~19:00

20日(金) 8:35~16:35

会場 高松市文化芸術ホール(サンポートホール高松)会議室(高松市サンポート2-1 ホール棟5F・6F. ことでん空港リムジンバス高松空港から JR 高松駅行き約40分, JR 高松駅から徒歩3分. <http://www.sunport-hall.jp/access/> TEL [087] 825-5000(会場) 石井光治(香川大)

議題 モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

18日午前 RCS1(会場A:61会議室)(10:55~12:10)

RCS-1. Two-Way Relay 通信路における分散 SISO 符号に関する研究 ○石井光治(香川大)・Yonghui Li・Branka Vucetic(シドニー大)

RCS-2. 空間変調を用いた全二重通信とその応用 石井光治(香川大)

RCS-3. Performance Analysis of Different Frequency Reuse Schemes Based on Worst Case Signal to Interference Power Ratio in OFDMA Downlink ○Sherief Hashima・Osamu Muta(Kyushu Univ.)・Said Elnoubi・Masoud Alghoniemy(Alexandria Univ.)・Hossam Shalaby(EJUST)・Hiroshi Furukawa(Kyushu Univ.)・Imbaby Mahmoud(EAEA)

RCS Express セッション(会場A:61会議室)(12:10~12:30)

RCS-4. Broadband Vector Perturbation for MU-MIMO System Under Delay Spread Channel—Possibility and Problems— ○Tetsuki Taniguchi・Yoshio Karasawa(Univ. of Electro-Comm.)

RCS2(会場A:61会議室)(13:30~15:10)

RCS-5. 光無線 RN におけるバックホールリンクとアクセスリンク間の干渉特性 ○田野井尚宏・大塚裕幸(工学院大)

RCS-6. Interference Alignment based Distributed Resource Allocation Schemes for HetNets ○Megumi Kaneko・Junto Nakaoka・Kazunori Hayashi・Hideaki Sakai(Kyoto Univ.)

RCS-7. HetNet における適応制御型 CRE のパラメータ最適化に関する検討 ○菊地克則・大塚裕幸(工学院大)

RCS-8. ヘテロロジーニアスネットワーク下りリンクにおける自律分散型接続セル選択法の高速化に関する一検討 ○小泉鉄之祐・池田吉隆・樋口健一(東京理科大)

RCS3(会場A:61会議室)(15:20~17:00)

RCS-9. LTE-Advanced におけるトラフィックロードに応じた

- スモールセル間セル選択法の検討 ○諸我英之・武田和晃 (NTT ドコモ)・ジヤング ユウ (ドコモ北京研)・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
- RCS-10. LTE SCE におけるマクロセルとの連携を活用した効率的なスモールセル検出法のためのセル検出用信号に関する一検討 ○原田浩樹・武田和晃・永田 聡 (NTT ドコモ)・石井啓之 (ドコモイノベーションズ)・岸山祥久 (NTT ドコモ)
- RCS-11. LTE-Advanced におけるスモールセル検出用信号を用いるセル間干渉抑圧技術に関する一検討 ○武田和晃 (NTT ドコモ)・姜 宇 (ドコモ北京研)・原田浩樹 (NTT ドコモ)・石井啓之 (ドコモイノベーションズ)・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
- RCS-12. LTE-Advanced 下りリンクにおける軟判定検出に基づくセル間逐次干渉キャンセラに関する検討 ○佐野洋介・大渡裕介・武田和晃・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
- RCS4 (会場 A : 61 会議室) (17 : 10~18 : 50)**
- RCS-13. MIMO 多重におけるターボ SIC を用いたときの OFDMA とシングルキャリア FDMA の特性比較 ○森 千尋 (東京都市大)・川村輝雄・田岡秀和 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)
- RCS-14. MIMO 伝送を用いた Collision detection アクセス制御方式の理論解析について ○森野善明・平栗健史・小川知将 (日本工大)・西森健太郎 (新潟大)・吉野秀明 (日本工大)
- RCS-15. MIMO 伝送を用いた Collision Detection 実現のためのチャンネル推定について ○西森健太郎・川原理彰・堅岡良知 (新潟大)・平栗健史 (日本工大)・牧野秀夫 (新潟大)
- RCS-16. アレーアンテナと自己干渉波キャンセラを用いた無線パケット衝突検出法 ○川田 渡・林 和則・金子めぐみ・島本拓実・酒井英昭 (京大)
- 19 日午前 NS1 (会場 A : 61 会議室) (8 : 35~10 : 00)**
- NS-1. 災害システムの CCN 応用に関する研究 ○余 娜・Arifuzzaman Mohammad・余 恪平・佐藤拓朗 (早大)
- NS-2. Study of the QoS in Disaster Information Sharing System ○Shen Tzuchieh・Yo Na・Takuro Sato (Waseda Univ.)
- NS-3. 極値理論を用いた通信ネットワークにおける大規模障害の分析 ○船越裕介・松川達哉 (NTT)
- NS2 (会場 A : 61 会議室) (10 : 00~11 : 15)**
- NS-4. コグニティブ無線通信における協調センシング方式の性能解析：集中センシングと並行センシング ○片山晴紀・増山博之 (京大)・笠原正治 (奈良先端大)・高橋 豊 (京大)
- NS-5. 劣環境ネットワークにおけるマルチバッファを用いた優先制御方式 ○田嶋翔太 (京大)・朝香卓也 (首都大東京)・高橋達郎 (京大)
- NS-6. 情報検索と連動したデータ転送プロキシの動的配置方式の検討 山村新也 (富士通九州ネットワークテクノロジズ)
- RCS5 (会場 B : 54 会議室) (8 : 35~10 : 00)**
- RCS-7. 一体型無線端末におけるクロック干渉による BER 特性の劣化の評価 ○大崎昂平・笹岡秀一・岩井誠人 (同志社大)
- RCS-8. 拡散符号に M 系列を用いた狭帯域化 DS-SSM 伝送の受信帯域制限フィルタの最適化検討 ○大山修毅・太郎丸 眞 (福岡大)
- RCS-9. Code Multiplexing Technique for Frequency-Domain Single-Carrier Spread Spectrum ○Amnart Boonkajay・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- RCS6 (会場 B : 54 会議室) (10 : 00~11 : 15)**
- RCS-10. Outage Probability Analysis of ZF Receivers in MU-MIMO Systems for Composite Fading Channel ○Ou Zhao・Hidekazu Murata (Kyoto Univ.)
- RCS-11. ITS 車車間ブロードキャスト通信でのエアタイム占有率に関する検討 ○レ ティエン チエン・チェン フィティン・山尾 泰 (電通大)
- RCS-12. Many to One Transport Capacity of Orthogonal Wireless Sensor Networks based on I-MMSE ○Ajib Setyo Arifin・Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)
- 19 日午前 無線アクセス・ネットワーク連携技術特集セッション 一般講演 1 (会場 A : 61 会議室) (11 : 25~12 : 40)**
- 共通-13. リンク近傍ノードの位置に着目した環境認識経路パス法の特性評価 ○大竹健太・松澤祐貴・山尾 泰 (電通大)
- 共通-14. 統合ダイナミックマルチホップパケット通信 (IDMH) のシャドウイング環境での伝送特性 ○松澤祐貴・大竹健太・石橋功至・山尾 泰 (電通大)
- 共通-15. アンライセンスバンドを用いるマルチホップネットワークにおける広域集中制御型無線リソースマネジメント ○宮本伸一・早田直樹・三瓶政一 (阪大)・姜 聞杰 (NTT)
- 19 日午後 無線アクセス・ネットワーク連携技術特集セッション 一般講演 2 & 3 GPP SON (Self-Organizing Networks) 依頼講演 (会場 A : 61 会議室) (13 : 40~15 : 30)**
- 共通-16. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークその 1 ○奥村幸彦・中村武宏・檜橋祥一 (NTT ドコモ)
- 共通-17. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークその 2 ○奥村幸彦・中村武宏・檜橋祥一 (NTT ドコモ)
- 共通-18. [依頼講演] LTE/LTE-Advanced のための SON の自動最適化技術 ○小西 聡・山本俊明 (KDDI 研)
- 共通-19. [依頼講演] LTE ヘテロジニアスネットワークにおけるスモールセル基地局向け SON アルゴリズムの開発 ○井上高道・小林航生・渡邊吉則・菅原弘人・松永泰彦 (NEC)
- 無線アクセス・ネットワーク連携技術特集セッション, 3GPP SAE (System Architecture Evolution) 依頼講演 (会場 A : 61 会議室) (15 : 40~17 : 10)**
- 共通-20. [依頼講演] 3GPP における移動通信標準化の動向 野田昭繁 (富士通)
- 共通-21. [依頼講演] 3GPP SA4 標準化動向と VoLTE の今後 三田貴子 (パソナ)
- 共通-22. [依頼講演] 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける無線システム間連携 ○山田 暁・森広芳文・奥村幸彦 (NTT ドコモ)
- RCS 招待講演 (会場 A : 61 会議室) (17 : 20~18 : 05)**
- RCS-23. [招待講演] 無線技術の発展に伴うネットワーク技術の発展経緯とこれから 藪崎正実 (システムズ)
- NS 招待講演 (会場 A : 61 会議室) (18 : 15~19 : 00)**
- NS-24. [招待講演] TV ホワイトスペースを利用した無線通信システムの研究開発と今後の展望 ○原田博司・石津健太郎・村上 誉 (NICT)
- 20 日午前 RCS7 (会場 A : 61 会議室) (8 : 35~10 : 15)**
- RCS-1. スペクトル拡散信号を用いた無線信号秘匿方式の検討 ○高井昭人・笹岡秀一・岩井誠人 (同志社大)
- RCS-2. 低信頼中継局を利用した物理層ネットワークコーディン

グにおける物理層セキュリティを高める準最適送信電力制御
 ○山口和馬・田久 修 (信州大)・藤井成生 (電通大)・
 大槻知明 (慶大)・笹森文仁・半田志郎 (信州大)

RCS-3. THP を用いた MIMO 物理層ネットワークコーディング
 ○曹 冷馳・田野 哲 (岡山大)・梅原大祐 (京都工繊大)

RCS-4. 過負荷 MIMO-OFDM におけるトレリス符号化変調信
 号のスフィア復号と疑似距離を用いた統合復号方式
 イルミワン シュビビ・○眞田幸俊 (慶大)

無線アクセス・ネットワーク連携技術特集セッション 一般講演
 3 (会場 A : 61 会議室) (10 : 25~12 : 05)

共通-5. 災害時に有効な衛星通信ネットワークー地上系・衛星系
 融合マルチモード小型地球局の開発ー
 ○亀田 卓 (東北大)・小熊 博 (富山高専)・
 笹沼 満 (スカパーJSAT)・江口 茂 (アイ.エス.ピー)・
 黒田幸明 (サイバー創研)・末松憲治 (東北大)

共通-6. QZSS ショートメッセージ SS-CDMA 通信における伝
 送路推定方式の検討 ○平 明德・三宅裕士・亀田 卓・
 末松憲治・高木 直・坪内和夫 (東北大)

共通-7. LTE-Advanced 上での端末間直接通信のための干渉制
 御の検討 ○山崎智春・榮祝剛洋・藤代真人・
 守田空悟 (京セラ)

共通-8. 将来無線アクセス・モバイル光ネットワークにおける無
 線 LAN-セルラ関連に関する一考察 ○工藤理一・
 B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・鷹取泰史・
 溝口匡人 (NTT)・安田浩人・山田 暁・
 奥村幸彦 (NTT ドコモ)

20 日午後 無線アクセス・ネットワーク連携技術特集セッシ
 ョン 一般講演 4 (会場 A : 61 会議室) (13 : 05~14 : 45)

共通-9. 屋内の DTN における相対移動方向情報を利用した優先
 中継方式 ○工藤健由・森野博章 (芝浦工大)

共通-10. UPnP と EPC を用いたセンサーとその機能の自動検出
 方法 ○小澤みゆき・三次 仁 (慶大)

共通-11. 現実的環境下での大規模無線メッシュネットワークの
 ための経路木アルゴリズムの提案 ○丸山 渉・船曳信生・
 中西 透・渡邊 寛 (岡山大)

共通-12. 無線メッシュネットワークでのリンク速度変化対応の
 ためのアクセスポイント配置アルゴリズムの拡張
 ○ターメル ファラグ (カイロ大)・船曳信生 (岡山大)・
 ワラ ハッサン (カイロ大)

NS3 (会場 A : 61 会議室) (14 : 55~16 : 35)

NS-13. アドホックネットワークにおける 2 ホップ信頼性制御を
 用いたブロック伝送方式 ○山崎 託 (芝浦工大)・
 山本 嶺 (早大)・三好 匠 (芝浦工大)・
 朝香卓也 (首都大東京)

NS-14. アドホックマルチキャストにおける局所回復経路制御手
 法 ○白井達也・山本 嶺 (早大)・三好 匠 (芝浦工大)・
 田中良明 (早大)

NS-15. 無線センサーネットワークにおける環境発電型ノードの
 動的タスク・スケジューリング ○前田晃史 (京大)・
 笠原正治 (奈良先端大)・高橋 豊 (京大)

NS-16. M2M におけるデバイスへの統一アクセス手法
 ○中原祥吾 (電通大)・末田欣子 (NTT/電通大)・
 多田好克 (電通大)

RCS8 (会場 B : 54 会議室) (14 : 55~16 : 35)

RCS-17. 仮想シングルセル制御用 PON アーキテクチャ
 ○山田喬彦・西村俊和 (立命館大)

RCS-18. クリッピングを用いたセミブラインド干渉アラインメ
 ントの特性に関する一検討 ○高井真人 (静岡大)・
 石橋功至 (電通大)・和田忠浩 (静岡大)

RCS-19. 分散アンテナネットワークにおける DS-CDMA 及び
 SC-FDMA の上りリンク容量比較 ○井下翔平・
 宮崎寛之・安達文幸 (東北大)

RCS-20. 高速移動環境下における時空間符号化送受信ダイバ
 シチのための最適送信周波数領域等化に関する一検討
 ○宮崎寛之・安達文幸 (東北大)

◎RCS 研究会のみ 3 日間開催 (12/18~12/20), NS 研究会は 2
 日間開催 (12/19, 12/20) となりますので御注意願います。
 ◎19日研究会終了後,懇親会を予定していますので御参加下さい。
 ☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 琉球大 [未定] テーマ: ネット
 ワークソフトウェア (ソフトウェアアーキテクチャ, ミドル
 ウェア), NW アプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/
 API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW
 及びシステム信頼性, NW 及びシステム評価, 一般
 3 月 6 日 (木), 7 日 (金) 宮崎シーガイア [1 月 10 日 (金)]
 テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】
 NS 研究会幹事及び幹事補佐
 E-mail : ns-secretariat@mail.ieice.org
 金子雅志 (NTT) TEL [0422] 59-2847
 柴田哲良 (NTT) TEL [0422] 59-3205

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注
 意下さい。

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 1 月 23 日 (木), 24 日 (金) 九大 [締切済] テーマ: 無線通
 信のための信号処理及び一般
 3 月 3 日 (月)~5 日 (水) 早大 [12 月 2 日 (月)] テーマ:
 移動通信ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】
 三上 学 (ソフバンモバイル)
 E-mail : rcs_ac-entry@mail.ieice.org

◎最新情報は, RCS 研究会ホームページを御覧下さい。
http://www.ieice.org/rcs_ac/jpn/

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注
 意下さい。

——九州支部における開催——

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
 幹事 杉山典正・山肩大祐 幹事補佐 宮田純子・多川孝央

日時 12 月 14 日 (土) 9 : 30~19 : 45
 15 日 (日) 9 : 30~16 : 10

会場 琉球大学 (中頭郡西原町千原 1. <http://www.u-ryukyu>.)

議題 教育とコンピュータ, 一般

14 日午前

1. タグ付き解答例プログラムからのプログラミング問題コンテンツの自動生成 ○喜多村和誠・玉木久夫 (明大)
2. プログラミング導入教育におけるコースウェアの違いによる学習効果の比較 ○西田知博 (阪学院大)・原田 章 (追手門学院大)・中西通雄 (阪工大)・松浦敏雄 (阪市大)
3. SDN を用いたネットワーク構築における実習法の提案と評価 ○園生 遙・牛込翔平・國宗永佳・新村正明 (信州大)
4. SDN によるネットワーク構築実習における分散型実習環境管理システムの開発 ○牛込翔平・園生 遙・國宗永佳・新村正明 (信州大)
5. スキーマ設計を目的としたオンライン学習教材の提案 ○當山達也 (阪電通大)・長瀧寛之 (岡山大)・中野由章 (神戸市立科学技術高校)・兼宗 進 (阪電通大)

14 日午後 (12:35~)

6. q=情報の授業 辰巳丈夫 (早大)
7. LMS と対面における学習者の行動特性の比較研究 山川 修 (福井県立大)
8. コンピュータを使わないコンピュータ教育パッケージの提案と実践 ○福島嘉通 (上智大)・廣瀬公一郎・長谷川 正 (都立多摩科学技術高校)・高岡詠子 (上智大)
9. 大規模なクラスでの大学の情報教育における大帳簿を用いた授業の実践とその課題 佐藤貴之 (北九州市大)
10. 「LINE 外し」ロールプレイングによる情報社会に参画する態度の育成 ○中野由章 (神戸市立科学技術高校)・米田 貴 (大阪青凌中学校・高等学校)

SITE-11. 公文書公開手続きの情報科教育法への活用

○中山泰一・角田博保 (電通大)

SITE-12. 解決力育成のための討論を取り入れた技術者倫理教育 松原裕之 (福岡工大)

SITE-13. 大学生のメール利用経験の経緯と現状—理系・文系の大学 2 年生を事例に— ○布川博士 (岩手県立大)・鈴木秀顕 (ノースアジア大)・佐藤 究・小笠原直人 (岩手県立大)

SITE-14. リアリティのある環境の中に埋め込んだ大学生のメールリテラシ教育の実験 ○佐藤 究・布川博士・小笠原直人 (岩手県立大)

15. 未定

16. 大学 SNS におけるコミュニケーションネットワークと発言内容との関係の検討 住吉佑輝 (九大)

17. スケジュール情報と位置情報の制約を用いた行動管理用 Android アプリケーションの試作 ○岩永有平・中野裕司・永井孝幸 (熊本大)

18. 学術コンテンツの個人管理を可能とするポータルシステムの開発と評価 ○寺門卓馬・國宗永佳・新村正明 (信州大)

19. 教員養成機能の充実を目的とした遠隔授業観察システムの導入と試行 ○坂東宏和・加藤直樹・藤原 裕 (学芸大)・根本淳一 (フクトン)・稲垣孝男 (梅沢技研)

20. 報処理学会論文誌「教育とコンピュータ」の発刊に向けて (予定) 角田博保 (電通大)・竹村治雄 (阪大)・神沼靖子 (情報処理学会フェロー)・竹田尚彦 (文科省)

15 日午前

1. 学認対応認証基盤とユーザ ID 体系移行用 CAS ゲートウェイの構築 ○永井孝幸・杉谷賢一・河津秀利・

中野裕司 (熊本大)

2. 教育支援システムへの Web アクセスの負荷計測ツールの機能検討 ○花川直己・大川昌寛・蔵本幸司・富永浩之

3. 形成的評価を支援する可視化ツールの開発—Moodle の小テストモジュールを活用して— ○小柏香徳理・浜本義彦・王 躍 (山口大)・刈谷丈治 (山口大名誉教授)・小河原加久治 (山口大)

4. Web ベース 8085 マイクロプロセッサシミュレータの SCORM パッケージ化とその Moodle 上での評価 村松一弘 (王立ブリティッシュ大科学工科大学)

5. Open Apero 2013 Conference 参加報告 ○常盤祐司・宮崎 誠 (法政大)・出口大輔 (名大)・平岡齊士・梶田将司 (京大)

15 日午後

SITE-6. キャリア支援活動の現状と ICT 活用に関する基礎検討 ○田中美佐・吉開範章 (日大)

SITE-7. Dynamic Hybrid System of HoneyPot and IDS for Network Security Analysis ○Chao Li・Sumiko Miyata・Hirotsugu Kinoshita (Kanagawa Univ.)

SITE-8. 自己組織化可能な群知能を用いた情報リソースの管理 ○石田克憲・小泉 駿・宮田純子 (神奈川大)・森住哲也 (ネットエスアイ東洋)・木下宏揚 (神奈川大)

SITE-9. ACO を用いた検索過程を重視した検索手法 ○小泉 駿・石田克憲・宮田純子 (神奈川大)・森住哲也 (ネットエスアイ東洋)・木下宏揚 (神奈川大)

SITE-10. 遠隔印刷機能を持つ遠隔教育システム (edutab) の開発 ○鈴木新一・水越一貴・深澤昌志 (デジタルライオンス)・八代一浩 (山梨県立大)・鳥養映子 (山梨大)

11. プレゼンテーション用の TEX-PDF ファイル作成支援ソフトウェアの提案 黄 掣 (阪教大)

12. PC を使う多人数講義における TA 業務支援システムの開発と評価 ○野口剛史・井手敬也・長郷俊輔・古賀雅伸 (九工大)・矢野健太郎 (福岡工大短大)

◆情報処理学会; コンピュータと教育研究会, 教育学習支援情報システム研究会連催

◎当プログラムは暫定版です。発表の順番・時間など若干調整されることがあります。確定次第, Web 上のデータに反映致します。

☆SITE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月27日(木), 28日(金) 未定(地方) [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。 http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】 杉山典正 TEL [06] 6954-4189, FAX [06] 6954-4164 E-mail : sugiyama@ip.oit.ac.jp

◎公式 Web サイト http://www.ieice.org/ess/site/

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄
幹事 河村彰星・全 眞嬉

日時 12月20日(金) 9:30~16:50
21日(土) 9:30~16:55

会場 沖縄産業支援センター (那覇市字小禄 1831-1. モノレール: 那覇空港駅から約5分小禄駅下車, 小禄駅から徒歩約15分. 那覇バスターミナル向かい国税庁舎前の旭橋バス停から89番糸満線または56番浦添線で約10分, 金城バス停下車, 金城バス停から徒歩3分. <http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/> TEL [098] 859-6234)

議題

20日午前

- 文脈自由言語の決定問題 “ $L(G) = \Sigma^*$?”, 再考 田中榮一
- Algorithms for independent set reconfiguration problem on graphs Erik D. Demaine・Martin L. Demaine (MIT)・Takehiro Ito (Tohoku Univ.)・Hirotaka Ono (Kyushu Univ.)・Oryuhei Uehara (JAIST)
- On Enumerating All Maximal Cliques in Unit Disk Graphs O Daisuke Suzuki・Taisuke Izumi (Nagoya Inst. of Tech.)
- 一つの大きな頂点を有するネットワークにおける固有ベクトル中心性の局在化 山口裕生 (東工大)
- An empirical study for independent distance dominating sets in large-scale graphs O Hiroshi Kadowaki・Liang Zhao (Kyoto Univ.)

20日午後 (13:20~)

- プロジェクト閉鎖付き順次独裁メカニズムの拡張に関する研究 神山直之 (九大)
- ナップザックアルゴリズムを用いた電力制御システムの実装と評価 O 森本尚之・藤田 有・吉田雅昭・吉水宏幸・滝山田昌文・明比輝一・田中真実 (エネゲート)
- The Hidden K-matrix Linear Complementarity Problem is at Least as Hard as Linear Programming over Cubes O Lorenz Klaus (NII/JST)・Jan Foniok (Warwick Univ.)・Komei Fukuda (ETH Zurich)
- Sensitivity, Block Sensitivity, and Certificate Complexity of Unate Functions and Read-Once Functions Hiroki Morizumi (Shimane Univ.)
- [チュートリアル講演] 計算複雑さへの招待(5): 回路から迫る P vs. NP 脊戸和寿 (成蹊大)

21日午前

- 単純多角形内部の最短経路発見のためのメモリ調節可能アルゴリズム O 小長谷松雄・浅野哲夫 (北陸先端大)・Otfried Cheong (KAIST)・Sang Won Bae (KGU)
- 既存点までの距離誤差を最小にする点位置発見アルゴリズム O 中村茂幹・浅野哲夫 (北陸先端大)・Siu-Wing Cheng (HKUST)
- 直線のアレンジメントの走査に対する作業領域調節可能アルゴリズム O 清井孝裕・浅野哲夫 (北陸先端大)
- 劣線形時間ケーキ分割アルゴリズム O 上田孝弘 (京大)・伊藤大雄 (電通大)
- k 集合整列問題に対する効率のよいアルゴリズム 脊戸和寿 (成蹊大)・O 照山順一 (NII)・長尾篤樹 (京大)

21日午後 (13:20~)

- k -Edge-Rigid Body-Hinge Graphs Yuya Higashikawa・

第一種研究会開催案内

Naoki Katoh・O Yuki Kobayashi (Kyoto Univ.)・Adnan Sljoka (York Univ.)

- k -Sink Location Problem in Dynamic Path Networks O Yuya Higashikawa (Kyoto Univ.)・Mordecai J. Golin (HKUST)・Naoki Katoh (Kyoto Univ.)
- A New Automaton Construction using Prefixes and Suffixes of Regular Expressions Hiroaki Yamamoto (Shinshu Univ.)
- On alternation-bounded alternating context-free grammars and languages Etsuro Moriya (Waseda Univ.)
- 接頭辞集合に対する決定性有限オートマトンの最小無矛盾問題について O 上埜かおり (東北大)・下園真一 (九工大)・成澤和志・篠原 歩 (東北大)
- 次数制約のあるグラフ有向化問題の近似について O 朝廣雄一 (九州産大)・ジェスパージャンソン (京大)・宮野英次 (九工大)・小野廣隆 (九大)
- 回転する地図上の正方形ラベルに対するラベルサイズ最大化 O 横須賀佑介・今井桂子 (中大)

【問合先】

河村彰星 (東大大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻)
〒113-8656 文京区本郷 7-3-1
E-mail: kawamura@is.s.u-tokyo.ac.jp

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 加藤景三 副委員長 松田直樹
幹事 森 竜雄・瀧本 清 幹事補佐 鴻野晃洋・井上振一郎

日時 12月27日(金) 13:20~17:40

会場 宮古島マリンターミナル (まりんぴあ宮古) 研修
(<http://www.ritou.com/spot/view.cgi?miyako&m16> TEL [0942] 81-3623 松田直樹 (産総研))

議題 バイオテクノロジー, 界面, 一般

- 金ナノ粒子分散水溶液調製とバイオアッセイへの応用 中島達朗・岡部浩隆・O 松田直樹 (産総研)
 - 金属錯体を用いる構造化ソフトマテリアルの合成とレオロジー制御 O 有村隆志・向井 理 (産総研)・光山直輝・池田正吾・宮元展義 (福岡工大)
 - 有機-無機ハイブリッド材料を用いた積層型光学デバイス 杉原興浩 (東北大)
 - [招待講演] 表面化学修飾を利用した機能性・生体適合材料の開発 中村孝子 (産総研)
 - タンパク質の直接電子移動反応のその場観察 O 松田直樹・岡部浩隆 (産総研)
 - 生物はなぜ振動・同期するのか—酵母細胞における解糖系振動現象を例として— 雨宮 隆 (横浜国大)
 - [招待講演] 細胞接着界面の設計と評価 長崎幸夫 (筑波大)
- ☆OME 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
1月22日(水) 名城大 [未定] テーマ: 有機材料・一般

【発表申込先】

下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

森 竜雄 (愛知工大)
E-mail: t2mori@aitech.ac.jp
瀧本 清 (キヤノン)
E-mail: takimoto.kiyoshi@canon.co.jp

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島莊之介

幹事 辻 政信・灘井章嗣 幹事補佐 木寺正平・牧 謙一郎

日時 12月2日(月) 9:30~17:30
3日(火) 9:30~15:10

会場 VAST/VNSC (2日), Melia Hotel Hanoi (3日) (VAST/
VNSC: <http://vnsc.org.vn/en/>, Melia Hotel Hanoi: <http://www.meliahanoi.com/en/index.html> TEL [050] 3362-7646
辻 政信 (JAXA))

議題 ICSANE 2013 (International Conference on Space, Aero-
nautical and Navigational Electronics)

2日午前 VAST/VNSC (A会場)

1. Measurement for Permittivity and Thickness of Multilayered Dielectric Plate by Wall-through Radar
Hirokazu Kobayashi (Osaka Inst. of Tech.)
2. Accurate shape estimation method for multiple moving targets with UWB Doppler radar interferometers
○Hiroki Yamazaki・Kenshi Saho・Toru Sato (Kyoto Univ.)
3. Target Detection Algorithm using Independent Component Analysis for Pulse Doppler Radar
○Shuri Kondo・Shouhei Kidera・Tetsuo Kirimoto (Univ. of Electro-Comm.)
4. Estimation of Signal Processing Time for Passive Radar
○Tomoki Hori・Katsumi Takahashi・Atuo Ozaki (Mitsubishi Electric)
5. A Two-dimensional Decoupled Filter Using Position and Velocity Measurements for a Transient Response
Yoshio Kosuge (Nagasaki Univ.)
6. Accurate coherent change detection method using full polarimetric SAR imagery
○Ryo Oyama・Shouhei Kidera・Tetsuo Kirimoto (Univ. of Electro-Comm.)

2日午後 VAST/VNSC (A会場)

7. Experimental evaluation of a Radar Altimeter for an Unmanned Aerial Vehicle Cruising in the Mars' Atmosphere
○Sho Yonemura (Tokyo Denki Univ.)・Atsushi Tomiki・Tomoaki Toda (JAXA)・Takehiko Kobayashi (Tokyo Denki Univ.)
8. Detection of underwater laver cultivation fields by synthetic aperture radar: Reappraisal
○Kazuo Ouchi・Chan-Su Yang (KIOST)
9. The development of a local geoid model for Metro Manila, Philippines using Least Squares Modification of the Stokes' Formula with Additive Corrections
○Rosalie B. Reyes・Masahiko Nagai (AIT)・Yoshikazu Kamiya (JAXA)・Taravudh Tipdecho・Sarawut Ninsawat (AIT)
10. Analysis of Land Deformation on Slope Area using PS InSAR. Case Study: Bandung Area
○Dodi Sudiana・Rokhmatuloh・Mia Rizkinia・Ardiansyah・Rahmat Arief (Univ. of Indonesia)・Bambang Setiadi・Luhur Bayuaji・Josaphat Tetuko Sri Sumantyo (Chiba Univ.)
11. Aboveground biomass study in Dipterocarp forest, Southeast Asia by ALOS AVNIR-2 and PALSAR
○Chulinrak Natthasiree (WWF)・Yoshikazu Kamiya (JAXA)・Taravudh Tipdecho (AIT)

12. Inertial Stabilization System for Small Airborne SAR

○Kazuhiko Aoki・Yoshiho Yanagita・Kenji Tagami・Akira Koyashiki・Masatoshi Nakai・Motoaki Shimizu・Tsutomu Murayama・Hidehiko Kuroda・Toshiaki Yamashita (NEC)

13. A Combined Differential Navigation and Communication Scheme for Unmanned Aerial Vehicles for Supporting Search and Rescue Activities at High-rise Buildings

○Do Trong Tuan・Ha Duyen Trung・Han Trong Thanh・Phuong Xuan Quang・Nguyen Duy Hung・Pham Hoang Anh (HUST)

14. Distribution Patterns of Sea Fog During the Daytime Using Geostationary Ocean Color Imager (GOCI)

○Chan-Su Yang・Kazuo Ouchi (KIOST)

15. Group velocity estimation of internal waves using multi-sensor images in the South China Sea

○Dan-Bee Hong・Chan-Su Yang (UST)・Kazuo Ouchi (KIOST)

16. A Novel Method to Design Notch Filter for GNSS Narrow Band Interference Mitigation

Tu Thi-Thanh Nguyen (NAVIS Centre)・Beatrice Motella (ISMB)

17. ARM9-Based Real-Time Positioning and Navigational System for Mobile Vehicles

Ha Duyen Trung・○Hoang Van Dung・Trinh Minh Chi・Le Truong・Nguyen Thi Nga・Ta Hai Tung (Hanoi Univ. of Sci. and Tech.)

18. Improvement of Positioning Algorithm of Moving Objects Applied for Inertial Navigation System Using MEMS-BASED Sensors Combined with GPS Technology

○Trieu Viet Phuong・Hoang Van Trong・Nguyen Thi Lan Huong・Trinh Quang Thong (HUST)

2日午後 VAST/VNSC (B会場) (15:30~)

19. Cryogenic CMOS analog switch for far-infrared image sensors

○Koichi Nagase (SOKENDAI)・Takehiko Wada・Hirokazu Ikeda (JAXA)・Yasuo Arai (KEK)・Morifumi Ohno (AIST)

20. Analysis of thermal responses for a satellite with two-node model using the equivalent linearization technique

Nguyen Dong Anh・○Nguyen Nhu Hieu (IMECH., VAST)・Pham Ngoc Chung (Hanoi Uni. Min. & Geo.)

21. Spectral and technical items for small satellites in the future observation applications—L band SAR system mounted on small satellite—

Korehiro Maeda (Univ. of Tokyo)・○Mitsuhiro Nakadai・Johta Awano・Masaaki Shimada (JAXA)・Masahiro Funabashi (NTSpace)

22. Development of 20 W class X-band Amplifier using GaN HEMT Technology for Space Use

○Yoshihiro Nakadai・Johta Awano・Masaaki Shimada (JAXA)・Masahiro Funabashi (NTSpace)

23. ターボ等化/復号器を用いた超小型衛星高速ダウンリンク通信受信機のハードウェア実装と特性評価

○岩切直彦 (東大)・齋藤宏文 (JAXA)・中須賀真一 (東大)

24. New techniques of high-speed data processing for spacecraft observation data via NICT Science Cloud

○Ken T. Murata・Hidenobu Watanabe (NICT)・Yoshiya Kasahara・Daisuke Yagi (Kanazawa Univ.)・Kazunori Yamamoto (NICT)・Eizen Kimura (Ehime Univ.)・Osamu Tatebe

Masahiro Tanaka (Univ. of Tsukuba) · Kentaro Ukawa ·
Kazuya Muranaga · Yutaka Suzuki (SEC)

3日午前 Melia Hotel Hanoi

1. Random Vibration Analysis of the F-1 Nanosatellite structure
○Ngoc Tran Minh (DASI Center (HUST)) ·
Hung Nguyen Viet · Khanh Nguyen Phu ·
Thuong Nguyen Van (HUST) ·
Tuan Le Anh (DASI Center (HUST))
2. TSUBAME Microsatellite : Design, Development and Verifi-
cation of Attitude Determination and Control System
○Le Xuan Huy · Takashi Kamiya · Hao Ting ·
Shota Kawajiri (Tokyo Inst. of Tech.) ·
Saburo Matunaga (Tokyo Inst. of Tech. /JAXA)
3. BepiColombo MMO Development Status
○Hironori Maejima · Hajime Hayakawa ·
BepiColombo Project (JAXA)
4. Towards Virtualization Technology on Satellite On-board
Computer System with Hardware Redundancy, Software
Rejuvenation and Virtual Machine Live Migration Techni-
ques—Modeling, Analysis and Implementation Proposal—
Tuan Anh Nguyen · ○Dohwan Lee ·
Jong Sou Park (KAU)
5. An application to the wild fire detection of the uncooled micro
bolometer camera onboard a small satellite
Tetsuya Fukuhara (Hokkaido Univ.)
6. Small Synthetic Aperture Radar Satellite Micro X SAR
○Hirobumi Saito · Atsushi Tomiki · Prilando Rizki Akbar ·
Takashi Ohtani · Kunitoshi Nishijo (JAXA) · Jiro Hirokawa ·
Makoto Ando (Tokyo Inst. of Tech.)
7. Preliminary Study on MicroXSAR Mission using SDS Bus
System
Takashi Ohtani · Hiroyuki Morishita ·
Moto Takai · Koichi Fujihira · ○Yoshiyuki Miura ·
Yuta Nakajima · Naoki Nishimura · Koichi Inoue ·
Hirobumi Saito (JAXA)
8. Development of the X-band High Speed Downlink Transmitter
for Nano Satellite
○Tomoya Fukami ·
Hiromi Watanabe (Univ. of Tokyo) ·
Atsushi Tomiki (JAXA) ·
Naohiko Iwakiri (Univ. of Tokyo) ·
Hirobumi Saito (JAXA) ·
Shinichi Nakasuka (Univ. of Tokyo)

3日午後 Melia Hotel Hanoi (13:30~)

9. A Vehicle Monitoring and Navigation System Design based on
Android Smartphone
○Ha Duyen Trung ·
Do Trong Tuan · Hoang Van Dung ·
Ta Hai Tung (Hanoi Univ. of Sci. and Tech.)
10. Demonstration of Multi-GNSS Advanced RAIM Algorithm
using GPS and Galileo Signals
○Hieu Tran Trung (NAVIS Centre) ·
Letizia Lo Presti (Polito)
11. A custom specific multicore architecture for multi Global
Navigation Satellite System (GNSS) receiver—GNSS re-
ceiver—
○Vinh Tuan Tran ·
Nagaraj Channarayapatna Shivaramaiah ·
Andrew Dempster (UNSW)
12. Experiments on the Ionospheric Models in GNSS

○La The Vinh · Phuong Xuan Quang (HUST) ·
Jose M. Juan Zornoza · Jaume Sanz Subirana ·
Alberto Garcia Rigo (UPC)

13. Ionospheric Activity in the South East Asian Region
J. Miguel Juan · ○Jaume Sanz (gAGE/UPC) ·
Roberto Prieto · Stefan Schlueter (ESA)

◆Vietnam National Satellite Center (VNSC), IEEE AES Society
Japan Chapter 共催

◎The 20th Asia-Pacific Regional Space Agency Forum (APR-
SAF-20) will be held at Melia Hotel, Hanoi on Dec. 3-6, 2013.
Participants of ICSANE2013 on Dec, 3 are kindly requested to
register to APRSAF-20. Registration of APRSAF-20 is free of
charge and the deadline for online registration is Thursday,
October 31, 2013 ([http://www.aprsaf.org/annual_meetings/
aprsaf20/registration.php](http://www.aprsaf.org/annual_meetings/aprsaf20/registration.php)).

It is recommended to also attend the second working group
meeting on Dec. 4 (Wed.) in order to complete 2 days
working group meetings of APRSAF-20.

◎APRSAF-20 との共催のため、事前に APRSAF への登録をお
願い致します。

[http://www.aprsaf.org/annual_meetings/aprsaf20/registra-
tion.php](http://www.aprsaf.org/annual_meetings/aprsaf20/registra-
tion.php)

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月20日(金) 日本工大 [締切済] テーマ: レーダ信号処
理及び一般

1月23日(木), 24日(金) 長崎県美術館 [締切済] テー
マ: 測位・航法及び一般

2月20日(木), 21日(金) ホテルかめ福(山口市) [12月3
日(火)] テーマ: 衛星応用技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

灘井章嗣 (NICT)

TEL [042] 327-6496

E-mail: nandai@nict.go.jp

辻 政信 (JAXA)

TEL [050] 3362-7646

E-mail: tsuji.masanobu@jaxa.jp

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 池口 徹 副委員長 小西啓治

幹事 神野健哉・薄 良彦 幹事補佐 木村貴幸・原 尚之

日時 12月6日(金) 13:00~17:15

7日(土) 9:30~10:45

会場 City University of Hong Kong

議題

6日

1. Estimation of Lyapunov exponents in chaotic response of the
Izhikevich neuron model
○Nozomi Sugiura ·
Kantaro Fujiwara (Saitama Univ.) ·
Ryosuke Hosaka (Fukuoka Univ.) ·
Kenya Jinno (Nippon Inst. of Tech.) ·
Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)

2. Different lateralization of gamma and beta oscillations in

- primate medial motor area
 ○Ryosuke Hosaka (Fukuoka Univ.) ·
 Toshi Nakajima (Tohoku Univ.) ·
 Kazuyuki Aihara (Univ. of Tokyo) ·
 Yoko Yamaguchi (RIKEN) ·
 Hajime Mushiake (Tohoku Univ.)
3. Analysis of Hyperchaotic Spiking Circuit with Time and State Switches ○Kazuki Yotsuji · Toshimichi Saito (Hosei Univ.)
4. Optimum Control Method for Wind and Solar Power Grid Systems by Recurrent Neural Networks
 ○Keisuke Kimura · Takayuki Kimura ·
 Kenya Jin'no (Nippon Inst. of Tech.)
5. A study on energy barriers for moving intrinsic localized modes over junction of two regions ○Ryou Tsujisaka ·
 Masayuki Kimura (Univ. of Shiga Prefecture) ·
 Takashi Hikihara (Kyoto Univ.) · Yoshiharu Taniguchi ·
 Yasuo Matsushita (Univ. of Shiga Prefecture)
6. Data-Based Stability Assessment of Power Grids without Models—Application of Koopman Operator Methods—
 ○Yoshihiko Susuki (Kyoto Univ./JST-CREST) ·
 Igor Mezic (UCSB)
7. Optimization of Switching Phase of a DC-AC Inverter
 ○Kazuya Morita · Takuya Shindo · Takuya Kurihara ·
 Kenya Jin'no (Nippon Inst. of Tech.)
8. Performance Comparison of Search Ability of ACO with Memory for TSP ○Xiao Zhang · Takuya Shindo ·
 Takefumi Hiraguri · Kenya Jin'no (Nippon Inst. of Tech.)
9. Basic Dynamics of Infinite-Screw Chaotic Circuits
 ○Kazuyuki Kimura (Hosei Univ.) ·
 Tadashi Tsubone (Nagaoka Univ. of Tech.) ·
 Toshimichi Saito (Hosei Univ.)
- 7日
1. Standing-up and Balancing Behaviors of Android Phone Robot—Control of Spring-attached Wheeled Inverted Pendulum—
 ○Jiexin Wang (Kyoto Univ.) · Eiji Uchibe ·
 Kenji Doya (OIST)
2. Bifurcation boundaries of quasi-periodic oscillation part2
 ○Yoshimasa Shinotsuka · Naohiko Inaba (Meiji Univ.) ·
 Munehisa Sekikawa (Utsunomiya Univ.) ·
 Tetsuro Endo (Meiji Univ.)
3. Three coupled biological oscillators constructed with the true slime mold and its time series analysis
 Takahiro Noguchi · Hiroki Okabe · Kouji Honda ·
 Makito Ishizaki · ○Kuniyasu Shimizu (Chiba Inst. of Tech.)
4. Emergent Control of Pseudo Periodic Orbits in Chaotic Dynamical Systems ○Shota Mano · Daisuke Ito ·
 Tetsushi Ueta (Univ. of Tokushima)
5. An optimization method for packet delivery on scale-free networks ○Takayuki Kimura (Nippon Inst. Tech.) ·
 Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
6. Chaotic Motif Sampler by Using Chaotic Nerodynamics for Solving Motif Extraction Problem
 ○Takafumi Matsuura (Tokyo Univ. of Science) ·
 Tohru Ikeguchi (Saitama Univ.)
7. A switched-current chaotic neuron IC prototype for synchronous exponential tabu search ○Syu Tanaka ·

Akihito Toyoda · Yoshihiko Horio (Tokyo Denki Univ.)
 ☆NLP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 1月21日(火), 22日(水) ニセコパークホテル [締切済]
 テーマ:一般
 3月10日(月), 11日(火) 上智大 [1月17日(金)] テーマ:一般

【問合先】

神野健哉 (日本工大)
 E-mail: jinno@nit.ac.jp
 TEL [0480] 33-7659, FAX [0480] 33-7680

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第3回超高速光エレクトロニクス研究会／第20回光波シンセシス研究グループ研究会

委員長 三沢和彦(東京農工大:超高速光エレクトロニクス研究会)
 尾松孝茂(千葉大:光波シンセシス研究グループ)

日時 平成25年12月11日(水) 9:55~17:15

会場 理化学研究所研究交流棟3階会議室(W319室)(理研和光地区アクセス: <http://www.riken.jp/access/wako-map/>)

テーマ:先端光源と画像化・可視化技術の展開

概要

物質の内部構造やその時間変化を知ることは、様々な現象を理解する上で非常に重要な研究テーマである。レントゲンの撮影したX線による人体の透視画像の例を挙げるまでもなく、構造やダイナミクスを観測する技術は新たな光源や粒子源の活用と不可分に発展してきおり、これまで見えなかったものを「見える」ようにするために不断の努力が続いている。本研究会では、先端光源・粒子源によって構造やダイナミクスを「見る」という観点から、構造の画像化・状態変化の可視化における最先端研究について御講演を頂く。「構造」とひとくくりにしても、小は分子構造、大は建築物の鉄骨まで含み、これらを見るための光源・粒子源も様々である。多様な画像化・可視化技術についての理解を通じて、新たな研究展開の方向性について議論する。

講演プログラム

- [招待講演] 低温X線構造解析の展開 蛋白質水和構造解析からコヒーレントX線回折イメージングまで
中迫雅由(慶大/理研)
 - [招待講演] 理研小型中性子源システムRANS, 小型だから見えた!
大竹淑恵(理研)
 - [招待講演] 光メタマテリアル
田中拓男(理研)
- 午後(13:30~)
- [招待講演] レーザー高次高調波を光源とした軟X線顕微鏡の開発
佐藤亮洋(東大)
 - [招待講演] 電子線励起微小光源による光ナノイメージング
川田善正(静岡大)
 - [招待講演] 光波束を閉じ込めて可視化する一局在型/伝搬型表面プラズモンのフェムト秒映像
久保 敦(筑波大)
 - [招待講演] 光パルスで誘起したスピン波伝播の時間分解イメージングと伝播方向制御
佐藤琢哉(東大)
 - [招待講演] テラヘルツ偏波イメージング技術の開発と応用
渡邊紳一(慶大)

参加資格 どなたでも参加できます。

参加費 無料

◎15:30～17:30, 意見交換会を研究交流棟 5F 会議室 (W525 室)で行います。意見交換会参加費 3,000 円

【問合先】

三沢和彦 (東京農工大)

TEL & FAX [042] 388-7485

E-mail: kmisawa@cc.tuat.ac.jp

尾松孝茂 (千葉大)

TEL [043] 290-3447, FAX [043] 290-3490

E-mail: omatsu@faculty.chiba-u.jp

芦原 聡 (東京農工大)

TEL & FAX [042] 388-7536

E-mail: ashihara@cc.tuat.ac.jp

【研究会現地世話人】

加藤純一 (理研先端光学素子開発チーム)

TEL [048] 467-9315

E-mail: jqpk@riken.jp

鍋川康夫 (理研7秒科学研究チーム)

TEL [048] 467-9503

E-mail: nabekawa@riken.jp

主催 超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会, 日本光学会; 光波シンセシス研究グループ, 独立行政法人理化学研究所 (理研シンポジウム)

●バイオエレクトロニクス研究討論会

バイオエレクトロニクス分野の著名な研究者等による, 若手研究者及び学生向けの招待講演 (チュートリアル講演) と, 若手研究者のポスター発表を行い, 本分野の若手研究者及び学生の研究力の向上を図る。参加者の活発な討論, 研究者や学生同士の交流などを一層活性化し, 研究活動の進展, 若手育成・学生会員の増加につなげることを目的とする。優れた研究発表を行った若手研究者に対する「優秀研究発表賞 (仮称)」の表彰を行う予定である。

日時 平成 25 年 12 月 16 日 (月) 9:30～

会場 東京農工大学 140 周年記念会館 (エリプス) (<http://tuat-ellipse.jp/>)

講師 大塚英典 (東京理科大)・霜島正浩 (ド・エム・エル)・中村暢文 (東京農工大) 他

参加費 学生: 2,000 円, 一般 (会員): 3,000 円, 一般 (非会員): 4,000 円

【問合先】

松田直樹 (産総研九州センター)

E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

主催 有機エレクトロニクス研究専門委員会

●第 4 回安全・安心な生活のための情報通信システム (ICSSSL) 研究会

委員長 岡田和則 (NICT)

副委員長 田村 裕 (中大)・中野敬介 (新潟大)

日時 平成 25 年 12 月 16 日 (月) 10:30～17:30

17 日 (火) 10:30～12:00

第二種研究会開催案内

会場 中央大学後楽園キャンパス 6 号館 3 階 6318 教室 (16 日), 3 号館 3 階 3309 教室 (17 日) (文京区春日 1-13-27, <http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/kourakuen/>)

概要

甚大な被害が発生した 2011 年 3 月の東日本大震災, 今後発生が予想される南海トラフ地震, 首都直下型地震等, 私たちの生活は, 大震災の脅威にさらされています。このような大規模な自然災害だけではなく, 交通事故, 誘拐等児童への犯罪等の様々な脅威が, 私たちの日常生活を脅かしています。これらの被害を避ける, 軽減する, 更には, 大規模災害時の復興や地域再生のために, 情報通信システムが果たすべき役割は大きいと考えられます。当研究会では, 真に役立つシステムの実現のため, これらの情報通信技術の研究開発だけでなく, 災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。

第 4 回研究会では, 一般講演における最新の研究成果や安全対策等の現場の取組みに関する報告等とともに, 特別講演として, 数学の基礎理論とその応用の研究に着目し, 最先端複雑系制御理論, 複雑ネットワーク理論, 非線形時系列解析理論などを基に最先端数理モデル学の基礎研究を進めると同時に, それらの社会の諸問題解決への応用研究に取り組みされている, 総合科学技術会議により制度設計された最先端研究開発支援プログラムである FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクト (<http://www.sat.t.u-tokyo.ac.jp/first/>) から, 「通信の同期問題に関する一考察」(香田 徹, 実松 豊 (九大), 合原一幸 (東大)), 「複雑系数理モデル学に基づく新しいネットワークプロトコル」(長谷川幹雄 (東京理科大)) と題した 2 件の講演を企画しております。幅広い分野からの御参加をお待ちしております。また, 懇親会を 16 日夕方企画しておりますので, 奮って御参加下さい。

プログラム

16 日

- 新たな道路管制センターにおける取組み—災害・危機管理の強化を目指して— ○黒沼 剛・笠井奈々子・太田和宏・佐藤和重・臼井智徳 (ネクス東日本)
- 駐車場における電気自動車の充電待ち時間の考察 ○伊部優大・宮北和之・中野敬介 (新潟大)
- DTN におけるブローブエピデミック伝送に関する考察 ○柄沢直之・加藤 新・宮北和之・中野敬介 (新潟大)

16 日午後 (13:20～)

- 遅延耐性ネットワークにおける古い情報の排除と新しい情報の伝達について ○升田 隆・宮北和之・中野敬介 (新潟大)
- エピデミック伝送における中継ノードの情報送信回数に関する考察 ○相墨直人・宮北和之・中野敬介 (新潟大)
- 東日本大震災における石巻市市役所の 1 週間—「情報」をとりまく状況・対応を中心にして— ○佐藤翔輔・今井健太郎 (東北大)・岩崎雅宏 (サベリケーセンター)
- 災害時における通話時間削減を促す制御法 佐藤大輔 (NTT)
- 〔特別講演〕 通信の同期問題に関する一考察 ○香田 徹・実松 豊 (九大)・合原一幸 (東大)
- 〔特別講演〕 複雑系数理モデル学に基づく新しいネットワークプロトコル 長谷川幹雄 (東京理科大)

17 日

- ZigBee を使った交差点安全支援 宇野新太郎 (愛知工科大)
- タブレット端末を活用した空間情報を基礎とする調査の可能性—平成 25 年台風 18 号災害を事例として— ○井ノ口宗成・田村圭子 (新潟大)・林 春男 (京大)

告 31

3. グラフの辺彩色を用いたアドホックネットワークにおける希望波対干渉波比の評価 ○野村 駿・田村 裕 (中大)・篠田庄司 (早大)

【参加申込】

氏名, 連絡先, 懇親会参加の有無を, 下記, 申込先へ12月9日(月)までに, お申し込み下さい。

研究会参加費: 一般 2,000 円, 学生 1,000 円 (資料代含む), 特別講演の聴講のみは無料。

【申込先・問合せ】

井ノ口宗成 (新潟大)

TEL [025] 262-6115, FAX [025] 262-7050

E-mail : inoguchi@gs.niigata-u.ac.jp

川上 博 (NTTドコモ)

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail : kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報を研究会 Web ページに掲載致しますので御参照下さい。

<http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会 (特別講演に関しては, FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクトとの共催)

協賛 IEEE Circuits and Systems Society Japan Chapter

日本シミュレーション学会; 多次元移動通信網研究専門委員会

●アシュアランスシステム研究会

(期日変更等のため再掲載)

委員長 角田良明 (広島市大)

期日 平成 25 年 12 月 24 日 (火) (12 月 12 日 (木) から変更になりました。)

会場 兵庫県立大学神戸情報科学キャンパス計算科学センタービル 7F 大講義室 (<http://www.ai.u-hyogo.ac.jp/access/index.html>)

研究会の内容

近年, ネットワークの発展に伴い, 自律したシステムが接続されるようになってきました。これらシステムは異種のニーズを持つだけでなく, 頻繁にニーズが変化します。このようなニーズの異種性と状況変動に対する適応性を満たし, 異種システムを共存させる技術を「アシュアランスシステム技術」と呼びます。

1996 年には, 日米欧の関係者を中心とし, IEEE にて High Assurance System Engineering 国際会議が設立されました。国内では, 1998 年以降フォールトトレラントシステム研究会 (現ディペンダブルコンピューティング研究会) にて「アシュアランスシステム」が特集され, 大学や企業からニーズ, 問題点, 解決策, 実用例などについて多数発表されました。

このような経緯から, アシュアランスシステムに関する先進的な議論と提案の場として 2000 年にアシュアランスシステム研究会を発足致しました。また, 2002 年から毎年, Assurance in Distributed Systems and Networks 国際会議が開催されています。そのため, ネットワーク分野へのアシュアランスシステム技術の応用についての研究も進んできました。

本研究会では, 制御/情報系システムから, 大規模広域システム, 超分散システムまで, システム技術, ネットワーク技術, デバイス技術, 応用について, 設計技術, 実装技術, 評価技術, 先進的な応用事例など幅広くアシュアランスシステムに関する諸問

題を研究対象項目とします。

【問合せ・申込先】 幹事

河野英太郎 (広島市大)

E-mail : kouno@hiroshima-cu.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

共催 兵庫県立大学 応用情報科学研究科附属社会応用情報センター

●第 27 回多値論理とその応用研究会

座長 荒木智行 (広島工大)

日時 平成 26 年 1 月 11 日 (土) 13:30~17:40

12 日 (日) 9:15~12:00

会場 鹿児島県文化センター (鹿児島市山下町 5-3. <http://www.houzanhall.com/access/index.html>)

講演プログラム

11 日

- 電波望遠鏡の分光器における高速ウェーブレット変換の検討
○椎原康士郎・中原啓貴・中西裕之 (鹿児島大)
- Q-learning における状態の構造決定アルゴリズム
○岩崎健児・重井徳貴・宮島廣美 (鹿児島大)
- 並列型確率的探索法を用いた OFDM のピーク電力抑圧法
○神代英明・重井徳貴・宮島廣美 (鹿児島大)
- 少数入力ルール群結合型ファジィ推論モデルの能力について
○河合史博・宮島廣美・重井徳貴 (鹿児島大)
- ファジィアルゴリズムに基づく SDN の制御の考察 (仮)
○松浦 崇・荒木智行・玉野和保 (広島工大)
- 剰余束におけるガロア結合 ○近藤通朗・高根伶哉・大野弘明 (東京電機大)
- 男性不妊症診断のための精細管超音波画像化法
○佃 光樹 (兵庫県立大)・石川智基・今脇節郎 (石川病院)・畑 豊 (兵庫県立大/阪大)
- 貼付け型心電計を用いた血圧推定システム
○藤本達弘 (兵庫県立大)・中嶋 宏・土屋直樹 (和歌山大)・畑 豊 (兵庫県立大/阪大)
- ガスモニタリングによる高齢者見守りシステムの提案
○藤澤徹也 (兵庫県立大)・江川正人・谷口和彦 (きんでん)・小橋昌司・畑 豊 (兵庫県立大/阪大)

12 日

- 一部の部品間の従属事象を考慮した多状態システムの解析法
○永山 忍 (広島市大)・笹尾 勤 (明大)・Jon T. Butler (NPS)・Mitchell A. Thornton・Theodore W. Manikas (SMU)
- EVMDD(k) に基づく LUT カスケードを用いたパケット分類器の更新法について
○中原啓貴 (鹿児島大)・笹尾 勤 (明大)・松浦宗寛 (九工大)
- 可逆論理回路における Toffoli ゲート数の下界とその評価
○平山貴司・西谷泰昭 (岩手大)
- 受信強度比較方式を用いた赤外線受信回路の設計と解析
○上村通誉・淡野公一・田村宏樹・外山貴子 (宮崎大)
- 低消費電力 $\Delta\Sigma$ 変調器のノイズ解析 (仮)
○山口友里・松芝 亮・和保孝夫 (上智大)
- 不完全定義インデックス生成関数の線形分解を求める発見的な手法
○笹尾 勤・浦野雄太・井口幸洋 (明大)

参加資格 特になし

参加費 資料代 1,500円を申し受けます

参加申込 当日会場で受付

【会場連絡先】

中原啓貴 (鹿児島大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻)

E-mail : nakahara@eee.kagoshima-u.ac.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

共催 多値論理研究会

◎多値論理研究会のホームページ : <http://mvl.jpn.org/>

●第3回ネットワークソフトウェア (NWS) 研究会

委員長 新津善弘 (芝浦工大)

研究会の内容

通信サイエティ・ネットワークシステム (NS) 研究会配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論を行う。

期日 平成26年1月23日 (木)、24日 (金)

会場 名古屋国際センター (名古屋市)

テーマ: ネットワークとサービスのセキュリティ+一般 (IN研究会併催)

概要

昨今、セキュリティ関連のニュースを見ない日はない。「つながりすぎた世界」(ウィリアム・H・ダビドウ著、ダイヤモンド社)に書かれているように、世の中は、つながりすぎてしまったゆえに、様々な、想定しなかった問題が起きているのは確かである。特に、今後は、IoT (Internet of Things) 等の普及により、ますます、自分の知らないところで「つながりすぎて行く」ことが予想される。しかし、様々な経済活動の変化を押しとどめ、現在享受している生活の利便性を手放すことができないのも確かである。したがって、我々は、過去に戻るのではなく、つながった世界にうまく対応していく必要がある。そこで、第3回NWS研究会では、つながりすぎた世界=ネットワーク化された世界におけるセキュリティ関連の課題を中心に、以下のようなテーマで研究発表を募り、ネットワークソフトウェアの将来像に向けて、幅広く議論を行う。

- ・将来のネットワークのセキュリティに関するソフトウェア技術
- ・将来のサービスのセキュリティに関するソフトウェア技術
- ・スマートフォンアプリケーションのセキュリティに関するソフトウェア技術
- ・様々なセキュリティ関連事例と社会的課題
- ・その他一般

なお、第3回NWS研究会はIN研究会との併催であり、IN研究会参加者との意見交換が可能です。

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂くことが可能です。また、本研究会では、今後の更なる研究を促すことを目的として研究奨励賞を、また、議論を促進すること

を目的としてディスカッション賞をそれぞれ設けています。ディスカッション賞については、有意義なディスカッションをして下さった参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

【発表形式】 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

一般講演: 掘り下げた議論を御希望の方向向け

1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20~25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

ポジションペーパー: 構想段階等にて意見を収集したい方向向け

1件当たり約5~10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

各種締切

- ・一般講演申込み: 12月17日 (火)
- ・一般講演原稿提出: 12月24日 (火)
- ・ポジションペーパー申込み・原稿提出: 12月24日 (火)
- ・研究会参加申込み: 12月24日 (火)
- ・参加費振り込み: 1月10日 (金)

【一般講演の申込と原稿提出】

・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要(400字程度)、連絡先(住所、E-mailアドレス、電話番号)、講演者の方の参加費種別(一般/学生)、予稿集の事前配布を希望される方はその旨を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。予稿集の事前配布については下記注意事項を御確認下さい。

・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きますので、あらかじめ御承下さい。

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル(A4判1枚・様式自由)にて、電子メールでお送り下さい。ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし、期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に原稿・氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。原稿については、別刷りを配布する予定です。

【参加申込】

氏名、所属、連絡先(住所、E-mailアドレス、電話番号)、参加費種別(一般/学生)、予稿集の事前配布を希望される方はその旨を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。予稿集の事前配布については下記注意事項を御確認下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、予稿集に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

【参加費(予定)と支払方法】

一般 7,000円 学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、参加費には資料費を含みます。振込後の参加費の返還には応じかねま

すので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先口座

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店
口座名：ネットワークソフトウェア研究会
口座番号：普通 4298770

【予稿集の事前配布】

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

【講演・参加申込先・原稿提出先】

北野雄大（NTT）
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-3890
E-mail : ns-nws-secretariat@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

奥谷武則（NTT）
TEL [0422] 59-3805
主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会
◎<http://www.ieice.org/cs/nws/>

●第3回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦（古河電工） 副委員長 横井秀樹（芝浦工大）
日時 平成26年1月30日（木） 13:00～22:30
31日（金） 9:00～15:30（予定）
会場 鬼怒川グランドホテル「夢の季」（日光市鬼怒川温泉大原1021。東武鬼怒川線：鬼怒川温泉駅から徒歩で8分。http://www.kgh.co.jp/）

テーマ：集積光デバイス技術とその応用展開

第3回研究会を下記の内容で開催します。集積光デバイスと応用技術研究会は、光デバイスの高性能化・高機能化・集積化技術を中心に、特にその応用技術を含めた研究分野に関する情報交換、議論の機会を提供しています。第3回研究会は、集積光デバイスの応用技術の研究・開発動向及びその今後の展開に関するホットトピックについて、各分野の第一線で御活躍の研究者の方々による招待講演とランプセッション、学生ポスターセッションを盛り込んだ1泊2日の研究会を企画致しました。シリコンフォトニクス、超高速光通信技術、InP系光集積回路・フォトニック結晶、光信号処理、光応用技術に関して講演、議論及び学生ポスターセッションを行います。多数の方々のお参加をお待ちしております。

プログラム（予定）

30日

シリコンフォトニクス

1. 山田浩治（NTT）
2. 馬場俊彦（横浜国大）
3. 賣野 豊（PETRA）
4. 西山伸彦（東工大）

超高速光通信技術

1. 川西哲也（NICT）
2. 永妻忠夫（阪大）
3. 中沢正隆（東北大）
4. 國分泰雄（横浜国大）

学生ポスターセッション

ランプセッション「集積フォトニクス—生き残るために克服しなければならない課題は何か—」

- 司会：井筒雅之（早大）
パネリスト：中野義昭（東大）・納富雅也（NTT）・山田博仁（東北大）・蔵田和彦（PETRA）

31日

InP系光集積回路・フォトニック結晶

1. 種村拓夫（東大）
2. 松尾慎治（NTT）
3. 浜本貴一（九大）

光信号処理

1. 小西 毅（阪大）
2. 植之原裕行（東工大）
3. 羽根一博（東北大）

光応用技術

1. 徳田 崇（奈良先端大）
2. 福永 香（NICT）
3. ニクラス クリスチアーノ（豊田中研）

ポスター優秀賞表彰

参加資格 特に問いません

参加申込 宿泊希望者12月27日（金）締切、日帰り希望者は事前申し込み不要

参加費 一般宿泊者20,000円、一般日帰り者7,000円
学生宿泊者10,000円、学生日帰り者1,000円

【研究会に関する問合せ先】（第3回研究会担当委員）

荒川太郎（横浜国大）
TEL [045] 339-4143
E-mail : arakawa@ynu.ac.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】（幹事）

向原智一（古河電工）
TEL [0436] 42-1771
E-mail : tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一（京都工繊大）
TEL [075] 724-7423

E-mail : yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

● 2014年総合大会講演募集の御案内 ●

期 日 2014年3月18日(火)~21日(金)

会 場 新潟大学(新潟市)

電子情報通信学会総合大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDFによる原稿送信となっています。

募集期間

2013年11月8日(金)~2014年1月8日(水)17:00(厳守)

2014年総合大会ホームページ

http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の受付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集PDF原稿の送信期限」・「紙面による論文原稿の送付期限」については、すべて上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器はPCプロジェクターです。PCは御持参下さいませようお願い致します。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録をされている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込みWeb登録上のお願い

講演申込み締切日とその2~3日前は回線が混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演発表ができます。

講演参加費(予定)

※本学会員：不課税、本学会員外：消費税込

講演参加費につきましては、DVD論文集(全講演収録・プログラム)のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日：3月4日)

1月末に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正員：10,000円(講演発表料+DVD)

学生会員：3,000円(講演発表料+DVD)

非会員：社会人：20,000円(講演発表料+DVD)

非会員：学生：6,000円(講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正員：11,000円(講演発表料+DVD)

学生会員：3,500円(講演発表料+DVD)

非会員：社会人：22,000円(講演発表料+DVD)

非会員：学生：6,500円(講演発表料+DVD)

*電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員、本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

〔講演申込みの流れ〕

学会Web上の〔講演申込み手順〕に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目の確認のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込み内容の確認・修正」、「講演申込み内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿をPDFファイルで送信して下さい。(PDF原稿はメール添付での申込みはできません。)

なお、総合大会聴講参加・冊子講演論文集申込案内等については、2014年1、2月会告(ホームページ掲載)にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会大会係

TEL〔03〕3433-6691, FAX〔03〕3433-6659

E-mail: taikai@ieice.org



●… 講演会・講習会・学術研究集会等 …●

北陸支部

●講演会

日時 平成25年12月6日(金) 16:00~17:00
 会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス1号館1110会議室
 (野々市市扇が丘7-1)
 演題 無線電力伝送技術の現状と応用の展望
 講師 篠原真毅(京大)
 参加費 無料
 参加資格 会員以外の方も入場できますが、事前の参加申込みが必要
 です。詳しくは北陸支部HP: <http://www.ieice.org/hokuriku/>を御覧下さい。
 問合せ先 金沢工業大学工学部電気系 野口啓介
 TEL [076] 248-1100
 noguchi@neptune.kanazawa-it.ac.jp
 主催 電子情報通信学会北陸支部
 共催 IEEE AP/MTT-S Nagoya Chapters
 協賛 琥陸会(金沢工業大学・電気系同窓会)

●講演会

日時 平成25年12月10日(火) 14:20~15:50
 会場 福井工業大学FUTタワー7階T-701教室(福井市学園
 3-6-1)
 演題 センサネットワーク応用と企業での研究
 講師 寺島美昭(三菱電機)
 参加費 無料
 参加資格 会員以外の方も入場できます。事前の参加申込みは不要
 です。詳しくは北陸支部HP: <http://www.ieice.org/hokuriku/>を御覧下さい。
 問合せ先 福井工業大学電気電子情報工学科 鹿間敏弘
 TEL [0776] 29-2698, FAX [0776] 29-7891
 主催 電子情報通信学会北陸支部

●講演会

日時 平成25年12月16日(月) 14:40~16:10
 会場 石川工業高等専門学校視聴覚教室(図書館1F)(河北郡
 津幡町北中条)
 演題 人を楽しませるためのメディア技術の応用
 講師 宮田一乗(北陸先端大)
 参加費 無料
 参加資格 会員以外の方も入場できます。事前の参加申込みは不要
 です。詳しくは北陸支部HP: <http://www.ieice.org/hokuriku/>を御覧下さい。
 問合せ先 石川工業高等専門学校電子情報工学科 山田洋士
 TEL [076] 288-8136
 主催 電子情報通信学会北陸支部

関西支部

●電気四学会関西支部専門講習会「発変電設備の低圧・制御回路における絶縁協調・EMC技術」

発変電設備の低圧・制御回路における絶縁協調・EMC調査専門委員会では、発変電設備の低圧・制御回路に着目して、その回路に発生するサージ現象及びサージに起因する電磁現象を調査対象として活動を進めてきました。これらの調査を通じて、発変電設備の低圧・制御回路の絶縁協調技術の高精度化に寄与するとともに、EMTP及び数値電磁界解析を用いたサージ解析により、これまで十分な検討が行われていなかったサージに伴う電磁現象の定性的・定量的評価を行うことで、低圧・制御回路のEMC技術の確立に資することを旨しました。本調査専門委員会では、「発変電所の低圧・制御回路における絶縁協調・EMC技術の確立」という観点から次に示す項目について広く内外の文献を調査しました。

(1) 低圧・制御回路のサージ現象・電磁現象、(2) 低圧・制御回路のサージ現象・電磁現象の解析手法、(3) 低圧・制御回路のサージ現象・電磁現象の標準的モデリング・シミュレーション手法、(4) 低圧・制御回路の絶縁協調・EMC手法。

専門講習会では、上記調査内容/結果について広く御紹介致します。奮って御参加をお待ちしています。

日時 平成26年1月23日(木) 13:30~16:35
 会場 中央電気倶楽部317号室(大阪市北区堂島浜2-1-25,
<http://www.chuodenki-club.or.jp/>を御覧下さい。堂島地下街南詰を右側に上がり、右へ約50m、左側のレンガ造りの建物)

題目と講師:(司会) 本山英器(電力中研)

- (1) 開講の挨拶 電気学会関西支部支部長
- (2) 総論 雨谷昭弘(同志社大)
- (3) 低圧・制御回路のサージ現象・電磁現象 吉田昌展(中部電力)
- (4) 低圧・制御回路のサージ現象・電磁現象の解析手法 松尾尚英(日立)
- (5) 低圧・制御回路のサージ現象・電磁現象の標準的モデリング・シミュレーション手法 野嶋健一(東芝)
- (6) 低圧・制御回路の絶縁協調・EMC 中山寿也(高岳製作所)
- (7) まとめ 楢野宏樹(三菱電機)
- (8) 質疑応答
- (9) 閉講の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

参加費(テキスト代別)

主催学会 会員4,000円, 准員1,500円(会員不課税), 会員外5,000円(会員外消費税込み), 学生無料

テキスト 電気学会技術報告1234号「発変電設備の低圧・制御回路における絶縁協調・EMC技術」(冊子価格: 会員2,184円, 一般2,730円(税込))を使用します。希望者には特別価格(2,000円(税込))で頒布致します。テキストが必要な方は1月9日(木)までに事前にお申込みをお願い致します。はがきは締切日必着でお願いします。Web申込みではテキストの要否欄に「要」を、はがき/FAX/E-mailには、「テキスト希望」と書いて下さい。テキストは当日お渡し致します。

定員 30名(定員になり次第、締め切ります)

申込方法 電気学会関西支部HP(<http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/>)からお申込み下さい。はがき、FAXまたはE-mailによる申込みの場合、講習会題目、開催日、会

員種別、氏名、連絡先（会社あるいは学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号）並びにテキストの要否を、下記の申込先まで御連絡下さい。後日、参加証と請求書をお送りします。なお、お知らせ頂きました個人情報、行事を運営する目的以外に使用することはありません。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

共催 電気学会；発変電設備の低圧・制御回路における絶縁調・EMC 調査専門委員会

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

進化計算シンポジウム 2013

期日 平成 25 年 12 月 14 日 (土), 15 日 (日)

会場 霧島ホテル (霧島市)

問合せ ecsymp2013@jpnsec.org

<http://www.jpnsec.org/symposium201303.html>

産学連携 IT 人材育成シンポジウム 2013

期日 平成 25 年 12 月 25 日 (水)

会場 秋葉原 UDX (東京都千代田区)

問合せ 情報処理推進機構 IT 人材育成本部 イノベーション人材センター 担当 下房地 毅

TEL [03] 5978-7536, FAX [03] 5978-7516

t-shita@ipa.go.jp

表面科学技術研究会 2014 「太陽電池／太陽光発電の最先端情報—コア再生可能エネルギーにおける位置付と役割—」

期日 平成 26 年 1 月 23 日 (木)

会場 神戸大学 百年記念館 (神戸市)

問合せ 日本表面科学会関西支部 担当 米田

TEL & FAX [086] 256-9402, yoneta@dap.ous.ac.jp

<http://www.ssss.org/Kansai/goudoul40123.html>

薄膜・表面物理分科会・シリコンテクノロジー分科会共催特別研究会「ゲートスタック研究会—材料・プロセス・評価の物理—」(第 19 回) (※)

期日 平成 26 年 1 月 24 日 (金), 25 日 (土)

会場 ニューウェルシティー湯河原 (熱海市)

問合せ 応用物理学会分科会担当 上村

TEL [03] 5802-0863, FAX [03] 5802-6250

kamimura@jsap.or.jp <http://www.jsap.or.jp/>

圧電材料・デバイスシンポジウム 2014

期日 平成 26 年 1 月 29 日 (水), 30 日 (木)

会場 東北大学工学部青葉記念会館 (仙台市)

問合せ 同シンポジウム事務局 担当 吉澤 晋 (東北大学大学院工学研究科)

TEL [022] 795-5843, FAX [022] 795-7147

piezodevice@ecei.tohoku.ac.jp

<http://www.ecei.tohoku.ac.jp/ume/PoPM-Dsymposium/>

MEMS プロセス実習講座—MEMS 技術で赤外線センサアレイを作ろう!— (※)

期日 平成 26 年 2 月 3 日 (月)~7 日 (金)

会場 大阪府立産業技術総合研究所 (和泉市)

問合せ センシング技術応用研究会事務局

TEL [0725] 51-2534, FAX [0725] 51-2597

sstj@dantai.tri-osaka.jp

<http://tri-osaka.jp/dantai/sstj/>

page2014 「始動! コミュニケーション・ファクトリー」

期日 平成 26 年 2 月 5 日 (水)~7 日 (金)

会場 サンシャインシティ・コンベンションセンター TOKYO (東京都豊島区)

問合せ 日本印刷技術協会管理部

TEL [03] 3384-3111, FAX [03] 3384-3481

第 1 回制御部門マルチシンポジウム (※)

期日 平成 26 年 3 月 4 日 (火)~7 日 (金)

会場 電気通信大学 (調布市)

問合せ 計測自動制御学会部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121, bumon@sice.or.jp

第 41 回「知能システムシンポジウム」(※)

期日 平成 26 年 3 月 13 日 (木), 14 日 (金)

会場 筑波大学東京キャンパス (東京都文京区)

問合せ 計測自動制御学会部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121, bumon@sice.or.jp

IIP2014 情報・知能・精密機器部門講演会

期日 平成 26 年 3 月 18 日 (火), 19 日 (水)

会場 東洋大学白山キャンパス (東京都文京区)

問合せ 日本機械学会情報・知能・精密機器部門 関根

TEL [03] 5360-3506, FAX [03] 5360-3509

sekine@jsme.or.jp <http://www.jsme.or.jp/iip/>

第 19 回分子動力学シンポジウム (※)

期日 平成 26 年 5 月 16 日 (金)

会場 福岡大学 (福岡市)

問合せ 日本材料学会 md@md.jsms.jp

<http://www.jsms.jp>

2014年パワーエレクトロニクス国際会議

期 日 2014年5月18日(日)~21日(水)
会 場 広島国際会議場(広島市)
問合先 IPEC-Hiroshima 2014 事務局 (ICS コンベンションデザ
イン内) 担当 千田・宮本
TEL [03] 3219-3541, FAX [03] 3219-3577
ipcc2014@ics-inc.co.jp

The 3rd IEEE Global Conference on Consumer Electronics (IEEE
GCCE 2014)

期 日 2014年10月7日(火)~10日(金)
会 場 幕張メッセ国際会議場(千葉市)
問合先 Conference Coordinator 萩川友宏(筑波大学学術情報
メディアセンター)
TEL [090] 8080-0990, FAX [029] 853-2983
haraikawa@cc.tsukuba.ac.jp

2014 The 21st International Workshop on Active-Matrix Flatpa-
nel Displays and Devices—TFT Technologies and FPD Materi-
als— (AM-FPD'14)

期 日 2014年7月2日(水)~4日(金)
会 場 龍谷大学アバンティ響都ホール(京都市)
問合先 AM-FPD 事務局(茂原アテックス) 担当 吉田
TEL [0475] 23-1150, FAX [0475] 25-7703
secretariat@amfpd.jp

Joint 7th International Conference on Soft Computing and
Intelligent Systems and 15th International Symposium on
Advanced Interlligent Systems (SCIS&ISIS2014) (※)

期 日 2014年12月3日(水)~6日(土)
会 場 北九州国際会議場(北九州市)
問合先 日本知能情報ファジィ学会事務局 担当 國安(ファ
ジィシステム研究所内)
TEL [0948] 24-3355, FAX [0948] 24-3356
soft@flsi.cird.or.jp <http://www.scis2014.org/>

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication
Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.
Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.
Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)
Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

——ドイツ・イノベーション・アワード
「ゴットフリード・ワグネル賞 2014」——

応募資格 日本の大学・研究機関に所属する45歳以下の若手研究者（応募締切日時点）

応募対象 (1)環境・エネルギー、健康・医療、安全のいずれかの分野における応用志向型の研究
(2)次の産業分野において、ソリューションを提示する研究：自動車・輸送機器、化学品・高分子・その他素材、エレクトロニクス・フォトニクス、医療機器・診断技術、バイオテクノロジー・医薬品、ものづくり・製造プロセス・機械、発電・送電に関する技術（新エネルギーを含む）
(3)現在進行中の研究、または過去2年以内に完了した研究成果

賞金 最優秀賞：400万円（1件）、優秀賞：200万円（1件）、秀賞：100万円（3件）

副賞 ドイツの大学・研究機関に最長2カ月間研究滞在するための助成金

応募方法 電子申請システムで受け付けます。詳細は、ドイツ・イノベーション・アワードのHPを御覧下さい。
www.german-innovation-award.jp

応募締切日 平成25年12月8日（日）必着

問合せ先 ドイツ・イノベーション・アワード事務局
TEL〔03〕5276-8827
info@german-innovation-award.jp

——第18回工学教育賞——

趣旨 わが国の工学教育ならびに技術者教育等に対する先導的、革新的な試みによって、その発展に多大の影響と貢献を与えた業績を表彰する。

推薦方法 工学教育賞規程ならびに記入内容・方法等（下記Web参照）に基づき、所定の書式に必要事項を記入し提出のこと。

応募締切 平成26年1月10日（金）

問合せ先 日本工学教育協会
TEL〔03〕5442-1021 jsee@jsee.or.jp
https://www.jsee.or.jp/

——カワイサウンド技術・音楽振興財団
サウンド技術振興部門平成26年度研究助成——

助成対象 産業、生活、文化の各分野にわたる研究で、音が主役となりQuality of Lifeの向上に寄与する研究

助成金 交付額は研究テーマ1件当たり100万円を限度として内容により決定

応募資格 教育関連機関または各種試験研究機関に所属する者またはグループ

応募締切 平成26年2月28日（金）必着

問合せ先 カワイサウンド技術・音楽振興財団事務局
TEL〔03〕3370-8277, FAX〔03〕3379-1446
mail@sound-zaidan.com
http://www.sound-zaidan.com

電子情報通信レクチャーシリーズ 新刊 会員特価販売のご案内

<第28回配本>

C-16 電子物性工学

電子情報通信学会 編/奥村次徳 著

(株)コロナ社 発行

B5判/160頁/定価2,940円/会員特価2,700円(税・送料込)

エレクトロニクスは、物質中の電子を自由自在に操ることで多様な機能を引き出している。本書では、エレクトロニクスの基本である電子の振舞いについて、その応用分野を意識しながら量子力学や統計力学を絡めてその本質を掘り下げる。

<主要目次>

電子物性を学ぶための基礎的事項/真空中の電子の運動/固体中の電子の運動(古典的取扱い)/原子核に束縛された電子/波動としての電子/電子の統計的取扱い/結晶中の電子

◆申込方法◆ ご氏名、送付先の会社名、学校名、ご住所、電話番号を明記の上、FAX または e-mail(書式自由、会員特価販売分と記入)にて、直接コロナ社にお申込み下さい。

※2014年4月以降、消費税率変更のため、販売価格の変更がございます。

◆注文先◆ 〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10
(株)コロナ社内「電子情報通信レクチャーシリーズ」係

TEL 03-3941-3131(代) FAX 03-3941-3137 e-mail: gyomu@coronasha.co.jp

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部
TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●秋田工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 助教1名
専門分野 電気機器・組み込み系
担当科目 電気機器, エネルギー変換, IC 応用回路, 論理回路, 電気情報工学実験, 基礎研究, 卒業研究, 特別研究等
応募資格 博士の学位を有する方
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年12月18日(水) 必着
問合せ先 電気情報工学科 駒木根隆士
TEL [018] 847-6052, komakine@akita-nct.jp
詳細 http://akita-nct.jp

●高知工業高等専門学校

公募人員 電気情報工学科 教授, 准教授, または助教1名
専門分野 制御工学関連分野
担当科目 制御工学関連科目, ロボット工学, 学生実験等
応募資格 博士の学位を有するか, 着任時までに取得可能な方
学生の教育・指導に熱心で, 研究と両立可能な方
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成26年1月7日(火) 必着
問合せ先 電気情報工学科長 谷澤俊弘
tanizawa@ee.kochi-ct.ac.jp
詳細 http://www.jm.kochi-ct.ac.jp/kobo/

●芝浦工業大学

公募人員 工学部通信情報学群情報工学科 非常勤講師1名
専門分野 コンピュータグラフィックス関連分野
担当科目 コンピュータグラフィックス (平成26年度後期から)
応募締切 平成26年1月8日(水) 必着
問合せ先 工学部情報工学科 平川 豊
TEL [03] 5859-8509, hirakawa@shibaura-it.ac.jp
詳細 http://www.shibaura-it.ac.jp/recruit/professor/index.html

●熊本大学

公募人員 大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻
助教1名
専門分野 情報工学, 電子工学, 通信工学のいずれかの分野
応募資格 博士の学位を有する女性研究者で, 研究者としての経験(PDを含む)を有する方
着任時期 採用決定後, できるだけ早い時期
応募締切 平成26年1月10日(金) 17時必着
問合せ先 情報電気電子工学専攻長 松島 章
matsua@cs.kumamoto-u.ac.jp
詳細 http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 2月号掲載分 平成25年12月13日(金) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下のURLからお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——シニア会員申請登録は

10月1日から開始しています！——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成25年10月1日から平成26年1月31日まで
- ・推薦基準：本会に関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として累計在籍年数5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。累計在籍年数は、提出期限である1月31日までの在籍月数を積算し、12か月を1年とし、端数月数は切り捨てる。
- ・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要
- ・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいませようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——平成26年度個人会員会費の御請求を

11月末にお送り致しました——

個人会員の皆様には平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）会費御請求の振替用紙を会員証と併せて11月末にお送り致しました。なお、法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成26年4月末にお送りする予定です。何とぞよろしくお願い申し上げます。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999年8月から論文誌の電子的公開を開始し、2006年4月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009年4月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム（IEICE Knowledge Discovery（略称：I-Discover））などの新たなシステムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図

ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を2014年4月号から廃止することが2013年4月15日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオンライン版の御活用をお願い致しますと存じます。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——平成25年12月号及び平成26年1月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

（基礎・境界ソサイエティ）

12月号 [和文] バイオメトリクス

12月号 [英文] Information Theory and Its Applications

・VLSI Design and CAD Algorithms

1月号 [英文] Wideband Systems

・Cryptography and Information Security

（通信ソサイエティ）

12月号 [和文] 知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と応用技術論文

12月号 [英文] Network and System Technologies for Sustainable Society

1月号 [英文] Management for Flexible ICT Systems and Services

（エレクトロニクスソサイエティ）

12月号 [和文] 大学発マイクロ波論文

12月号 [英文] Advanced Elementary Technologies for Information Storage

1月号 [英文] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application

（情報・システムソサイエティ）

12月号 [和文] ソフトウェアエージェントとその応用

12月号 [英文] Parallel and Distributed Computing and Networking

1月号 [和文] ヒューマンコミュニケーション特集～価値ある生活環境構築のための情報技術～

— 本会「著作権規程」の基本方針について —

著作権管理委員会

平成 25 年 10 月の理事会において、「著作権規程」の「利用申請基準」を見直し、技術研究報告も含めた本会出版物に掲載になった論文に対する電子的利用の方針を決定しました。

それに伴い著作権規程の基本方針を下記のごとく致しますのでお知らせします。

なお、本規程は、本会が編集または発行する著作物の著作権の帰属と利用に関わる基本規程であり、会員の皆様には是非とも御一読頂き、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 著作権の帰属については、本会に帰属することと致します。なお、著作者自身が自らの著作物を利用するときは、利用目的により本会の許諾を必要としないこととし、著作者の研究活動の利便性を損なわないように致します。
2. 電子的利用については、著作者本人並びに所属機関が著作者の著作物の全文を著作者のプライベート若しくは所属機関のホームページに掲載する場合、一定条件の下で出版社版 PDF の掲載を許諾します。
※掲載条件等、詳細については「利用申請基準」を御覧ください。
3. 第三者の著作物利用に際しては、著作者自身の利用とは区別し、本会への許諾申請を必須条件と致します。
4. また、著作者が自らの著作物を発行日（発表日）前に利用することについては、権利上、著作者が不利益を被ることがありますので、不許可とし現状を踏襲致します。

本会出版物に掲載された論文等の著作物の利用申請基準

例外事例	利用者	利用対象	利用先	利用申請の要・不要	論文誌（注5）		会誌、技術研究報告、大会講演論文集等（注6）（注7）	
					利用可能時期	申請不要の条件	利用可能時期	申請不要の条件
1	著作者	自分の論文全文	著者個人/所属機関のサーバ（注2）、DVDなどの電子媒体	右記条件を満たせば不要（注3）	発行後	A, B, C, E,	発行後	A, B, C
2			紙媒体/別刷りとして購入したPDFファイル（注8）					
3		自分の論文一部（図面など）	著者個人/所属機関のサーバ（注2）、DVDなどの電子媒体		発行後（注4）	A, C	発行後（注4）	A, C
4			紙媒体/別刷りとして購入したPDFファイル（注8）					
5	著作者の所属機関	著作者の論文全文	所属機関のサーバ（注2）、DVDなどの電子媒体	右記条件を満たせば不要	発行後	A, B, C, D, E	発行後	A, B, C, D
6			紙媒体					
7		著作者の論文一部（図面）など	所属機関のサーバ（注2）、DVDなどの電子媒体		発行後	A, C, D	発行後	A, C, D
8			紙媒体					

条件 A 権利表示（例 copyright©2013 IEICE）
 条件 B 出版社版 PDF（発行された紙版をスキャンで作成したもの含）の掲載。著者最終版は不可。
 条件 C 出所の明示（例 著作者名、書名（題号）、雑誌名、巻、号、頁、発行年など）
 条件 D 著作者の了解
 条件 E IEICE Transactions Online トップページへのリンク

- 注1：第30条（私的使用のための複製）、32条（引用）、35条（教育機関における複製）など。
 注2：著者個人のサーバ：著作者がアップロードや削除を他の人の同意なしに行えるサーバ。（例：ブログ、大学等の研究室のサーバ）
 所属機関のサーバ：機関が組織として包括的に管理運用している公開サイト（例：機関リポジトリ）
 注3：事例1～4で、論文を共同執筆の場合、利用後にトラブルが発生しないよう著作者間での連絡をお願いしたい。
 注4：事例3、4の場合については、発行前のものでも許諾することがある。
 注5：“IEICE Electronics Express”, “Nonlinear Theory and its Applications, IEICE”, “IEICE Communications Express”含む。
 注6：会誌並びに大会講演論文集については、それぞれ法人用DVD、CD-ROMを発行している。それらを購入の上同封の「同意書」を本会事務局まで送付した場合は、機関においてローカルPC上での利用、またはネットワーク（LAN）上でのファイル共有による閲覧が可能。
 注7：技術研究報告・大会講演論文集については、利用申請なしに、同内容を翻訳・翻案して他学会の国際会議や論文誌に投稿することを妨げない。ただし出所明示や権利表示を行うこと。
 注8：論文誌の掲載料を支払うことで入手した論文のPDFファイル若しくはその印刷物は、当面著者が研究教育目的（非営利）に第三者に直接送付することを認める。
 同ファイルを著者以外が他人に送付することはできない。

—Special Section on Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications—

We are pleased to announce the special section of the IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE," to be published in October 2014. The major part of this section will address recent progress in the field of nonlinear theory and its applications. The topics of interest within the scope of this section include, but are not limited to, the following areas :

- Chaos and Bifurcations
- Oscillations
- Synchronization
- Coupled Oscillators
- Communications
- Chua's Circuits
- Control
- Complex Systems
- Fractals
- Solitons
- Applied Mathematics
- Biomedical Data Processing
- Complex Networks
- Chaotic Neural Networks
- Cellular Neural Networks
- Learning and Memory
- Prediction and Identification
- Image and Signal Processing
- Neuro Dynamics
- Evolutionary Computation
- Optimization
- Fuzzy
- Biocybernetics
- Economics
- Biomedical Engineering
- Computational Neuroscience
- Circuits and Systems
- Self-Validating Numerics
- Modeling and Simulations
- Large-Scale Networks
- Analog and Digital ICs
- Distributed Networks
- Power Systems
- Robotics
- Optics
- Chemistry
- Physics
- Bioinformatics
- Social Dynamics

The submitted papers are edited by the Editorial Committee of the Special Section. The deadline of the paper submission is January 10, 2014. Prospective authors should follow the submission process described below :

1. Prepare manuscripts according to the guidelines described in the web page :

<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>

The LaTeX style file and template file can be downloaded from this page. Papers do not usually exceed 30 pages of an A4-sized PDF file.

2. Submit manuscripts through the IEICE paper submission system at :

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx

Authors should choose "[Special-NL] Recent Progress in Nonlinear Theory and Its Applications" as a "Journal/Section" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".

3. Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address :

Dr. Yoshihiko Susuki

Department of Electrical Engineering, Kyoto University

Katsura, Nishikyo, Kyoto 615-8510, Japan

E-mail : susuki.yoshihiko.5c@kyoto-u.ac.jp

TEL : +81-75-383-2243, FAX : +81-75-383-2240

(please attach a cover sheet indicating the sender's name)

The article charges until 30 pages :

One of the authors is a member of IEICE : 60,000 JPY

Otherwise : 65,000 JPY

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by January 10, 2014. We cannot start the reviewing process without these documents, even if we receive your manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following site :

<http://www.nolta.ieice.org/data/authors.html>

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that authors unaffiliated with IEICE apply for membership : <http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

Guest Editors :

Vakhtang Putkaradze (University of Alberta)

Yuzuru Sato (Hokkaido University)

Guest Associate Editors :

Ken'ichi Fujimoto (The University of Tokushima)

Masayuki Kimura (The University of Shiga Prefecture)

Takuji Kousaka (Oita University)

Yoshito Hirata (The University of Tokyo)

Juan M. Restrepo (University of Arizona)

Ryo Takahashi (Kyoto University)

Hiroyuki Torikai (Kyoto Sangyo University)

Associate Editors of NOLTA, IEICE :

Keiji Konishi (Osaka Prefecture University)

Visarath In (SPAWAR Systems Center Pacific)

Masayuki Sato (Kanazawa University)

Michael Small (The University of Western Australia)

Isao Tokuda (Ritsumeikan University)

Kazuyuki Yoshimura (NTT Communication Science Laboratories)

Secretary of NOLTA, IEICE:

Hiroyuki Torikai (Kyoto Sangyo University)

Secretary of the Special Section:

Yoshihiko Susuki (Kyoto University)

——電子情報通信分野における萌芽的研究小特集 (和文論文誌 A) 論文募集——

電子情報通信分野における萌芽的研究小特集 編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集 (平成 27 年 2 月号) として、「電子情報通信分野における萌芽的研究小特集」を企画しました。

基礎・境界ソサイエティは、様々な研究分野を含む、分野横断型のソサイエティです。その特色を生かし萌芽的な研究に注目した小特集を過去 3 回 (平成 23 年 2 月号, 平成 24 年 7 月号, 平成 25 年 8 月号) に引き続き企画致しました。基礎・境界ソサイエティには、サブソサイエティや研究専門委員会に代表される幾つかの分野の研究者・技術者が集まったコミュニティが存在します。自身の専門分野の研究を深化させたものに限らず、他のコミュニティとの関わり合いを通じて、基礎・境界ソサイエティがカバーする分野を融合・発展させた電子情報通信に関する論文を募集します。

本小特集は、主として大学院学生や企業・研究機関の若手研究者・技術者からの投稿を期待しており、実際の過去の投稿も期待に添った形となっています。しかしながら、投稿者に年齢制限はなく、「萌芽的研究」の内容も幅広く考えます。

また、萌芽的研究の成果をより効果的に提示できるよう、画像・映像・音声・プログラムなどのデジタルデータを論文の付録とすることも可能です。採録論文付録のデジタルデータは本会の Transactions Online において、論文本体とともに掲載する予定です。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

基礎・境界ソサイエティ和文論文誌がカバーする分野全て。

電気音響, 音響一般, 騒音, 振動, 音声, 聴覚, 超音波, デジタル信号処理, アナログ信号処理, システムと制御, 非線形問題, 回路理論, 回路解析, VLSI 設計技術と CAD, 組込みシステム, 数値計算, 数値計画法, アルゴリズムとデータ構造・計算複雑度, グラフとネットワーク, 信頼性, 保全性, 安全性, 情報セキュリティ基礎, 情報理論, 符号理論, 通信理論, 信号理論基礎, スペクトル拡散技術, 移動情報通信・パーソナル通信, 高度交通システム (ITS), 画像, 視覚, コンピュータグラフィックス (CG) 基礎, 人工知能, ヒューマンコミュニケーション, ニューラルネットワーク及び生物工学, マルチメディア環境技術, 情報倫理・情報通信倫理, コンカレント工学, 測定・計測, 基礎理論

2. 編集方針

萌芽的研究, 特に若手研究者・技術者が行う研究は発展途上であり, その価値は社会が将来評価する要素が強いことを考慮し, 研究の新規性並びに成果の信頼性に比べて, 研究の有用性についての一般性や十分性を厳しく求めないものとします。

3. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文と同一とします。原則として, 論文は刷り上がり 8 ページ程度, レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理できないので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。なお, 査読後の再提

出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. デジタルデータについて

デジタルデータを論文の付録としたい場合は, 下記を御参照下さい。

- (1) 論文本体で首尾一貫した内容とし, デジタルデータは付録 (参考情報) として取り扱います。
- (2) デジタルデータの著作権は著者に残し, 学会には Web 上での公開や, DVD 等への収録等の利用に関する許諾を取得させていただきます。(コンテンツ・デジタルデータに Copyright を記載させていただきます。)
- (3) デジタルデータの容量上限については以下のようにさせていただきます。
 - (a) 1 ファイル当りの上限は 50 MByte とします。
 - (b) 1 論文当りの上限 (容量, ファイル数) はありません。
 - (c) 特集全体の上限 (容量) はありません。
- (4) デジタルデータの掲載・編集作業等の費用については, 「付録」として扱う (論文本体に埋め込まない) ことから, 今回の小特集号に限り無料と致します。
- (5) デジタルデータの提出は, デジタルデータを収録した CD または DVD を必要枚数作成し, 事務局まで投稿締切日までに送付して下さい。(必要枚数: 論文 4 枚, レター 3 枚)
- (6) デジタルデータのメディアへの収録方法, 論文本文からの引用方法については「デジタルエンターテイメントにおける数値・技術とコンテンツ小特集」と同一と致します。詳細は当該小特集募集にある「『デジタルエンターテイメントにおける数値・技術とコンテンツ小特集』の論文原稿及び採録論文付録のコンテンツ・デジタルデータの作成方法について」(http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/online_kit.lzh) を御覧下さい。

5. 論文投稿締切日 平成 26 年 4 月 4 日 (金) 厳守

6. 投稿方法

投稿は原則, 電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

送付先:

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-a@ieice.org
※郵送の場合は, 封筒に特集名を朱記して下さい。

7. 問合せ先

岡 育生 大阪市立大学大学院工学研究科電子情報系専攻
E-mail: oka@info.eng.osaka-cu.ac.jp

8. 特集編集委員会

委員長 岡 育生
編集幹事 栗原正純
編集委員 平成 25 年度和文論文誌 A 編集委員

9. 付記

* 本小特集を含む本会論文誌に論文を投稿する場合, 著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。

* 採録論文数が多い場合には, 一部次月以降に掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

——将来の情報ネットワーク構築に向けた 拡張性・信頼性・ロバスト性を向上させる 通信技術とアーキテクチャ小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

将来の情報ネットワーク構築に向けた
拡張性・信頼性・ロバスト性を向上させる
通信技術とアーキテクチャ小特集編集委員会

将来の情報ネットワークを構築するためには、様々な技術分野の研究開発が必要となります。そこで現在、SDNやICN/CCN、データセンタネットワーク、クラウドコンピューティング、DTNなどに関する通信技術及びネットワークアーキテクチャの研究が盛んに行われています。このような技術を利用して将来の情報ネットワークを構築するには、特に、ネットワーク規模の拡大やネットワーク環境の変化、通信障害の発生などを考慮することが必要となります。そこで、将来の情報ネットワーク構築に向けて、ネットワークの拡張性・信頼性・ロバスト性を向上させるための研究開発をより一層促進させる目的として、本小特集（平成26年12月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

将来ネットワークの通信技術とアーキテクチャに関する以下の分野を対象とします。

- Future information network design
- Network virtualization
- ID/locator split-based architecture
- Sensor networks
- Wireless-wireline internetworking
- Smart grid networks
- Network planning and management
- Social networks
- Information/content centric networking (ICN/CCN)
- Data centers and cloud networking
- Delay/disruption/disaster tolerant networks (DTN)
- Embedded systems networking
- Optical network architecture
- Smart home networks
- Survivability and fault tolerance
- Self-organization networks
- Software-defined networking (SDN)
- Mobility-oriented architectures
- New naming and addressing
- RFID networks and protocols
- Overlay networking
- Environment monitoring networks
- Anomaly/intrusion/attack detection
- Future network testbed systems

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿

下さい。

手順1：https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で Technologies and Architectures for Improving Scalability, Reliability, and Robustness for Future Information Networks を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2：登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAXのいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成26年3月16日(日) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

橋 拓至

福井大学大学院工学研究科

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号

TEL [(0776) 27-9971, FAX [(0776) 27-8751

E-mail : in_ac-tokushu-kanji-2013@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 浅見 徹 (東大)

幹事 ベド カフレ (NICT), 橋 拓至 (福井大)

委員 阿多信吾 (阪市大), 有吉正行 (ATR), 大坐島 智 (電通大), 川原憲治 (九工大), 菅沼拓夫 (東北大), 妙中雄三 (東大), 中村匡秀 (神戸大), 水野 修 (工学院大), 村山純一 (NTT), 吉原貞仁 (KDDI 研)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷50部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——電子ディスプレイ小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

電子ディスプレイ小特集編集委員会

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを実現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。

今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集 (平成26年11月号) を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

- ・フレキシブル、電子ペーパー、三次元、無機/有機 EL、電界放出、プラズマ、投射形、液晶、CRT などを用いたディスプレイ技術
- ・携帯用、テレビ用、デジタルサイネージ用、高臨場感用などのディスプレイシステム
- ・電子ディスプレイの基礎となる科学・技術全般
- ・ディスプレイ用材料及び部品（タッチパネル等の入力デバイスを含む）
- ・ディスプレイ作製方法、パネル製造・量産装置、測定装置、検査装置
- ・ディスプレイシステムの駆動回路、画像処理技術
- ・ディスプレイに関わる評価技術、人間工学、応用システム

2. 論文の執筆と取扱い

- ・本小特集では、フルペーパーとブリーフペーパーの種別のみ受け付けます。フルペーパーは原則として刷り上がり8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします。執筆の詳細については、Information for Authors: http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html を御参照下さい。
- ・一般の会議 Proceedings と比べてページ数制限が緩和されています。より一般的な研究者を対象として、詳細な記述になるよう御配慮下さい。
- ・本小特集では原著論文のみ受け付けますので、それを踏まえて原稿作成をお願い致します。（レビュー論文やサーベイ論文は受け付けません。）
- ・採録論文が小特集の予定件数を越えた場合、一般論文として掲載される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・本小特集への論文投稿については、下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-DI] Electronic Displays を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement), 仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送, FAX, または電子メール添付で送付して下さい。これらの関係書類がないと査読手続きが開始されません。

4. 書類送付先及び問合せ先

新田博幸

(株) ジャパンディスプレイモバイル事業本部システム設計
Unit IC・タッチパネル設計部

〒297-8622 茂原市早野 3300 番地

TEL [0475] 25-9017, FAX [0475] 24-2463

E-mail: hiroyuki.nitta.tv@j-display.com

(学会事務局への関係書類の送付は不要です。)

5. 論文投稿締切日 平成 26 年 2 月 28 日 (金) 必着

6. 電子ディスプレイ小特集編集委員会

編集委員長 木村 陸 (龍谷大)

編集幹事 新田博幸 (ジャパンディスプレイ), 中田 充 (NHK)

編集委員 志賀智一 (電通大), 小南裕子 (静岡大), 伊達宗和 (NTT コムウェア), 山口雅浩 (東工大), 山口留美子 (秋田大), 山口 一 (東芝), 小澤史朗 (NTT)

7. 付記

* 招待論文を含め論文採録の場合には、掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

* 投稿に際しては著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関しては、この限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。

* 入会の案内は、<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

——電磁界理論の進展とその応用小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

電磁界理論の進展とその応用小特集編集委員会

近年、メタマテリアル、大規模構造の散乱問題、更には光通信システムにおける伝搬解析など、電磁界理論を中心とした応用技術がますます盛んになってきています。電磁界理論研究専門委員会では、電磁界理論の進展とその応用に関する最近の新しい研究成果を総括することを目的として、平成 25 年 11 月 14 日 (木) ~16 日 (土) に青森県三沢市で開催された「電磁界理論シンポジウム」の研究会での発表を中心に、「電磁界理論の進展とその応用」小特集 “Special Section on Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application” (平成 27 年 1 月号) の発行を企画しました。また、本小特集では、これらの関連の国際会議 (2013 AP-S and URSI, PIERS 2013, ISAP2013, EMTS 2013, APSAR 2013) 等での発表成果を発展させた論文も受け付けます。

1. 対象分野

以下に示すような電磁界理論の進展とその応用に関する分野を含め、これ以外の分野も投稿可能です。

電磁界理論 (基礎理論)/放射・伝搬/電磁現象/散乱・回折/レーダ断面積/アンテナ理論/リモートセンシング/信号処理/数学的解析理論と応用/周期構造/数値解法理論/計算電磁気学/ランダム媒質・粗面/量子電磁力学/キラル媒質/メタマテリアル/電磁環境/時間領域解析/生体への電磁波応用/高周波漸近解法/波動情報処理/逆問題・逆散乱/他系との結合理論と解析/光・マイクロ波・ミリ波導波路/非線形問題 (電子波・X線導波路含む)

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。論文の形式等の執筆の詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。ただし、論文誌の掲載ページ数は、ペーパーは8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内を原則と致します。なお査読後の再提出期間 (通常は60日) を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記に従い、くれぐれも間違いのないようお願い致します。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。次の手順で、投稿を進めて下さい。

(手順1) 電子投稿

論文の仮登録と論文(図,表を含む)の電子ファイルを学会のWebページ(https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)でアップロードして下さい。なお,Webでの登録にあたり,“Journal/Section”は,[Special-RE] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application を選択して下さい。[Regular-EC] を選ばないで下さい。

(手順2) 著作権譲渡承諾書の送付

著作権譲渡承諾書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement)と仮登録確認用紙(Confirmation Sheet of Manuscript Registration)を下記まで電子メール添付,FAX,または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

4. 論文投稿締切日 平成26年4月4日(金)必着

5. 送付先及び問合せ先

平山浩一 北見工業大学電気電子工学科
〒090-8507 北見市公園町165
TEL [0157] 26-9285, FAX [0157] 26-9260
E-mail: hirakc@mail.kitami-it.ac.jp

6. 小特集編集委員会

Guest Editors-in-Chief (2名)
白井 宏(中大), 佐藤源之(東北大)
Secretaries (2名)
平山浩一(北見工大), 柴崎年彦(都立産技高専)
Guest Associate Editors (12名)
安藤芳晃(電通大), 稲沢良夫(三菱電機), 上田哲也(京大工織大), 大貫進一郎(日大), 柏 達也(北見工大), 黒田道子(東京工科大), 後藤啓次(防衛大), 佐藤亮一(新潟大), 田中雅宏(岐阜大), 中嶋徳正(福岡工大), 平野拓一(東工大), 渡辺仰基(福岡工大)

【重要なお知らせ】 投稿に際しては,著者のうち少なくとも1名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については,投稿を受け付けられないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——高機能マルチメディア小特集

(英文論文誌D) 論文募集——

高機能マルチメディア小特集編集委員会

電子情報通信学会では,高機能マルチメディアを支える基礎技術から応用分野における最先端研究を取り上げ,関連する技術の更なる発展を図ることを目的として,情報・システムサイエンスの英文論文誌IEICE Transactions on Information and Systemsの2015年1月号において,高機能マルチメディア小特集(Special Section on Enriched Multimedia)を企画致しました。下記分野・関連する新しい分野のオリジナル論文を募集致しますので,奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

- ・コンテンツの価値を守る
メディアセキュリティ,コンテンツセキュリティ,アクセス制御,電子透かし,ステガノグラフィ等
- ・コンテンツの価値を高める
コンテンツ統合,異種メディア横断検索,メディア修復,マルチメディアアノテーション,マルチメディア自動要約等

論文特集原稿募集

- ・コンテンツの価値を創る
コンテンツ設計,臨場感生成,ユニバーサルメディア,デジタルエンタテインメント等
- ・コンテンツの価値を測る
コンテンツ評価,画質・音質評価,知覚・認知メトリクス,人間視聴覚システム等

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては,“The Information for Authors”(http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)を御一読の上,本会の論文スタイル(http://www.ieice.org/ftp/index-e.html)にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は,PAPERで8ページ,LETTERで2ページとなります。
- ・投稿原稿の御提出は,本会のWebサイト(https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)を通じてお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受け付けできません。御投稿の際は,投稿フォームの“Journal/Section”の項目にて,必ず“[Special-MU] Enriched Multimedia”をお選び下さい。
- ・投稿時に生成される“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”と“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”を,論文投稿締切日までに,下記編集幹事まで,電子メール添付にてお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合,投稿が取下げになることがあります。

3. 原稿提出の締切日 2014年3月14日(金)必着

4. 提出先及び問合せ先

新見道治
九州工業大学大学院情報工学研究院
E-mail: niimi@mip.ces.kyutech.ac.jp

5. 小特集編集委員会

編集委員長 越前 功(NII)
編集幹事 新見道治(九工大), 西村竜一(NICT)
編集委員 青木直史(北大), 今泉祥子(千葉大), 鶴木祐史(北陸先端大), 川村正樹(山口大), 栗林 稔(神戸大), 小嶋徹也(東京高専), 高嶋洋一(NTT), 西村 明(東京情報大), 茂出木敏雄(大日本印刷), 吉田真紀(阪大)

6. 【その他注意事項】

- *論文が採録となった場合,掲載別刷代をお支払い頂くこととなります。
- *条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は,通常の60日より短縮される場合があります。
- *投稿に際し,著者のうち少なくとも1名は,本学会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は(<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>)を御覧下さい。

会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」好評発売中 ——創刊号から平成 19 年 12 月号までの記事を集約——

平成 17 年 2 月に販売した会誌 DVD に引き続き、現在会誌 DVD 第 2 版を好評発売中です。

今回の DVD は、前回のものから平成 17 年 1 月号以降の 3 年間分を追加した「創刊号から平成 19 年 12 月号までの会誌記事」と本会の「50 年史」、「75 年史」を DVD 2 枚組みにして収録し、1976 年以降のものは全文検索ができます。

期間限定の割引価格にて販売しておりますので、この機会にぜひお申し込み頂きたく御案内申し上げます。
なお、前回の DVD を御購入頂いている会員の方には、特別価格で販売しておりますのでお申し出下さい。

◎ 期間限定割引価格

個人会員	10,000 円 (定価 12,000 円)
個人非会員	30,000 円 (定価 50,000 円)
企業・図書館等	50,000 円 (定価 80,000 円)

下記の申込書をコピーの上、郵送またはファクシミリにて本会宛お送り下さい。



..... キ リ ト リ

会誌 DVD 第 2 版購入申込書 (この用紙をコピーの上、郵送または FAX して下さい。)

※ FAX の誤送信に御注意下さい。

- (1) 会誌 DVD 第 2 版 (DVD 2 枚組み) _____ 組を申し込みます。
- (2) 必要書類 ・ 本会書式の請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通が必要
(書類は現品に同封してお送り致します)
・ 請求関係書類の記載名義 _____
- (3) 該当箇所の にチェックして下さい。
 個人会員 (会員番号 _____) 個人非会員 企業・図書館等
- (4) 送付先 ・ 住 所 _____

 * 部課名, 研究室名, アパート名等まで御記入願います。
 ・ 氏 名 _____
- (5) 連絡先 TEL : _____ E-mail : _____

申込み先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
 一般社団法人電子情報通信学会会員サービス部会員課
 FAX [03] 3433-6659 TEL [03] 3433-6691 E-mail : kaiin@ieice.org